

# 京都市 思春期に関する意識調査

## 【結果報告書】



平成26年10月  
京都市



# 目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	調査結果の表示方法.....	1
II	調査のまとめ.....	2
III	調査結果.....	10
1	回答者の基本属性.....	10
2	ふだんの生活について.....	13
3	体格について.....	33
4	家族との関係について.....	42
5	悩みやこころの状態について.....	49
6	小さな子どもとふれ合う機会について.....	56
7	喫煙について.....	61
8	飲酒について.....	73
9	規制薬物について.....	83
10	性に関わることについて.....	87
11	将来について.....	92
IV	資料編.....	95

# 子どもを共に育む 京都市民憲章



わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、  
慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを  
大切に、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、  
京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切に、  
子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが  
求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、  
命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で  
臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、  
学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、  
共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。



わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定  
3月13日 京都市会が憲章推進を決議

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

京都市では、子育て支援施策の総合的な計画として、平成 22 年 3 月に「京都市未来子どもプラン」（以下「現行プラン」といいます。）を策定し、子どもたちの笑顔のためにみんなで子育てを支え合えるまちづくりを進めてきました。

現行プランの計画期間は、平成 26 年度までとなっていることから、京都市では、現行プランを見直し、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 箇年を計画期間とする新たなプランを策定することとしています。

この新たなプランは、平成 27 年から実施が予定されている「子ども・子育て支援新制度」において、市町村が策定することとされている「市町村子ども・子育て支援事業計画」のほか、「ひとり親家庭自立促進計画」、「母子保健計画」等を一体的に盛り込み、策定するものです。

本調査は、この新たなプランの策定に際し、京都市における子育て支援施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的に実施したものです。

## 2 調査概要

- 調査地域 : 京都市全域
- 調査対象者 : 平成 25 年 8 月 1 日現在、13 歳以上 19 歳以下の市民のうち住民基本台帳及び外国人登録者から無作為抽出した 5,000 人
- 調査期間 : 平成 25 年 8 月 15 日から 9 月 4 日まで
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収（無記名回答）

	調査票配布数	有効サンプル数	回収率
思春期に関する意識調査	5,000	1,150	23.0%
(参考) 平成 20 年調査	5,000	1,061	21.2%

## 3 調査結果の表示方法

- 回答はすべて平成 25 年 8 月 1 日時点の状況に基づいています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。

## Ⅱ 調査のまとめ

### 思春期のこころとからだの健康づくり

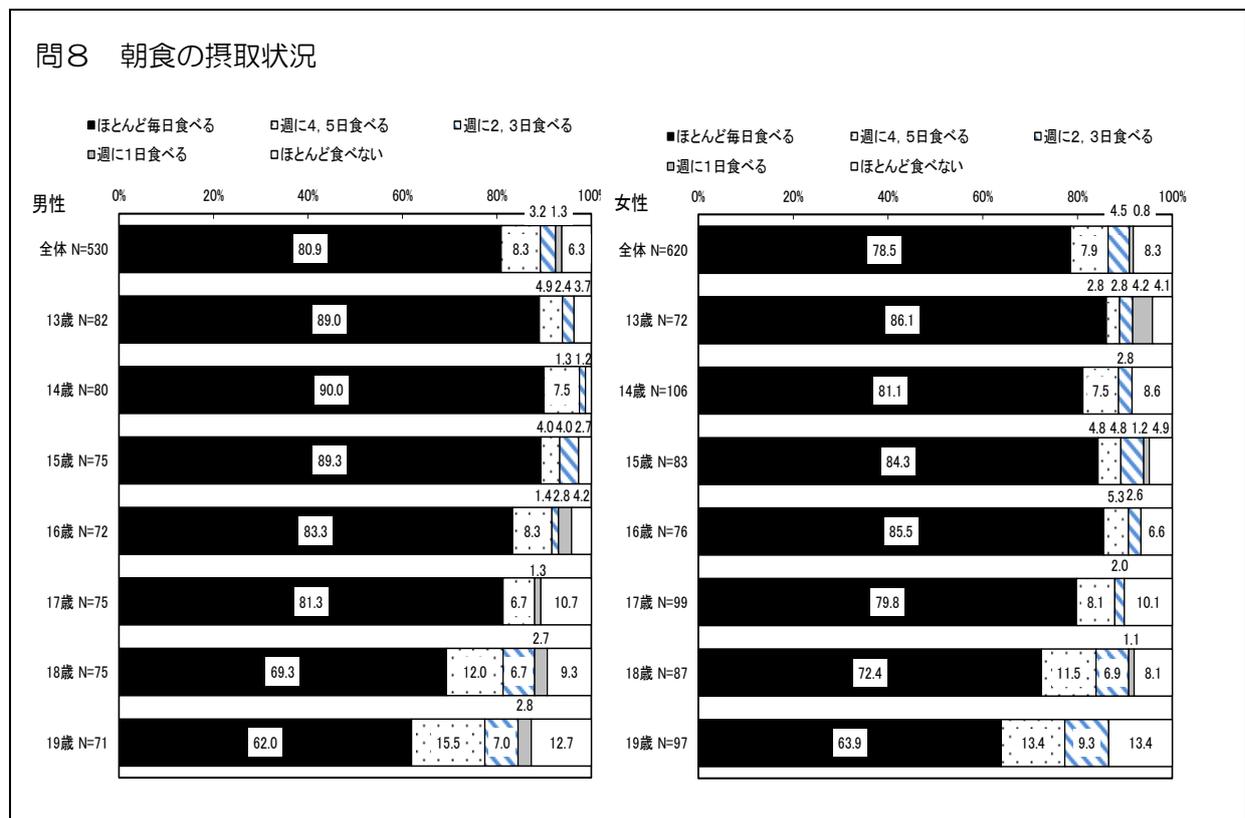
#### (1) ふだんの生活について

男女共に心身が健康である（問6）と感じている者の割合は約80%であり、1日の平均睡眠時間（問4）は6時間以上8時間未満が最も多く、睡眠時間に比例して健康観が上がる傾向がみられています。

一方で、男女共に生活リズム（問5）に問題が「ある」と感じている者の割合は、男性の37.4%、女性の41.3%であり、大学・短期大学生では、57.1%が「問題がある」と感じています。また普通の運動（問7）については、男性の64.9%、女性の45.1%が週2回以上運動していますが、年齢があがるにつれて、ほとんど運動していない割合が増加する傾向にあります。特に、女性では18歳、19歳でその割合が60%以上となっており、年齢があがるにつれて運動量が低下していることがうかがえます。

朝食の摂取状況（問8）は、男性の80.9%、女性の78.5%が「ほとんど毎日食べる」と回答しており、平成20年調査の男性77.9%、女性83.9%と比較すると、女性が減少していますが、男性は増加しています。また、家族そろっての食事（問9）は、男性の41.3%、女性の40.3%が「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」と回答しており、平成20年調査の男性41.1%、女性37.5%と比較して増加しています。「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」と回答した者は、朝食を「ほとんど毎日食べる」割合が高くなっています。

むし歯予防のためフッ素を使用すること（問15）については、男女共に、年齢が低いほど安全だと思える割合が高くなっており、京都市立小学校において、平成17年から順次拡大し、平成20年度から全校実施されたフッ化物洗口推進事業がフッ素使用の理解に影響していることが考えられます。

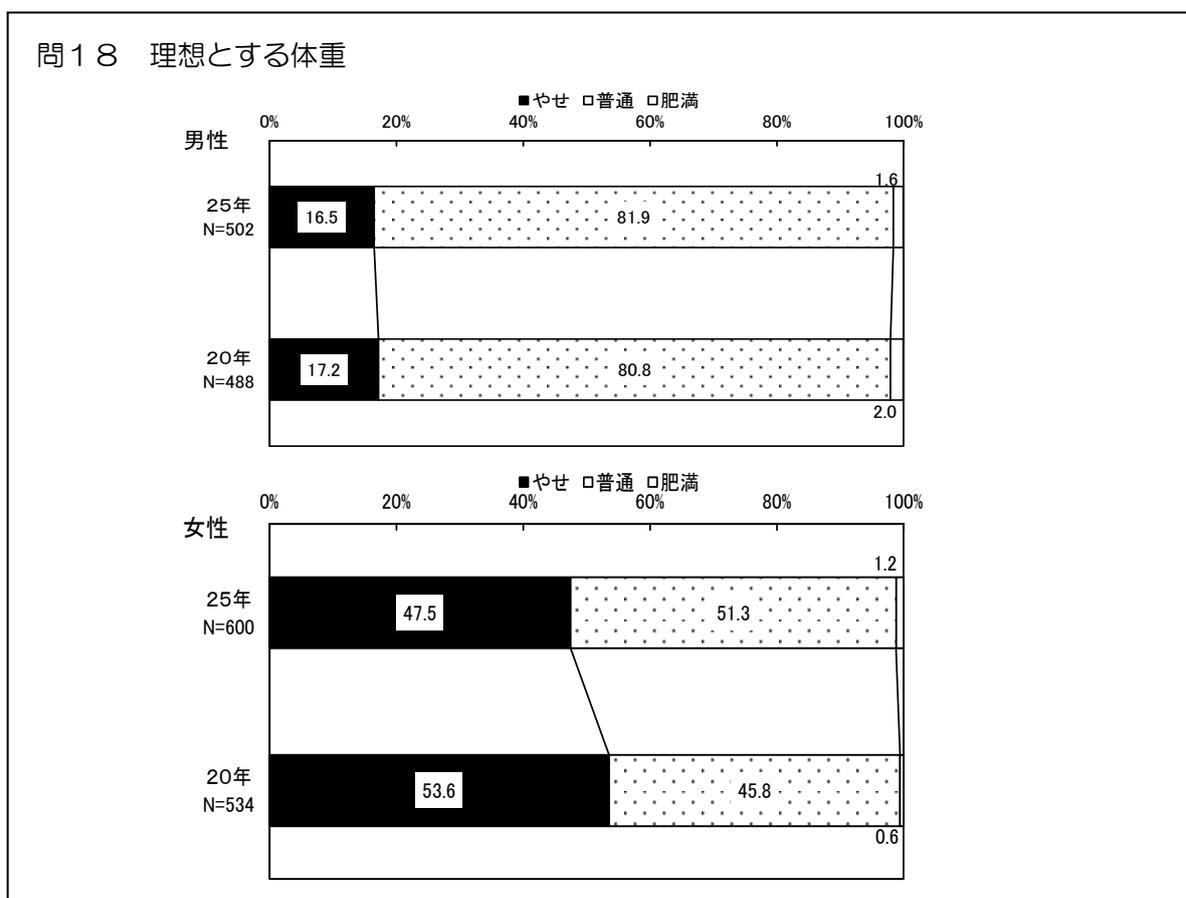


## (2) 体格について

体格指数 (BMI) (問 16) は 平成 20 年調査と比較して、女性のBMIは 13 歳から 16 歳でやや低下傾向にあります。男女共に、年齢が低いほど、「やせ」を理想とする割合が増加する傾向にあります。

女性が理想とする体格 (問 17・18) は、平成 20 年調査と比較すると、「やせ」が 53.6% から 47.5% に減少し、「普通」が 45.9% から 51.3% と増加していますが、実際の体重よりも低い体格指数 (BMI) を理想と考える傾向は変わらず、女性の 57.1% が、「体重が多い」、「体重が少し多い」と思っています。

ダイエット経験 (問 19) の割合は、男女共に平成 20 年調査とほぼ同様ですが、ダイエット経験は女性に多く、男女共に、年齢があがるにつれてダイエット経験の割合が増加しています。



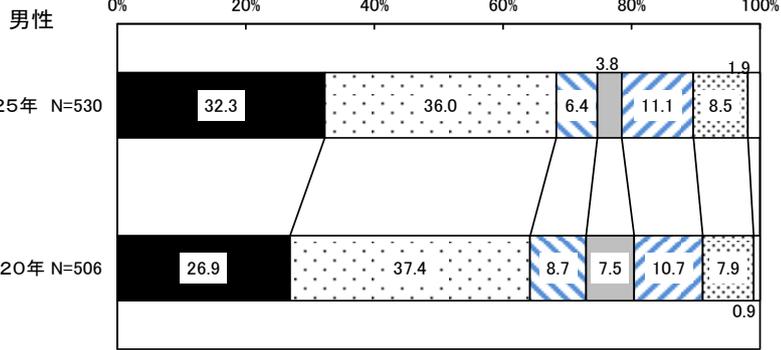
## (3) 家族との関係について

男女共に、家族の中でよく会話する相手 (問 20) は「母親」の割合が最も高く、女性の 90.2%、男性の 85.3% となっています。

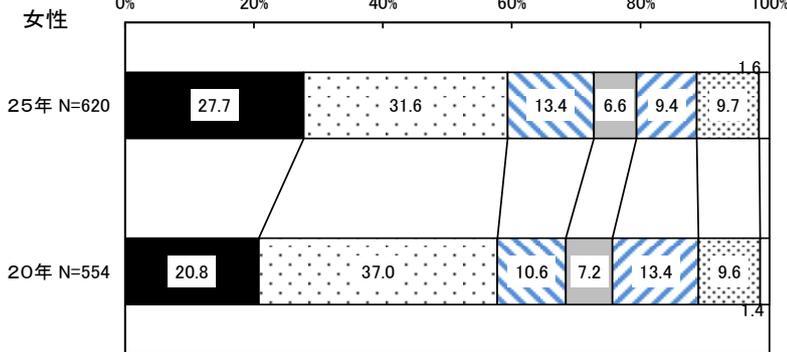
父親・母親が自分のことを理解してくれるか (問 22) については、「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合を平成 20 年調査と比較すると、父親では、男性の 64.3% から 68.3%、女性の 57.8% から 59.3% に増加しており、また母親においても、男性の 77.3% から 81.1%、女性の 80.8% から 84.8% に増加しています。父親・母親が身近な理解者となっていることがうかがえます。

問22 父親が自分を理解してくれている

■ そう思う □ まあ そう思う □ あまり そう思わない □ そう思わない □ わからない □ 父親はいない □ 無回答

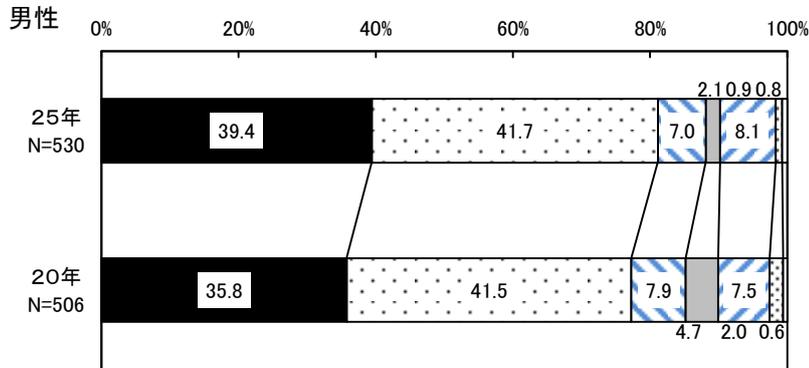


■ そう思う □ まあ そう思う □ あまり そう思わない □ そう思わない □ わからない □ 父親はいない □ 無回答

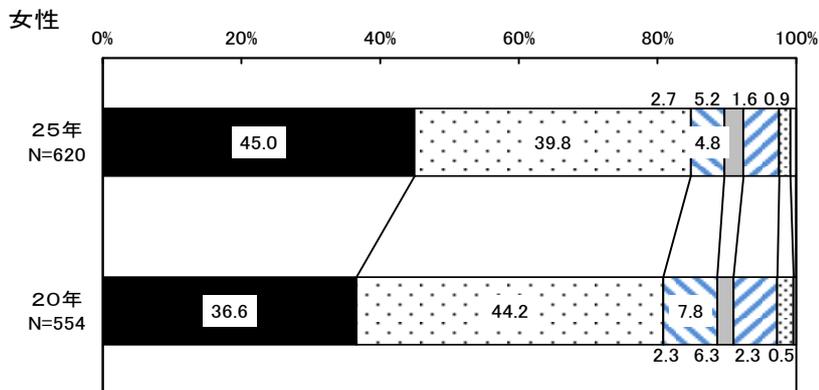


問22 母親が自分を理解してくれている

■ そう思う □ まあ そう思う □ あまり そう思わない □ そう思わない □ わからない □ 母親はいない □ 無回答



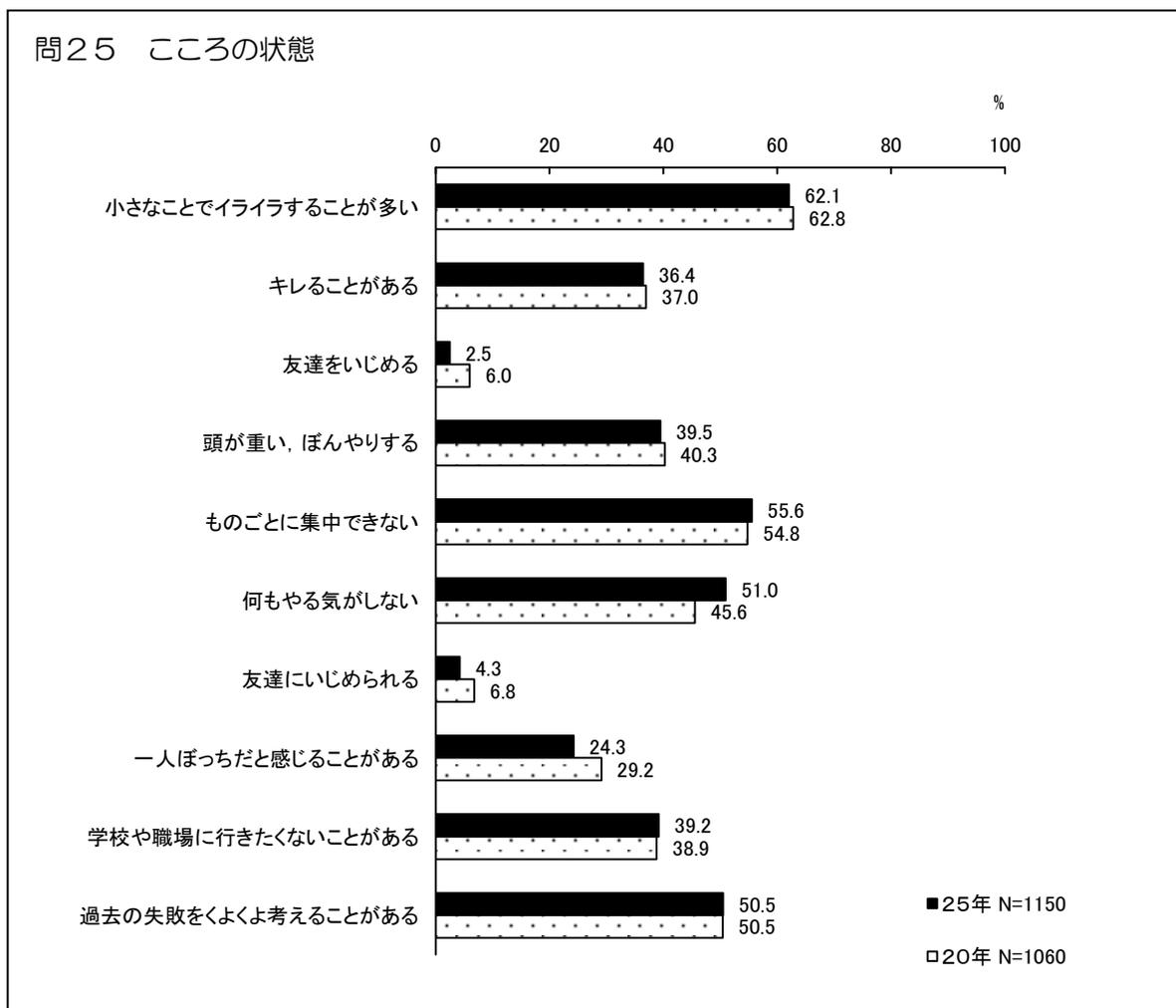
■ そう思う □ まあ そう思う □ あまり そう思わない □ そう思わない □ わからない □ 母親はいない □ 無回答



#### (4) 悩みやこころの状態について

現在悩んでいること（問 23）として、男女共に、「勉強のこと」、「将来（進路を含む）のこと」の割合が高くなっています。悩んでいる時や困っている時の相談相手（問 24）では、男女共に、「母親」、「学校の友達」の順番で多く、次いで男性では、「父親」、女性では、「学校以外の友達」となっています。

こころの状態（問 25）では、平成 20 年調査とほぼ同様の結果となっていますが、「友達をいじめる」が 6.0%から 2.5%に、「友達にいじめられる」が 6.8%から 4.3%に、「一人ぼっちだと感じることもある」が 29.2%から 24.3%に減少し、「何もやる気がしない」が 45.6%から 51.0%に増加しています。



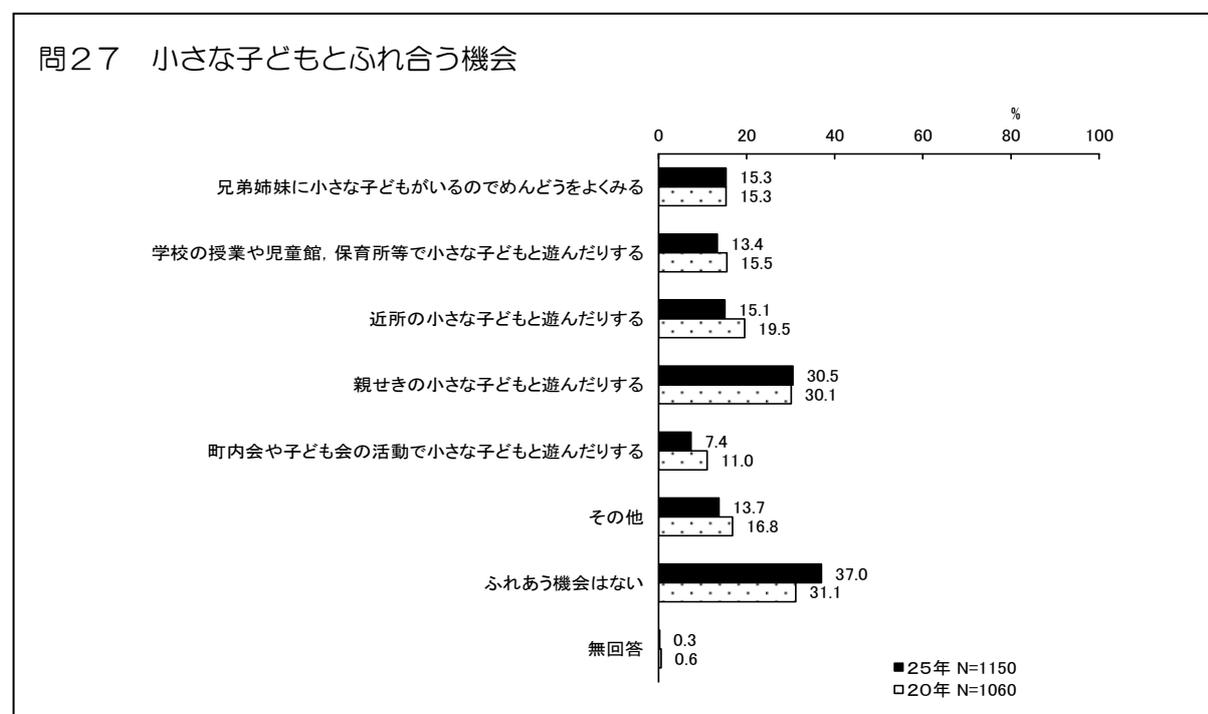
## (5) 小さな子どもとふれ合う機会について

男女共に小さな子どもとふれ合う機会（問27）で最も多いものは、「親せきの小さな子どもと遊んだりする」となっていますが、「ふれ合う機会がない」と答えた割合は、男性の41.1%、女性の34.5%であり、男女あわせて平成20年調査と比較すると31.1%から37.0%と増加しています。

「小さな子どもとふれ合う機会」（問27）と「将来の結婚・子育て観」（問45）の関係では、「結婚はしたいが子育てはしたくない」、「結婚も子育てもしたくない」と回答した者で、小さい子どもと「ふれあう機会がない」割合が高くなっています。

育児体験の希望（問28）については、男性と比較して女性の方が、「したい」、「どちらかといえばしたい」と回答した割合が高くなっていますが、平成20年調査と比較すると、男性でその割合が28.3%から32.7%に増加しています。

「育児体験の希望」（問28）と「将来の結婚・子育て観」（問45）の関係では、「結婚はしたいが子育てはしたくない」、「結婚も子育てもしたくない」と回答した者は、育児体験を「したくない」割合が高くなっています。



## (6) 喫煙について

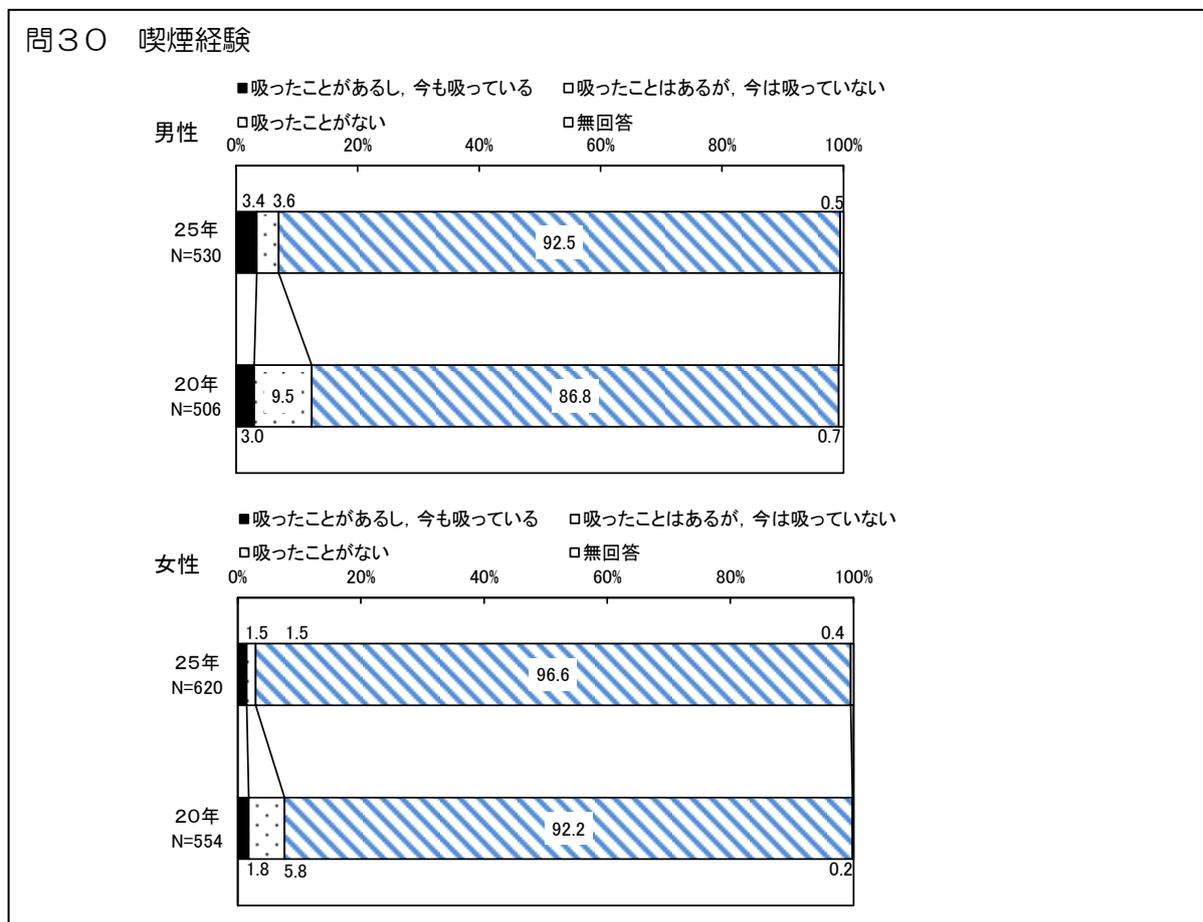
喫煙経験（「吸ったことがあるし、今も吸っている」、「吸ったことがあるが、今は吸っていない」と回答した者）（問30）は、平成20年調査と比較して、男性では12.5%から7%、女性では7.6%から3%に減少しています。

喫煙が健康に及ぼす影響（問31）について、「健康に害があるから、絶対いけないことだと思う」と回答した割合は、男性の82.6%、女性の85.5%となっています。また、未成年が喫煙すること（問29）については、「法律で禁止されているからいけないことだと思う」と回答した割合は、平成20年調査と比較して、男性で47.2%から55.1%に、女性では52.5%から63.5%に増加しています。

一方で、喫煙は「本人の考えに任せればいいと思う」と回答した割合は、男女共に年齢があがるにつれて増加傾向にあります。

喫煙が及ぼす影響についての学習（問 32）について、学んだことが「ある」の割合は、男性の 91.5%、女性の 91.8%となっており、学習機会としては、「学校の授業」が最も多くなっています。

喫煙を今も継続している者は、学習経験が「ない」、「覚えていない」の割合が高く、今まで喫煙したことがない者は、学習経験が「ある」の割合が高くなっています。



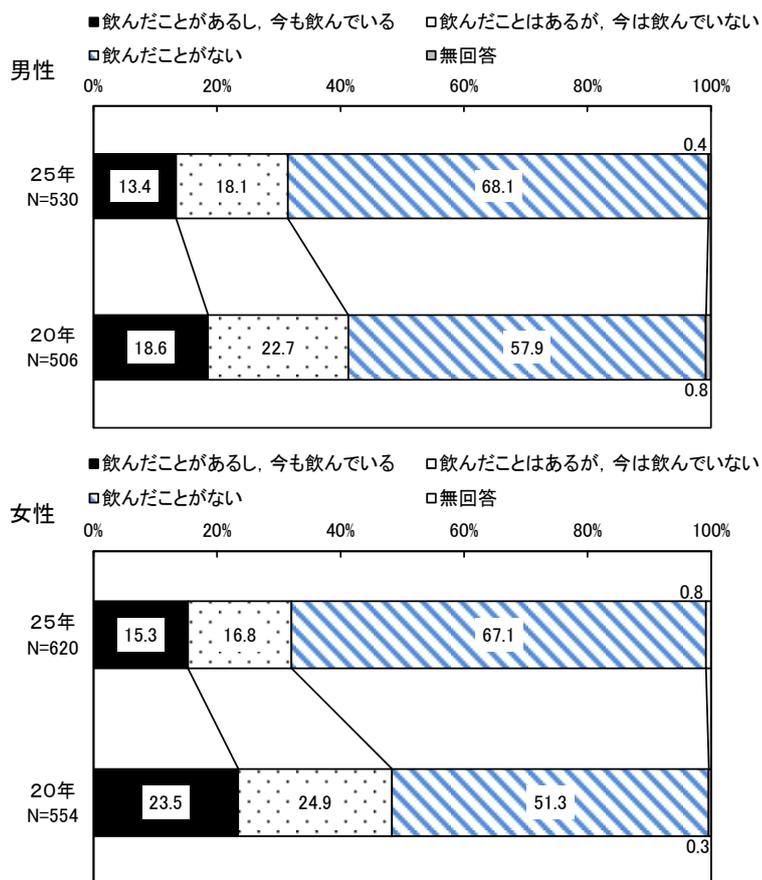
### (7) 飲酒について

飲酒経験（問 35）について、飲酒経験がある者（「飲んだことがあるし、今も飲んでいる」、「飲んだことはあるが、今は飲んでいない」と回答した者）は、平成 20 年調査と比較して、男性は 41.3%から 31.5%に、女性は 48.4%から 32.1%に減少しています。

また未成年が飲酒すること（問 34）について「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」と回答した割合と、飲酒が健康に及ぼす影響（問 36）について「健康に害があるから、絶対いけないことだと思う」と回答した割合は、平成 20 年調査と比較して男女共に増加しています。

一方で、飲酒は「本人の考えに任せればいいと思う」、「特に害はなく、構わない」と回答した割合は、男女共に年齢があがるにつれて増加しています。特に 19 歳では、飲酒経験がある者が、男性の 64.8%、女性の 69.1%であり、平成 20 年調査の男性 82.4%、女性 89.6%と比較して減少していますが、男性の 38.0%、女性の 43.3%が「飲んだことがあるし、今も飲んでいる」と回答しています。

### 問35 飲酒経験



### (8) 規制薬物について

規制薬物について知っている名称（問37）では、「シンナー」、「覚せい剤」、「大麻」の割合は、男女共に90%以上となっています。一方で、「LSD」について知っている割合は、男性の32.1%、女性の24.0%であり、最も低くなっています。

薬物使用についてどのように考えているか（問39）については、「絶対使うべきではないし、許されることではない」割合は最も高く、男性の84.9%、女性の88.9%であり、平成20年調査の男性80.8%、女性86.1%と比較して増加しています。

### (9) 性に関わることについて

性感染症について知っていること（問40）では、コンドームの使用により性感染症の予防ができる知っている者は、男性の69.6%、女性の67.7%であり、平成20年調査の男性61.3%、女性64.8%と比較して増加しています。エイズやHIVについて知っていること（問41）については、「HIV（ヒト免疫不全ウイルス）はセックスで感染する」の割合は、65.0%となっていますが、「性感染症にかかっているとHIVに感染しやすくなる」の割合は24.3%であり、最も低くなっています。

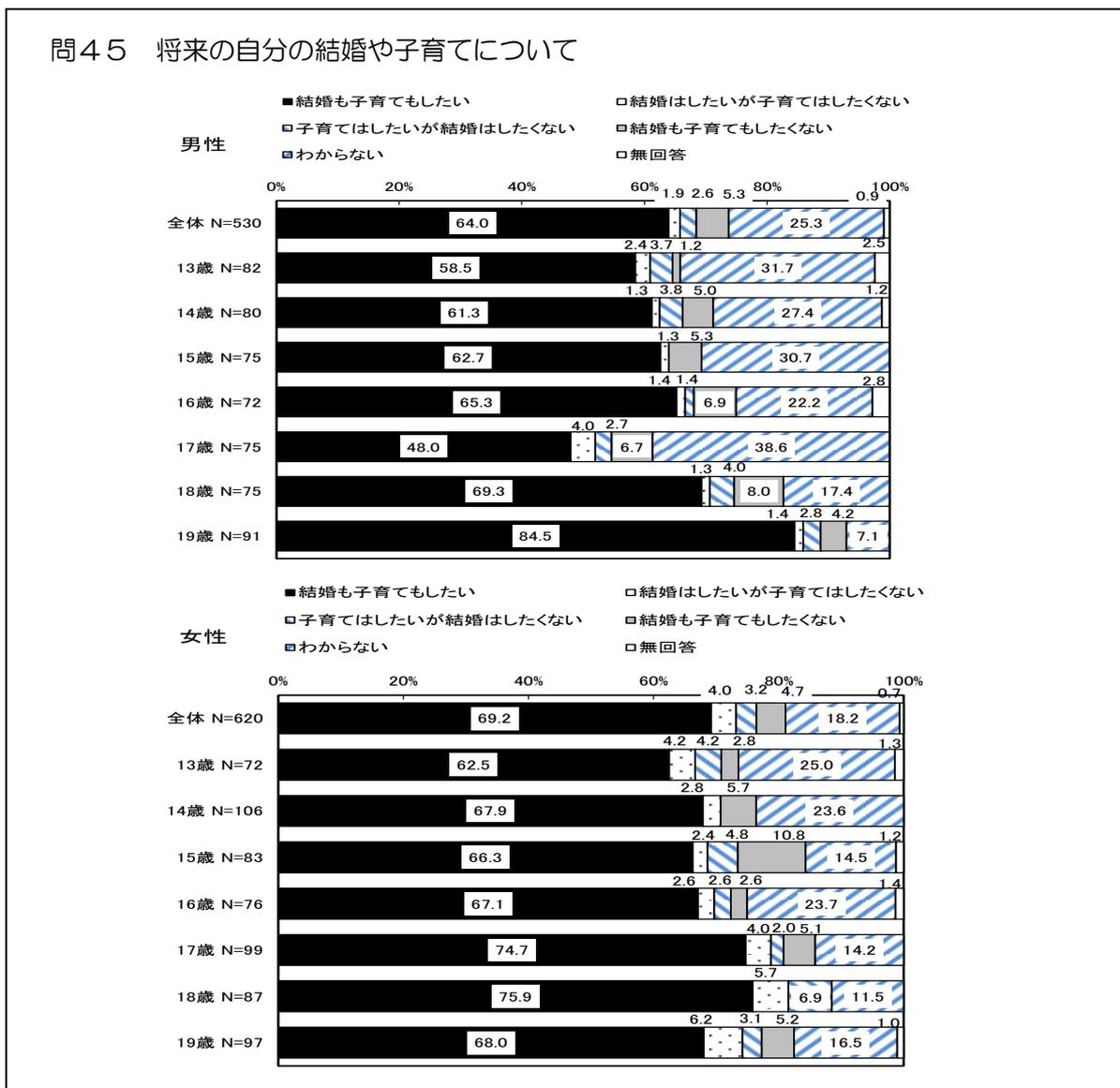
自分がセックスすることについて（問43）は、「何も考えていない」の割合が最も高く、男性の31.5%、女性の31.6%となっており、次いで、「そのときにならないとわからない」となっています。「お互いに好き合っていればセックスするかもしれない」は年齢があがるにつれて増加し、男女共に18歳以降から、「その時にならないとわからない」より割合が高くなっています。

性感染症や避妊方法についての情報収集経路（問42）は、「学校の先生」の割合が男性の57.7%、女性の64.5%と最も高く、次いで「友人」、「インターネット」となっています。

## (10) 将来について

将来の自分の結婚・子育て観（問 45）について、「結婚も子育てもしたい」の割合は、男性の64.0%、女性の69.2%となっていますが、男性の5.3%、女性の4.7%が「結婚も子育てもしたくない」と回答しています。

健康について知りたいこと（問 46）は、男女共に「身体の変化のこと」、「食や栄養に関すること」、「こころの健康に関すること」、「生活習慣病のこと」の割合が高くなっています。特に女性は男性と比較して、「妊娠・出産・不妊等に関すること」の割合も高く、19歳の女性の50.5%が知りたいと回答しています。



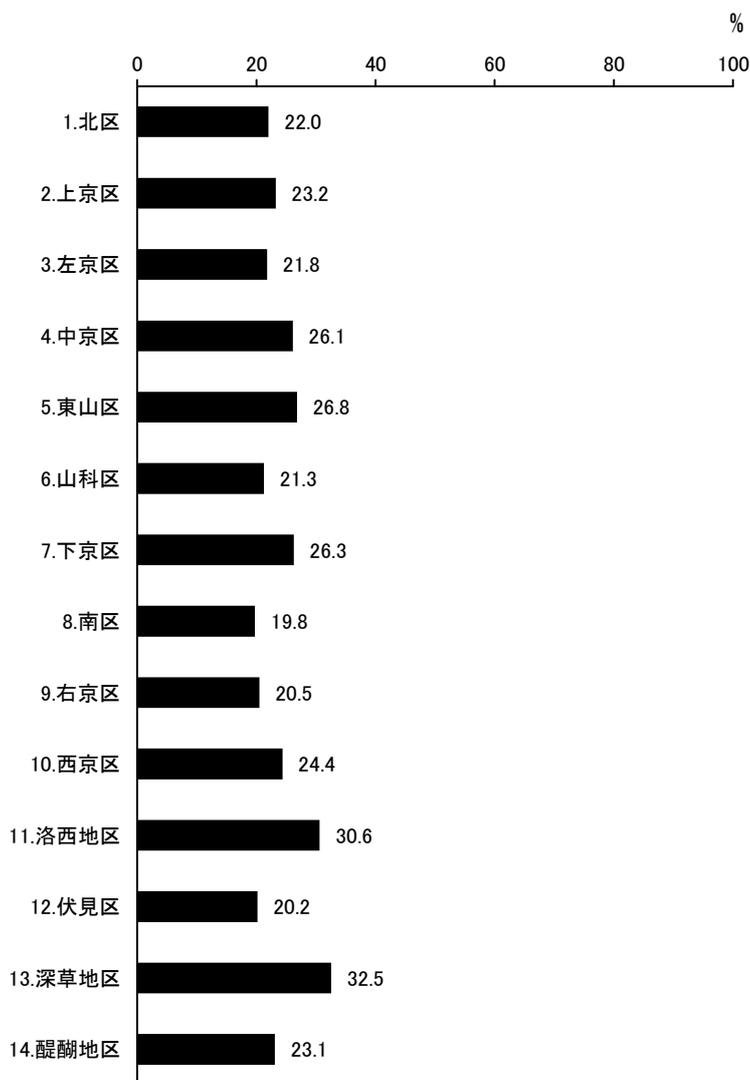
# Ⅲ 調査結果

## 1 回答者の基本属性

問1 あなたのお住まいの区，性別，年齢についておたずねします。

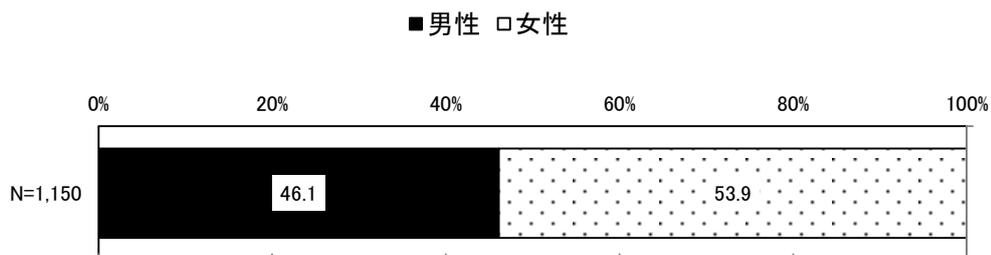
### (1) 行政区

N=1,150



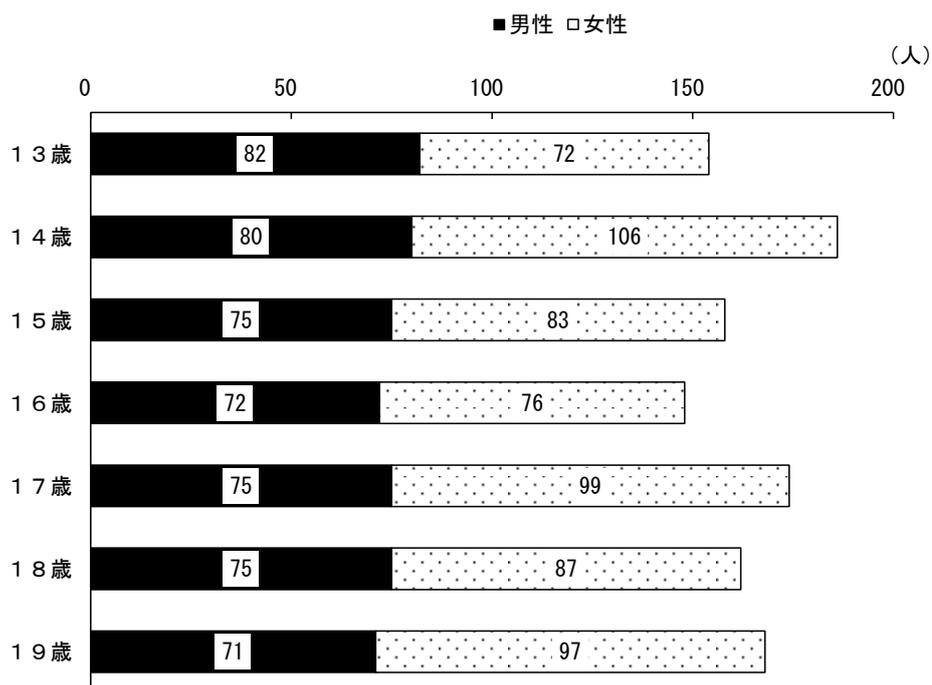
### (2) 性別 (問1)

回答者の性別は男性が46.1%，女性が53.9%となっています。



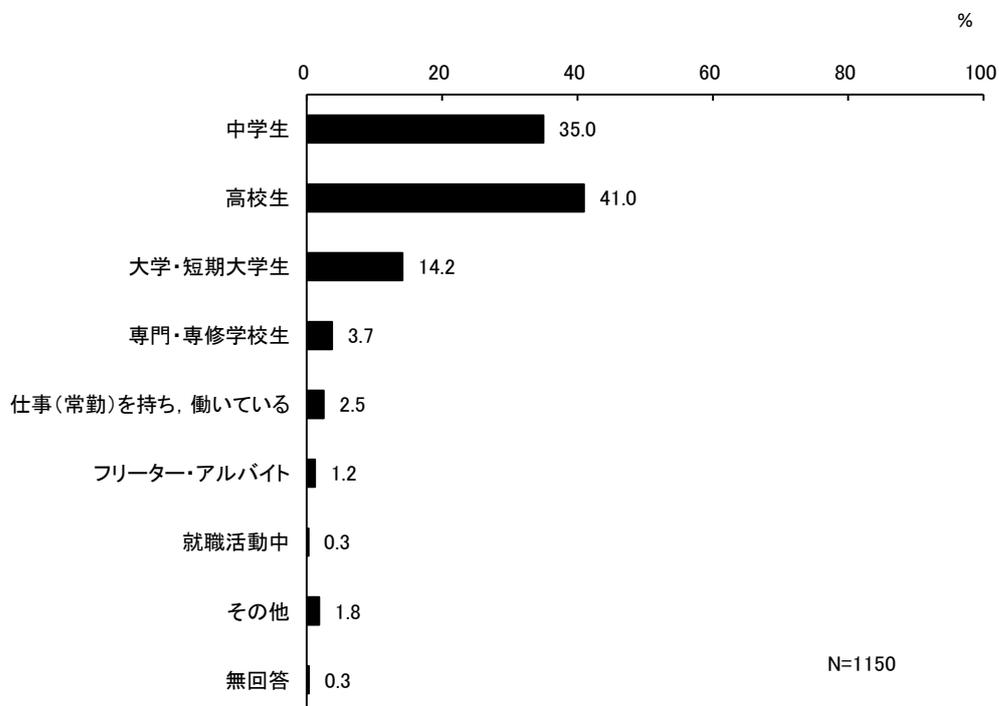
### (3) 年齢 (問1)

13歳から19歳まで、各年齢148人から186人となっています。



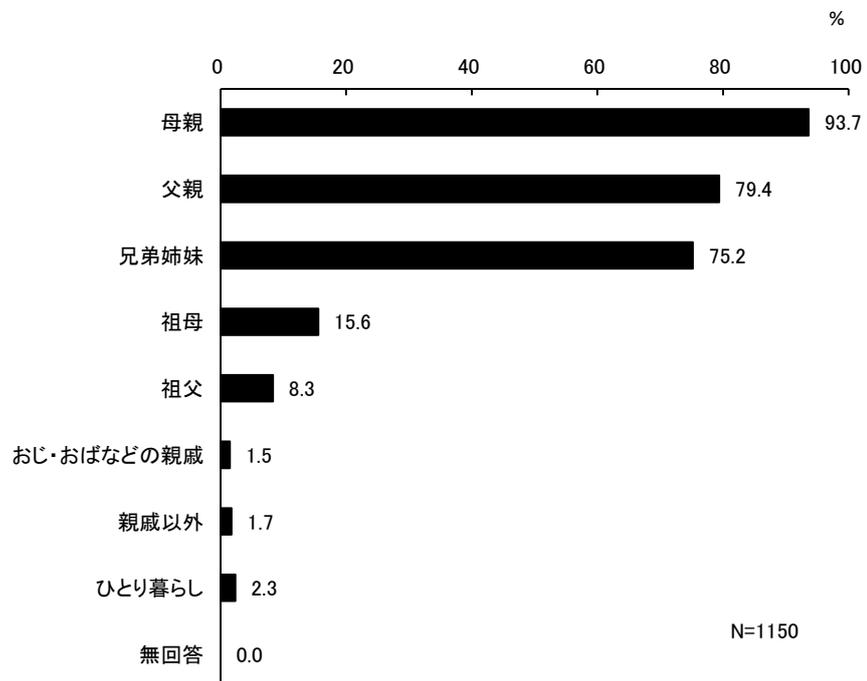
### 問2 あなたは学生ですか。社会人ですか。

全体では、学生が90%以上を占め、高校生が最も高くなっています。



問3 あなたは誰といっしょに暮らしていますか。あてはまるものをすべて記入してください。

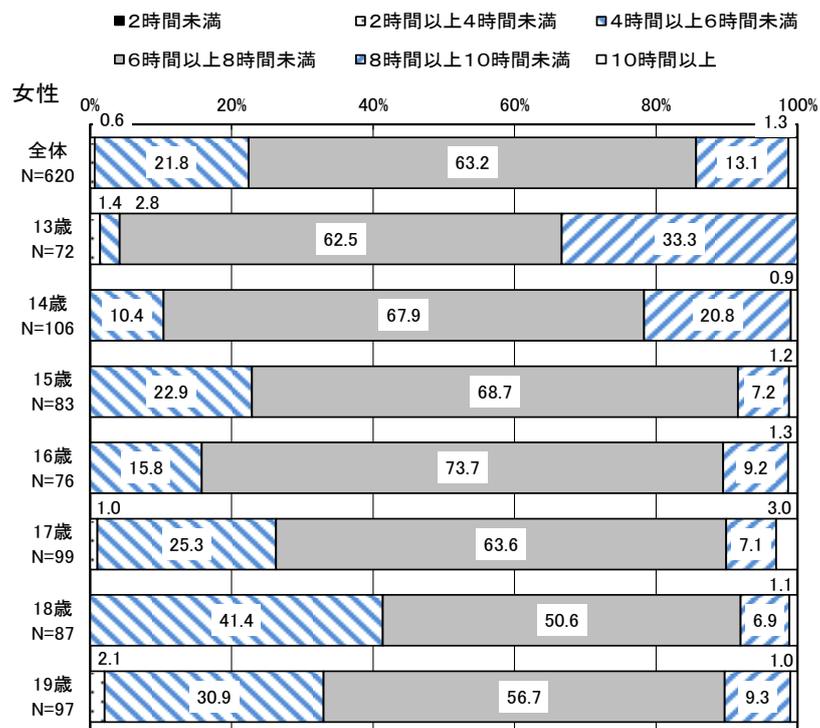
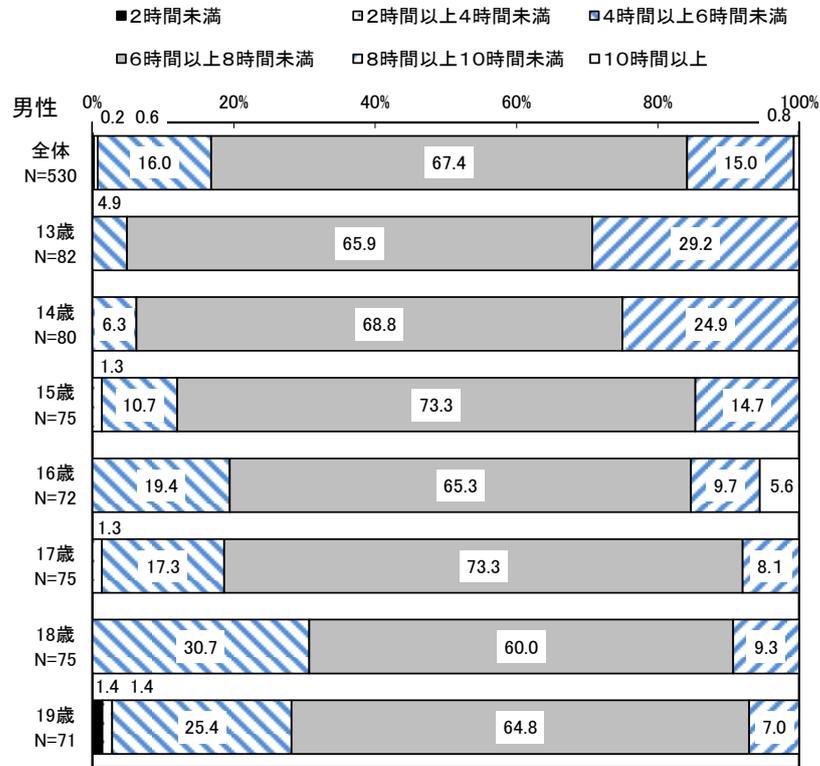
全体では、「母親」が、93.7%と最も高くなっています。



## 2 ふだんの生活について

問4 あなたの1日の平均睡眠時間はどれくらいですか。

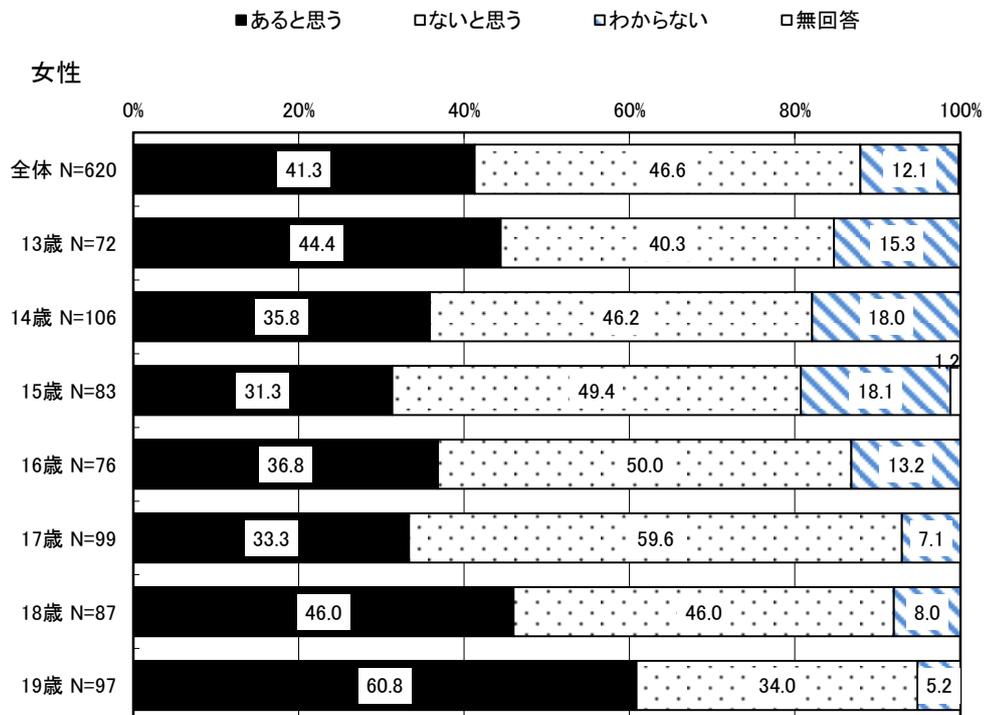
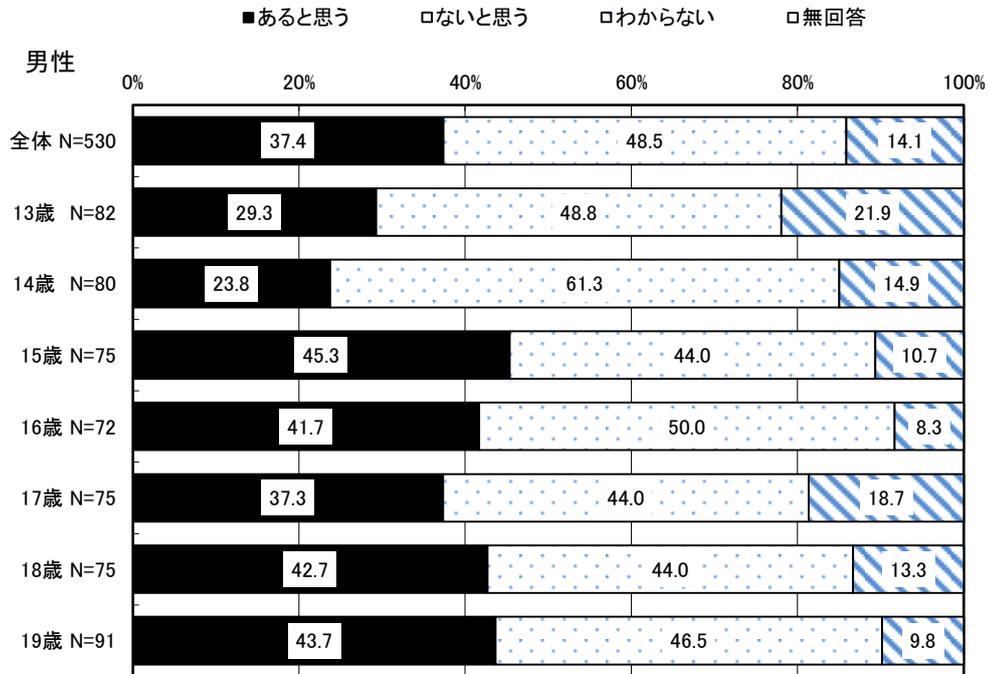
男女共に、「6時間以上8時間未満」の割合が最も高くなっています。



問5 あなたは、自分の生活リズム(起床時間, 就寝時間など)に問題があると思いますか。

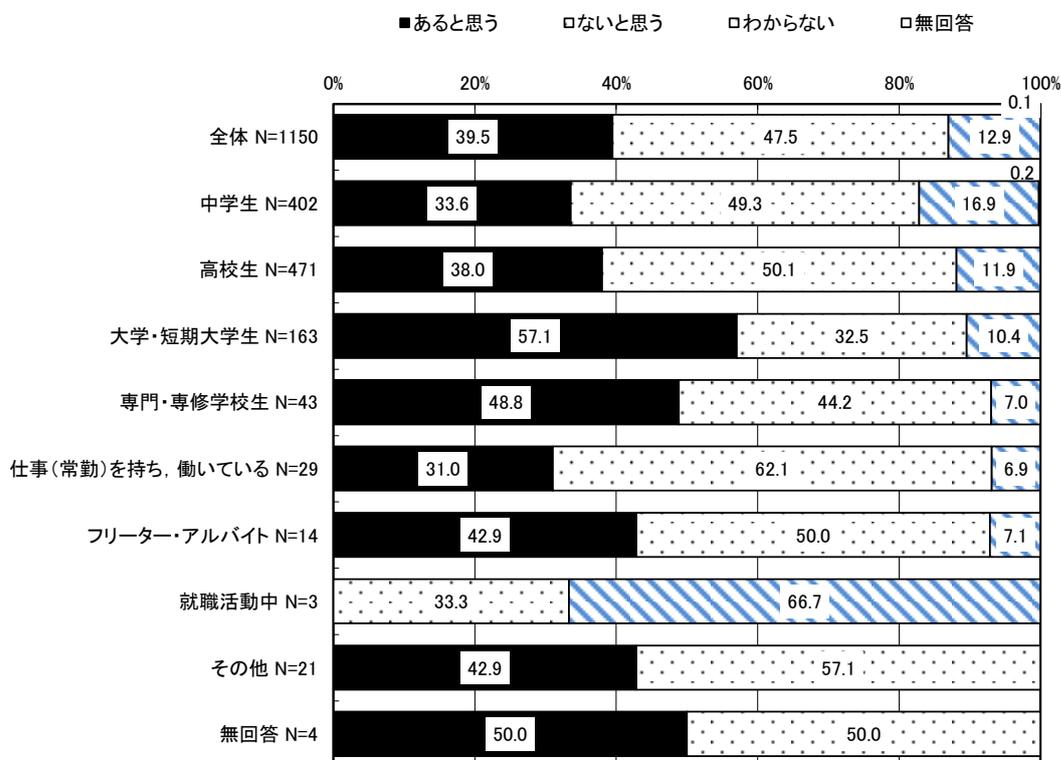
全体では、男性の37.4%、女性の41.3%が、生活リズムに問題が「あると思う」と回答しています。

年齢別では、19歳の女性で、問題が「あると思う」の割合が60.8%であり、最も高くなっています。



## <学校・職業（問2）と自分の生活リズム（問5）の関係>

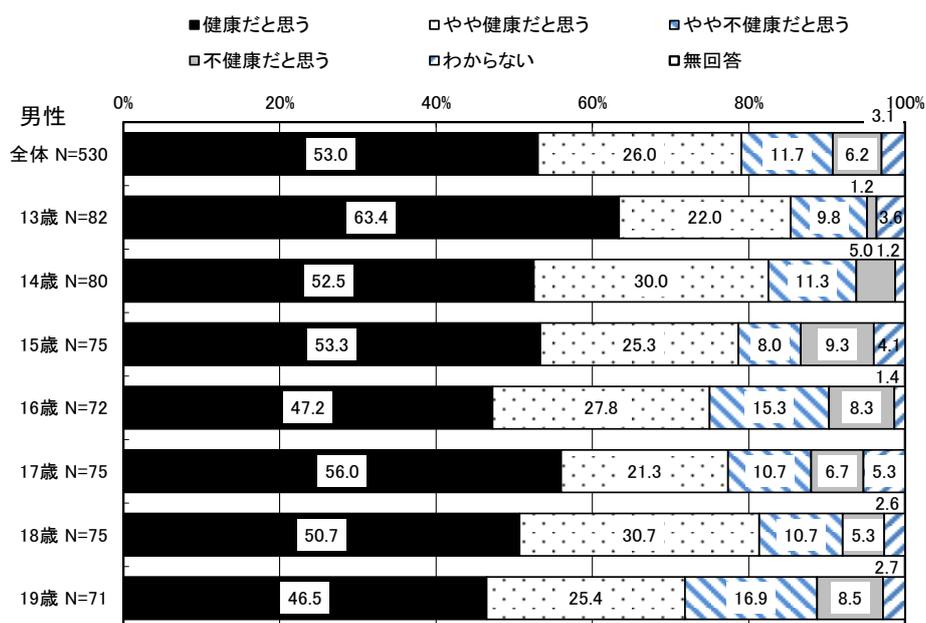
大学・短期大学生は、他の者と比較すると、生活リズムに問題が「あると思う」の割合が高く、57.1%となっています。

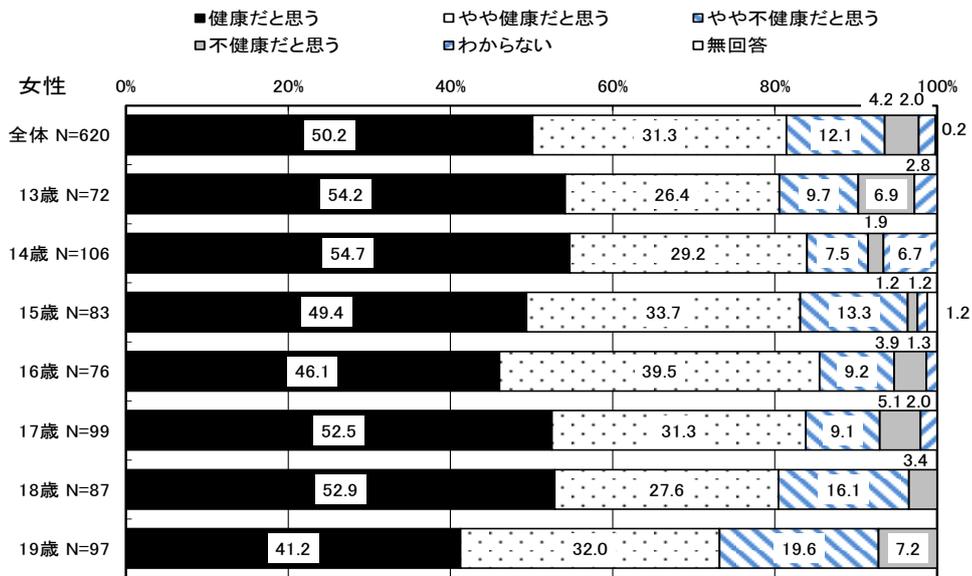


## 問6 あなたは自分の健康についてどのように思いますか。(身体面)(精神面)

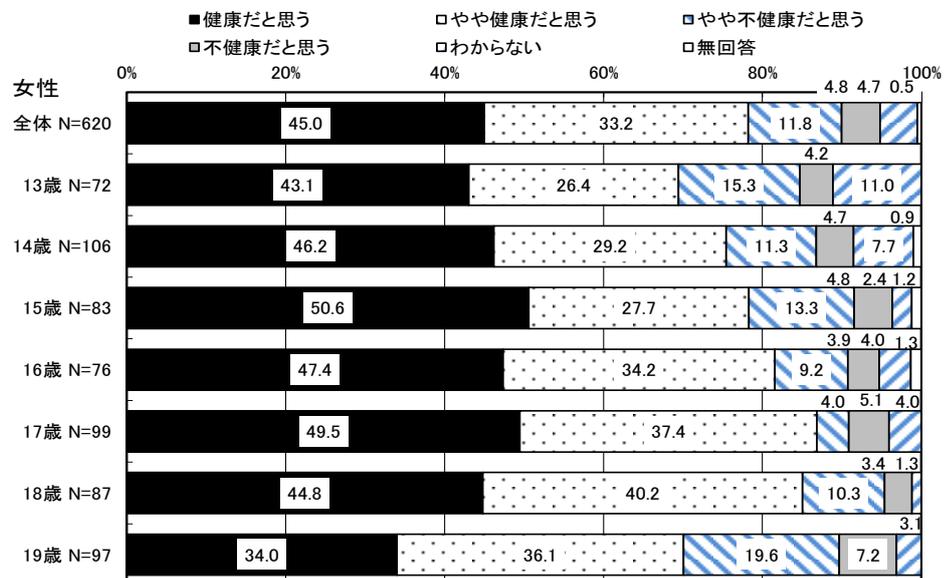
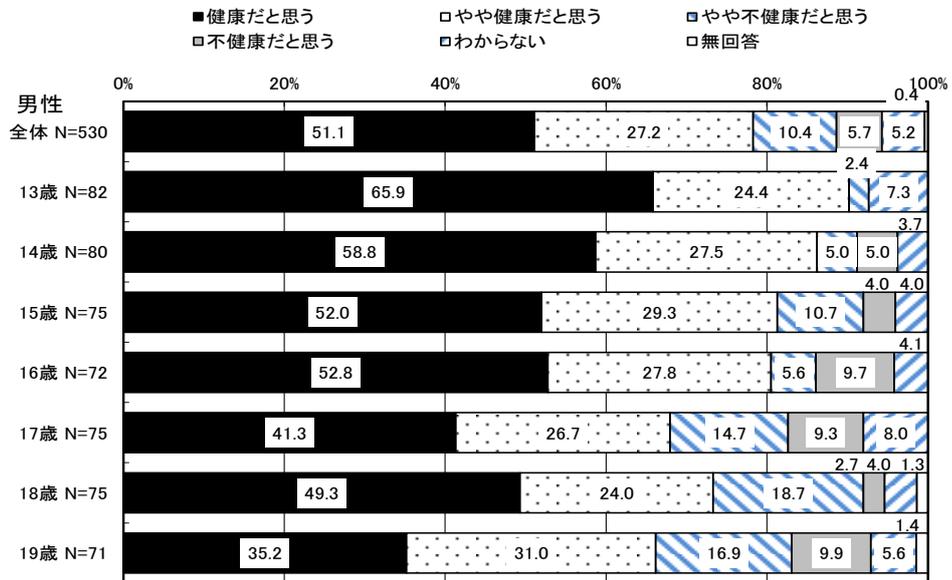
男女共に、身体面・精神面において「健康だと思う」、「やや健康だと思う」の割合は、全体の約80%となっています。

### 【身体面】





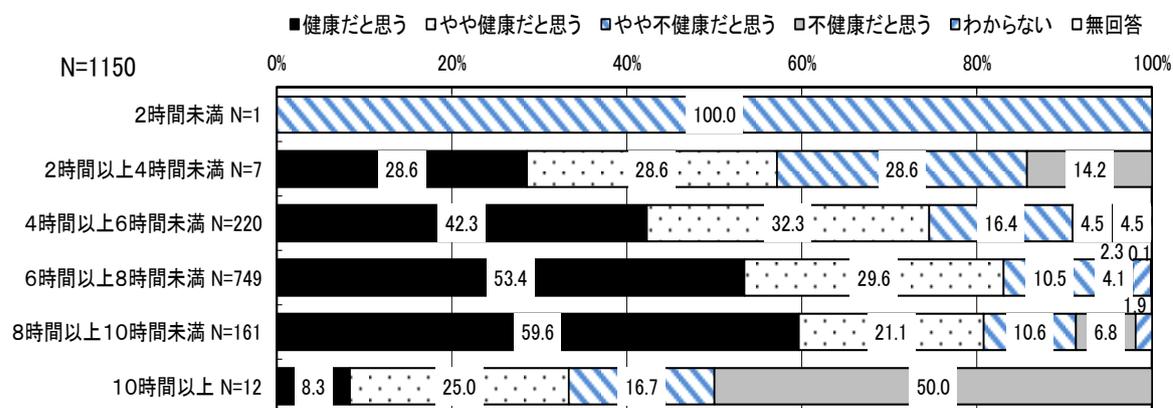
【精神面】



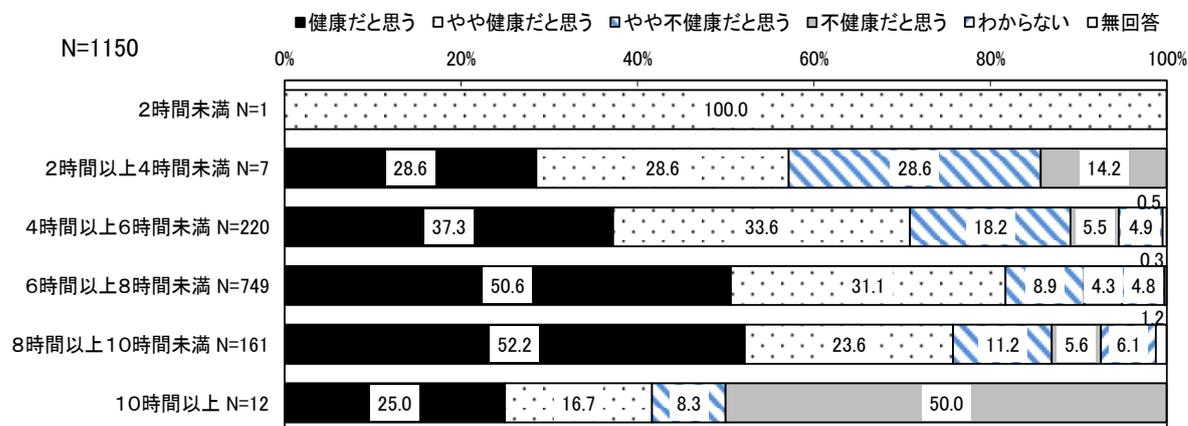
## < 1日の平均睡眠時間（問4）と自分の健康観の関係（問6） >

睡眠時間に比例して、「健康だと思う」の割合が増加する傾向にあり、6時間以上10時間未満の睡眠時間では、身体面、精神面共に「健康だと思う」の割合が50%以上になっています。

### 【身体面】



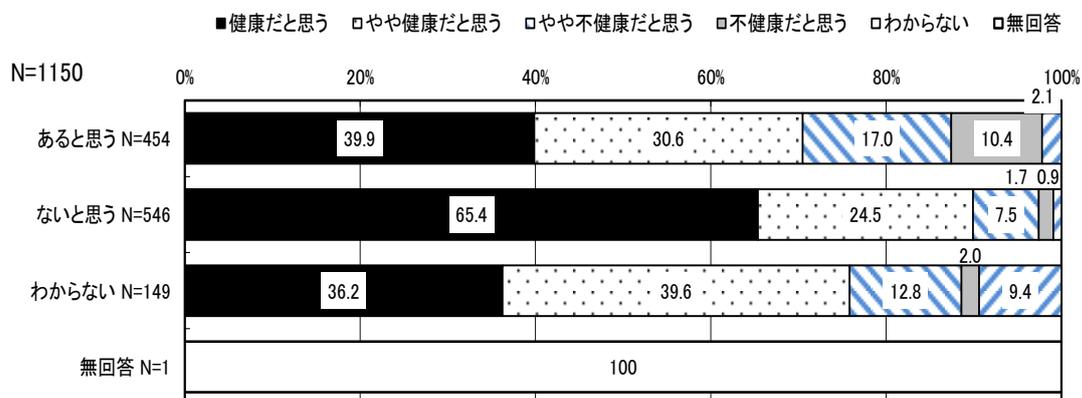
### 【精神面】



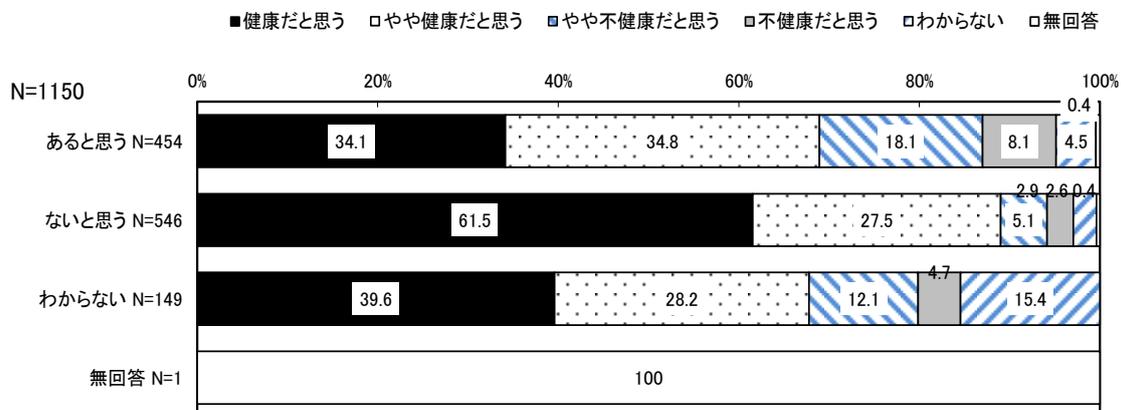
## <自分の生活リズム（問5）と自分の健康観の関係（問6）>

生活リズムに問題が「ないと思う」者は、その他の者と比較して、身体面、精神面共に、「健康だと思う」割合が高く、60%以上となっています。

### 【身体面】

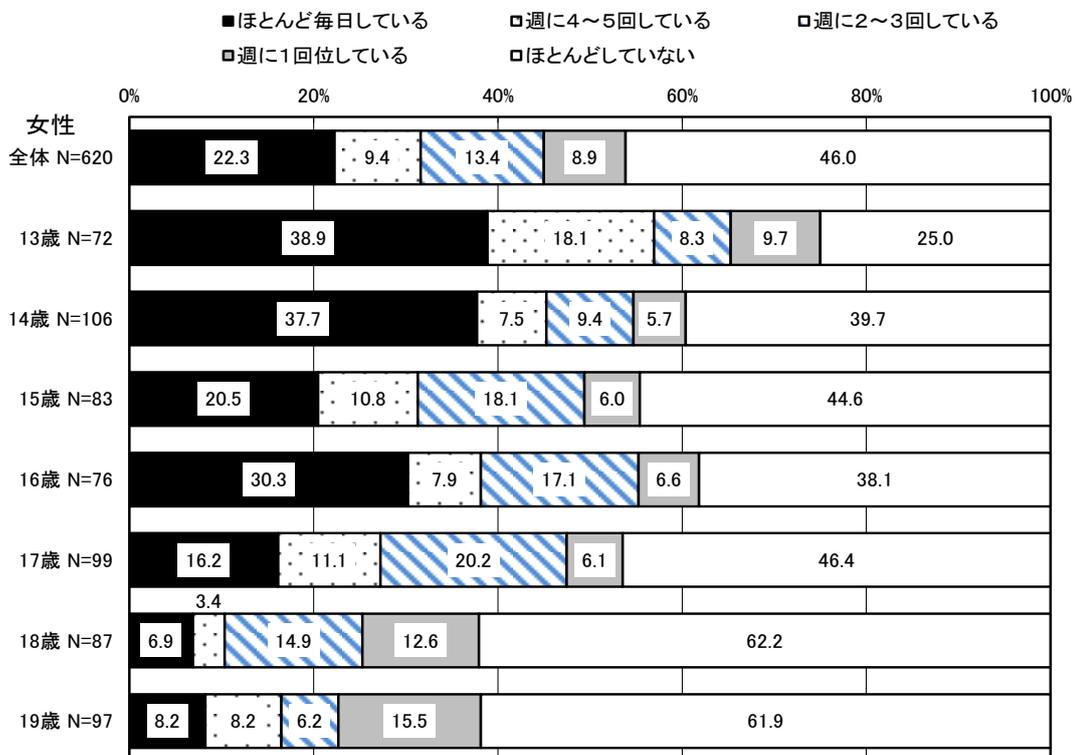
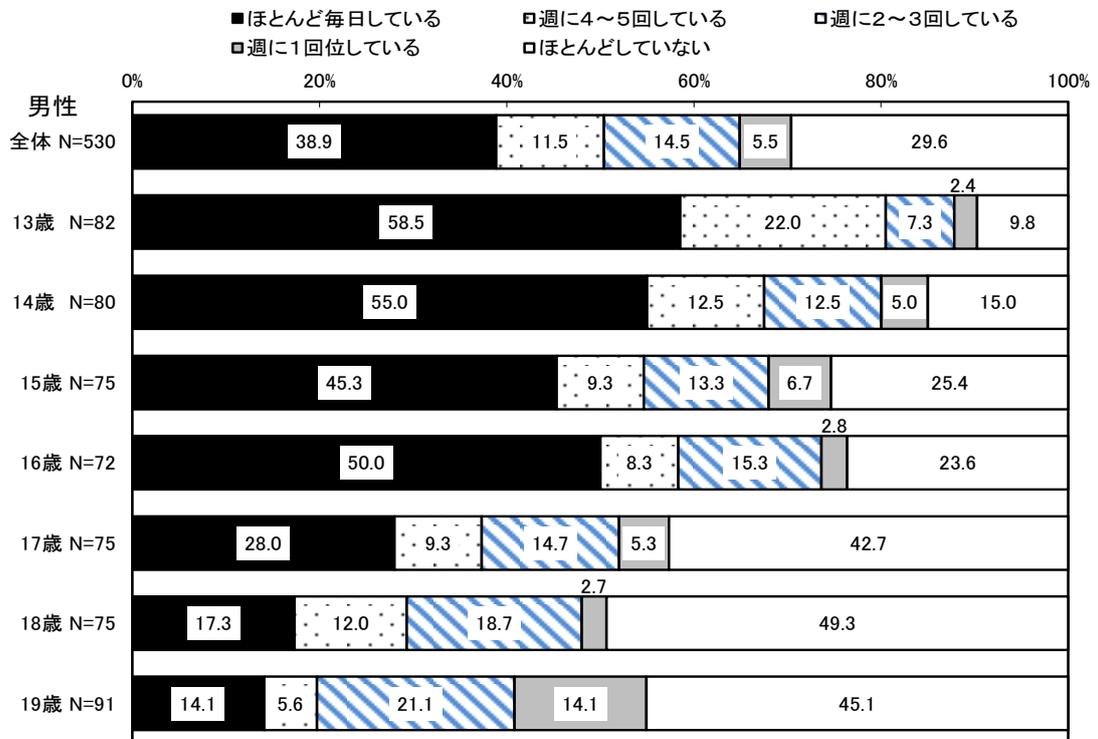


### 【精神面】



問7 あなたは、ふだん運動をしていますか。

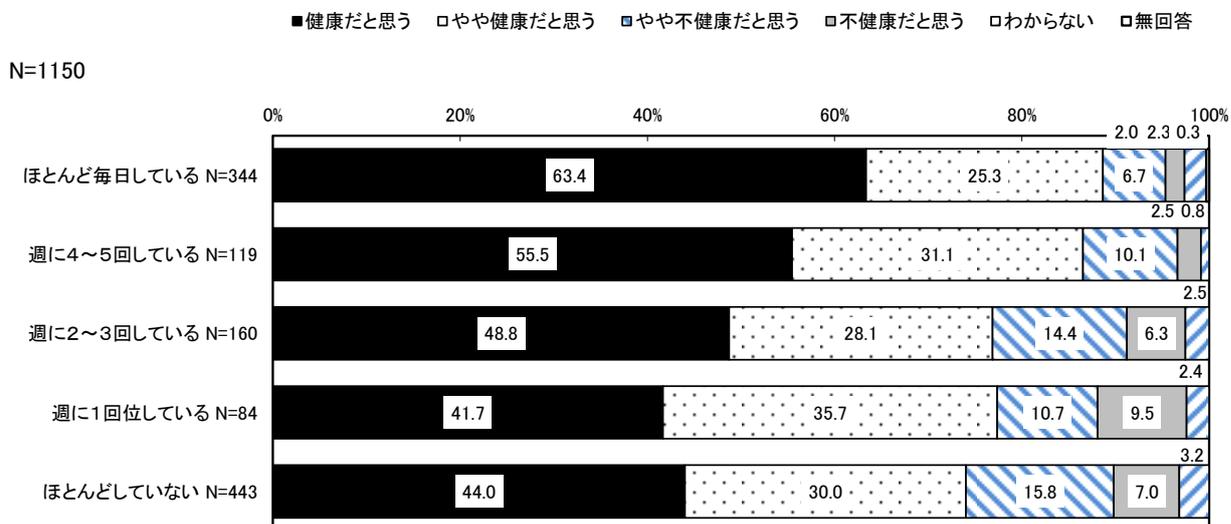
全体では、男性の64.9%、女性の45.1%が週2回以上運動していますが、男女共に年齢があがるにつれて、運動を「ほとんどしていない」の割合が増加する傾向にあり、特に女性では18歳、19歳でその割合が60%以上となっています。



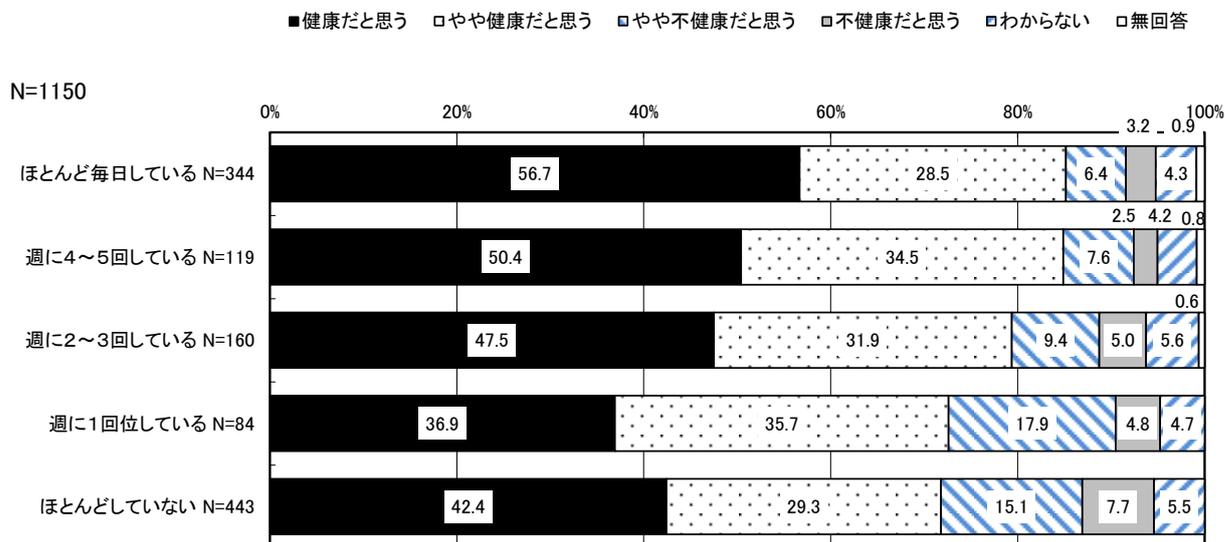
## <自分の健康観（問6）とふだんの運動（問7）の関係>

運動回数に比例して、身体面、精神面共に「健康だと思う」の割合が増加する傾向にあります。

### 【身体面】

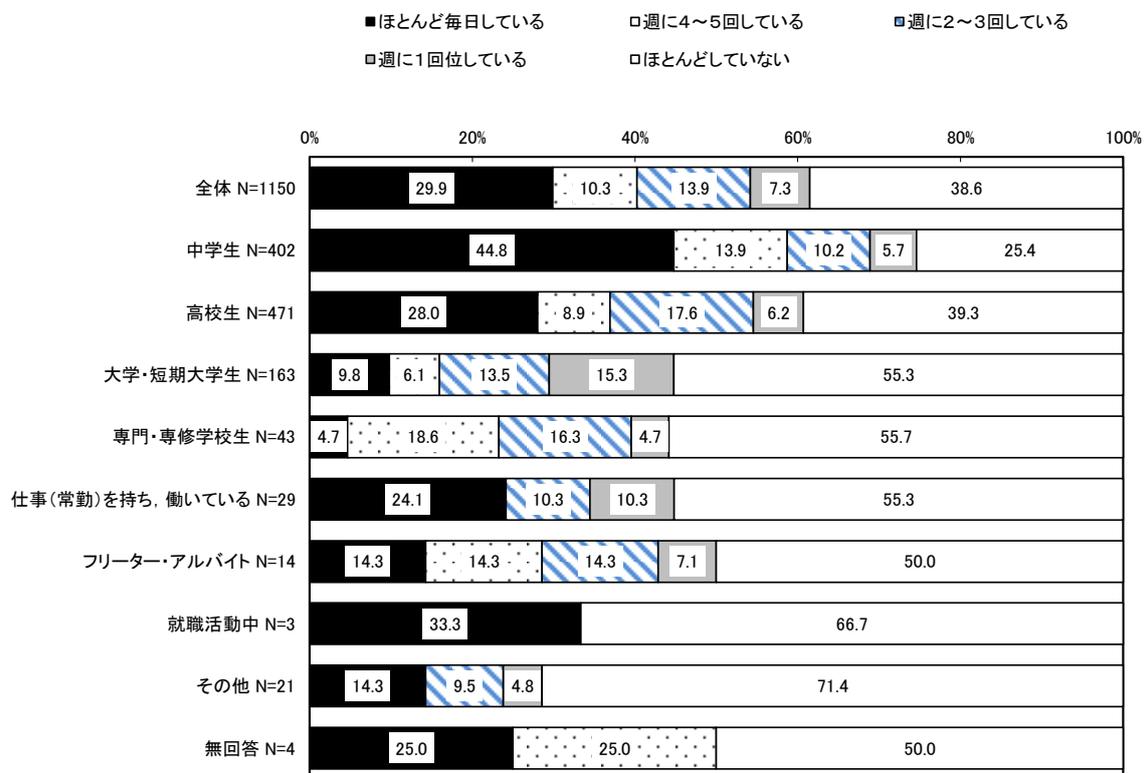


### 【精神面】



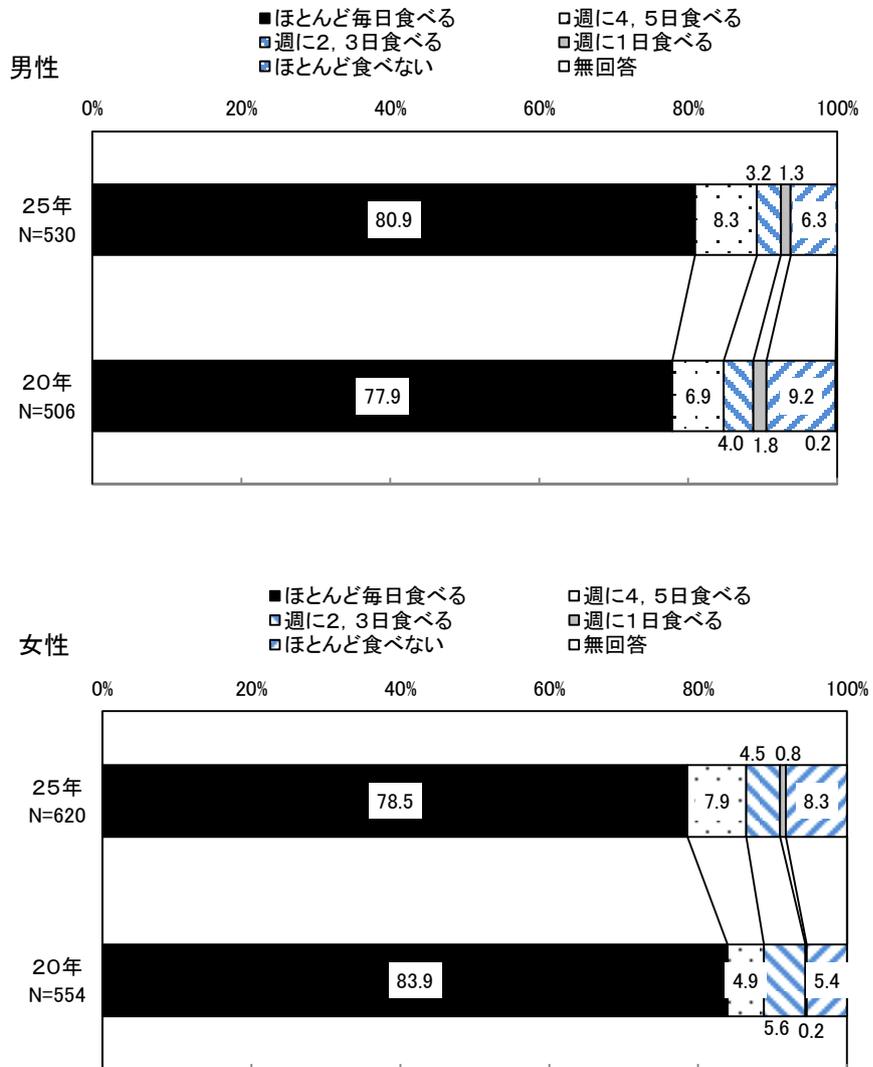
## <学校・職業（問2）とふだんの運動（問7）の関係>

中学生では、他の者と比較して、運動を「ほとんど毎日している」の割合が高くなっています。

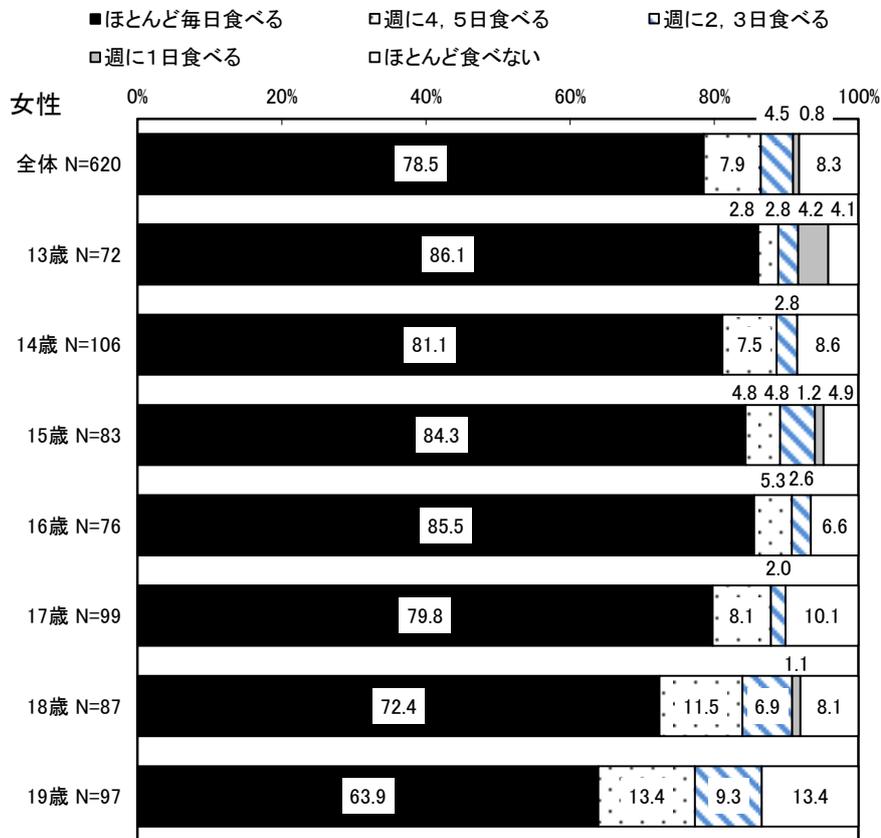
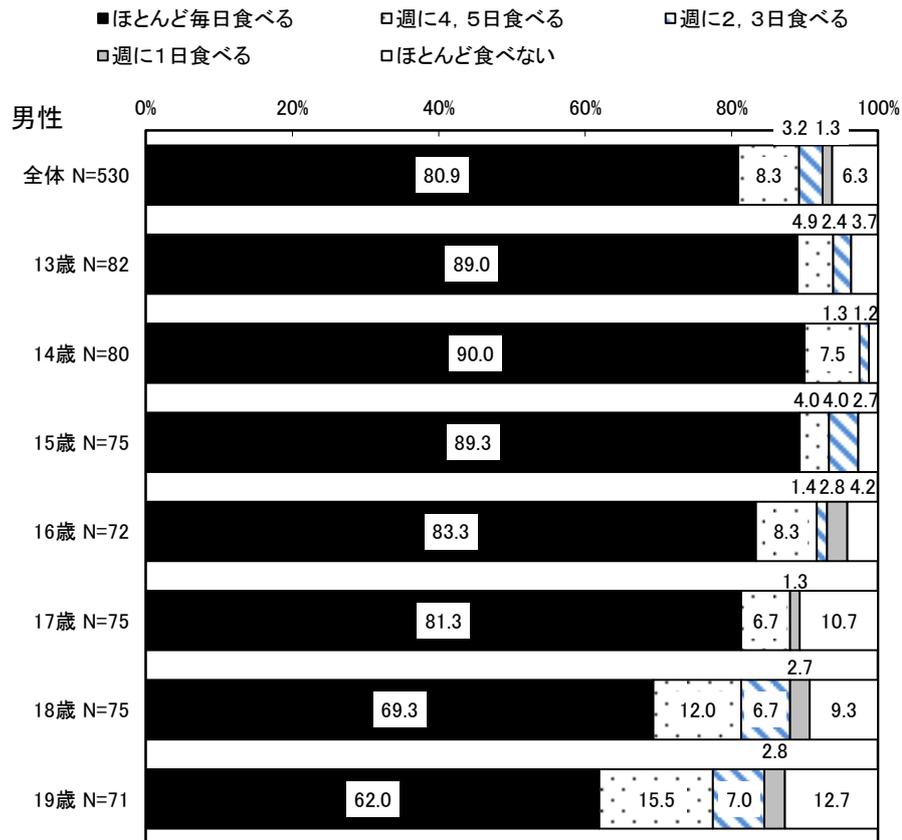


問8 ふだん朝食を食べますか。

全体では、朝食を「ほとんど毎日食べる」割合は、男性の80.9%、女性の78.5%であり、平成20年調査の男性77.9%、女性83.9%と比較して、男性が増加し、女性が減少しています。

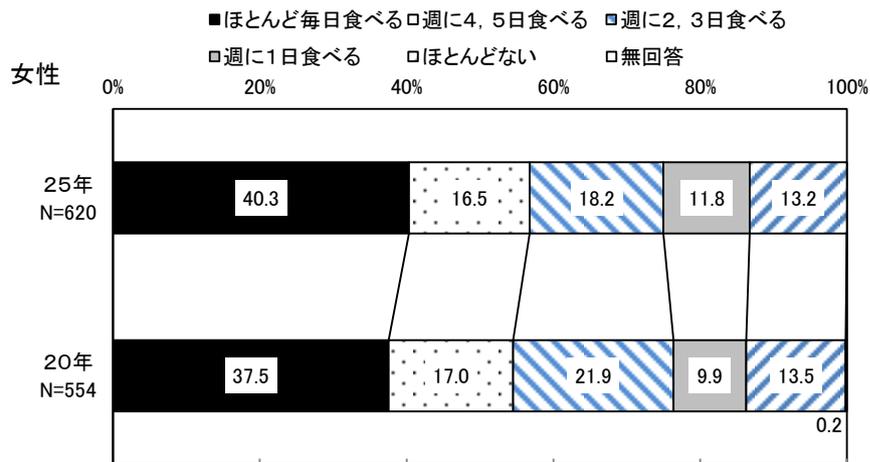
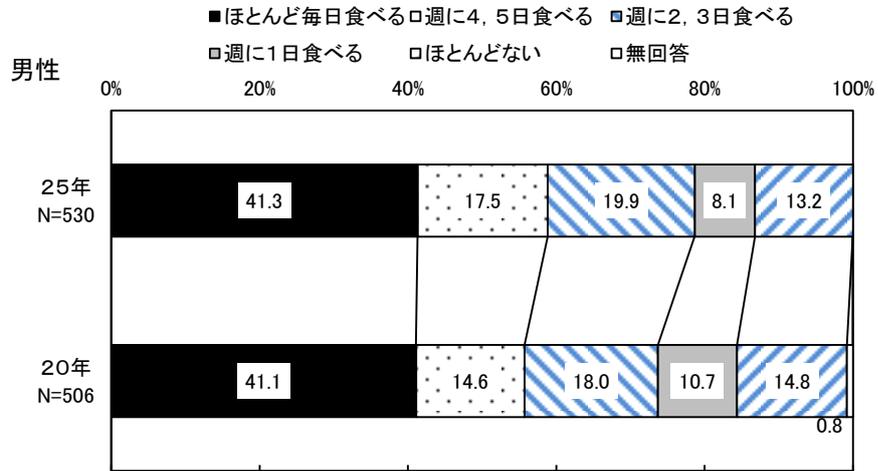


年齢別で見ると、男女共に年齢があがるにつれて、「ほとんど毎日食べる」の割合が減少し、「ほとんど食べない」の割合が増加する傾向にあります。

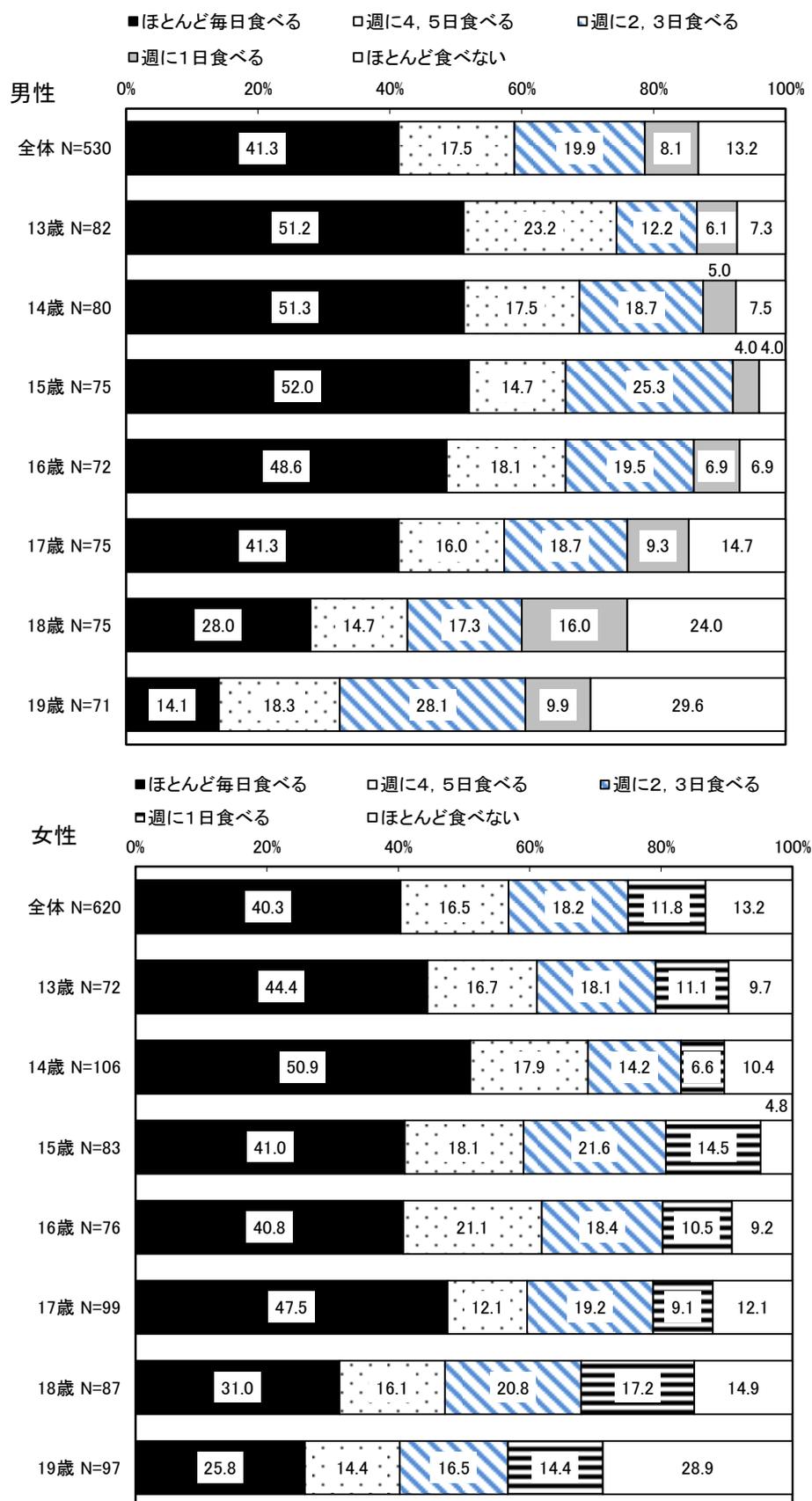


問9 ふだん家族そろって食事をすることがどのくらいありますか。

「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合は、男性の41.3%、女性の40.3%であり、平成20年調査の男性41.1%、女性37.5%と比較して増加しています。



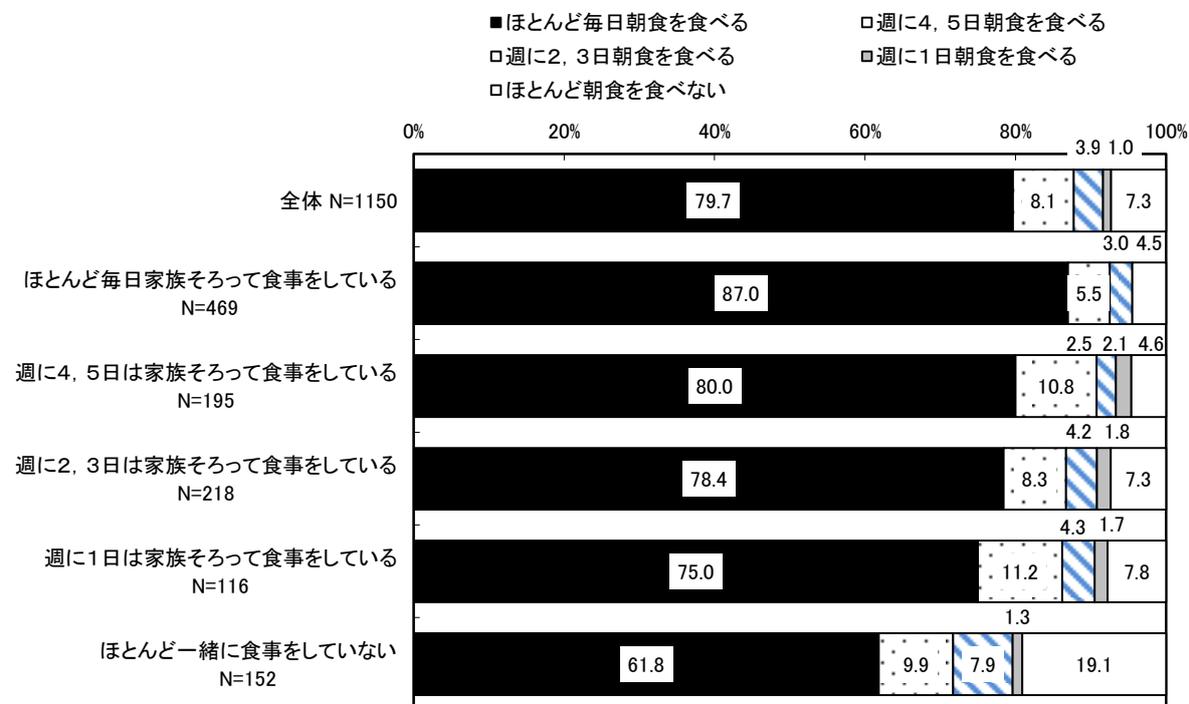
年齢別でみると、男女共に17歳以降、年齢があがるにつれて、家族そろっての食事を「ほとんどしない」割合が増加する傾向にあります。



## <朝食の摂取（問8）と家族そろっての食事（問9）の関係>

「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」者は、その他の者と比較して、「ほとんど毎日朝食を食べる」の割合が高くなっています。

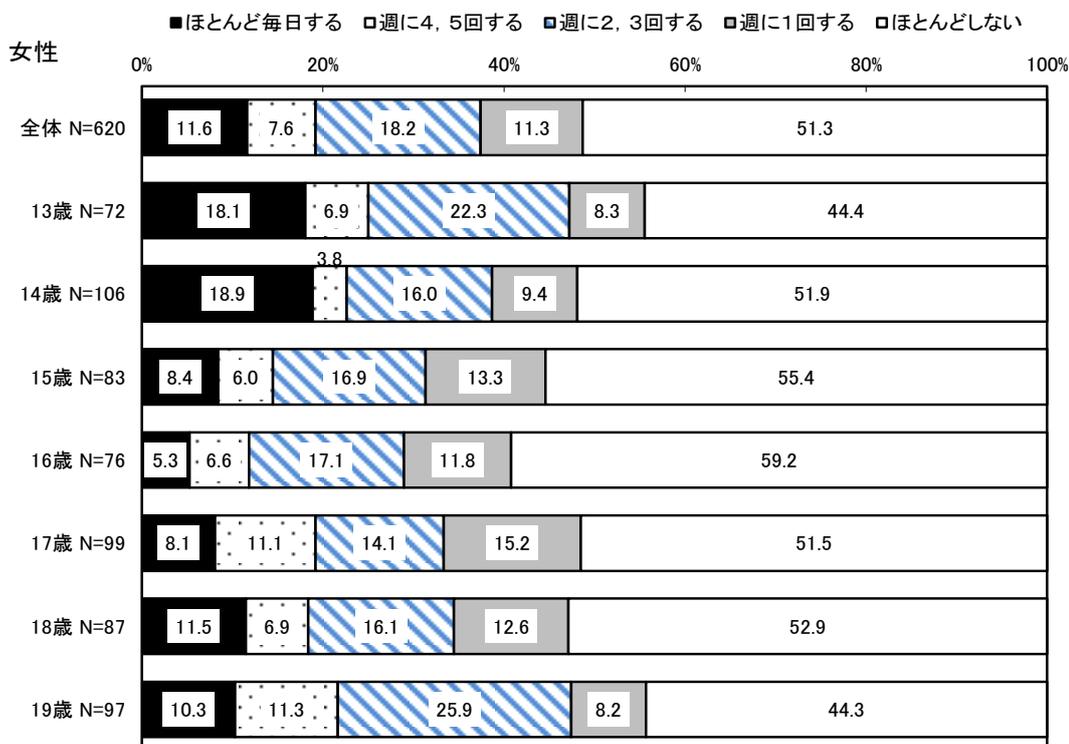
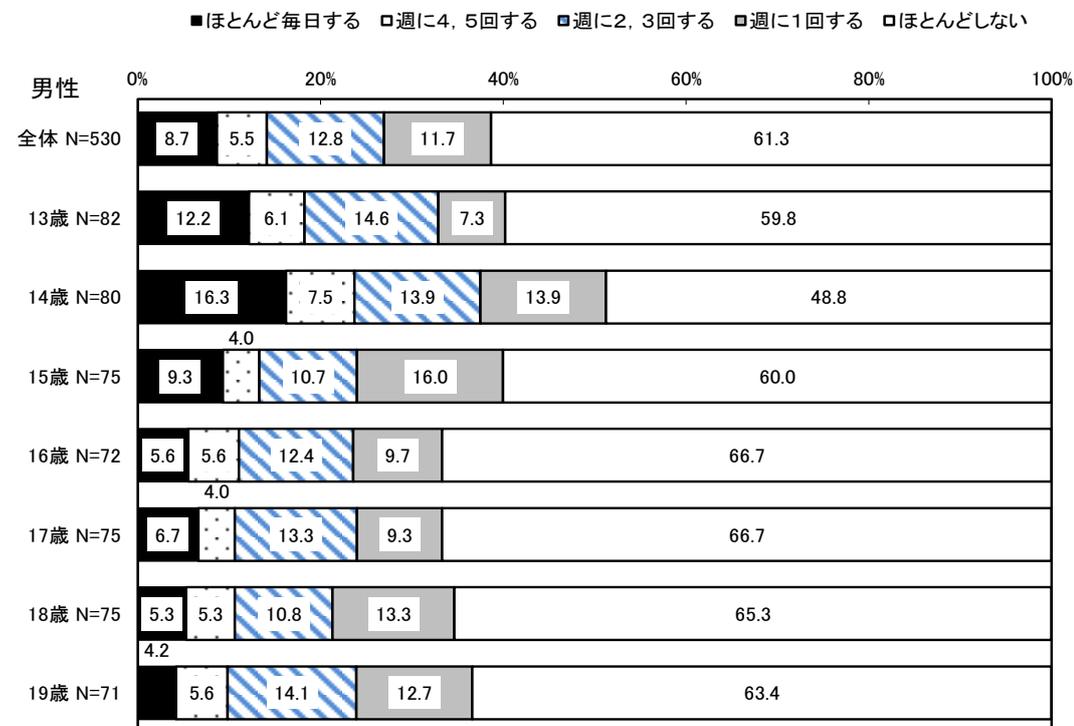
「ほとんど一緒に食事をしていない」者は、その他の者と比較して、「ほとんど朝食を食べない」の割合が高くなっています。



### 問10 自分や家族のために食事を作ったり手伝いをしますか。

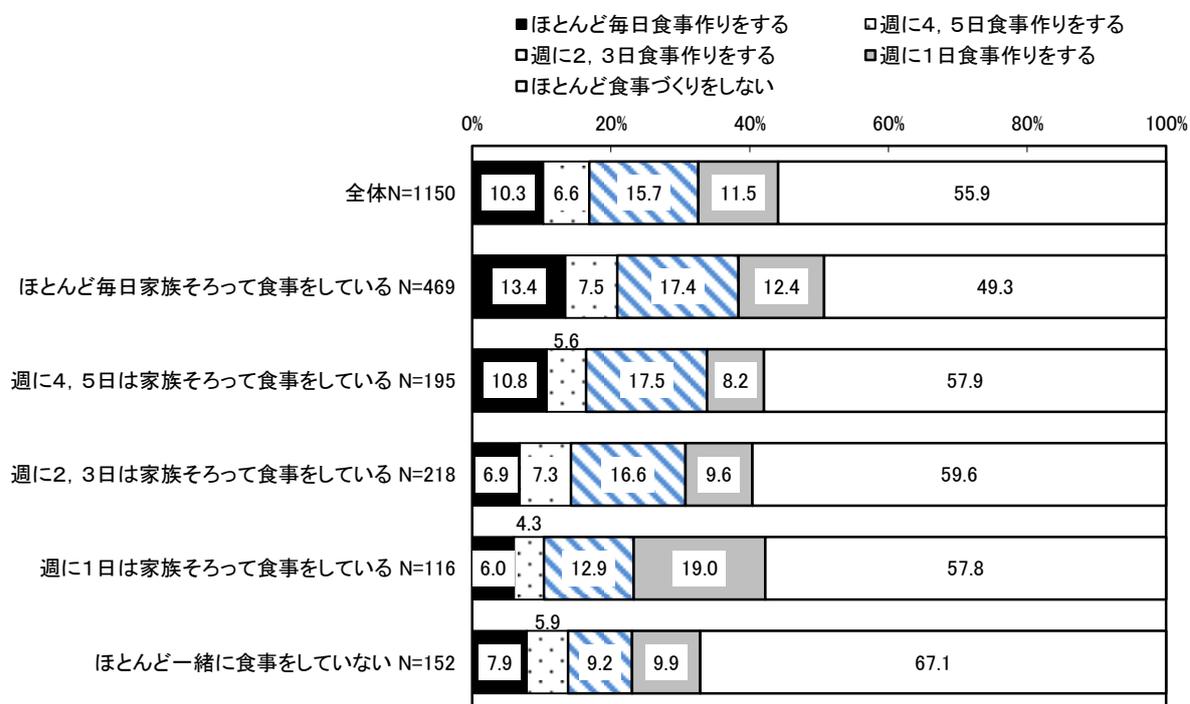
全体では、自分や家族のための食事作りや手伝いを「ほとんどしない」の割合は、男性の61.3%、女性の51.3%であり、最も高くなっています。

「ほとんど毎日する」、「週に4、5回する」の割合は、男女共に13歳、14歳で高くなっていますが、男性では、15歳からその割合が減少する傾向がみられています。



<家族そろっての食事（問9）と自分や家族のための食事作り・手伝い（問10）の関係>

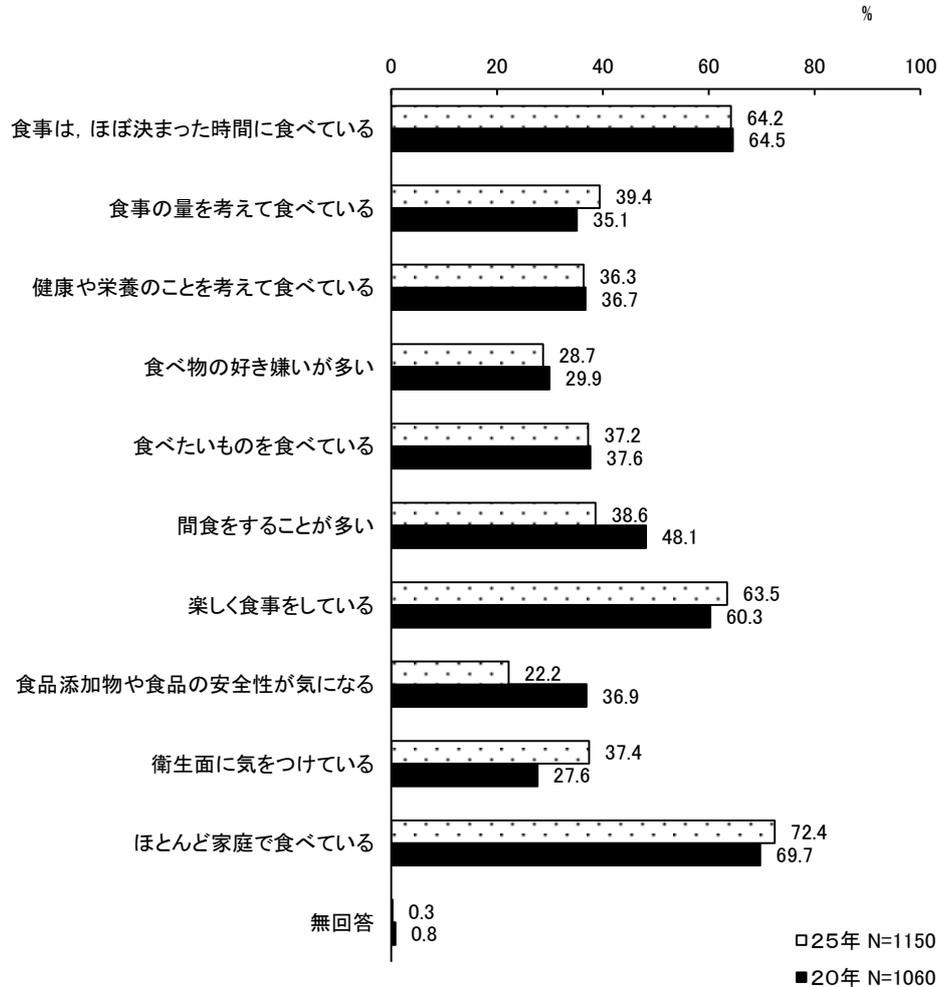
「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」者は、その他の者と比較して、自分や家族のために「ほとんど毎日食事作りをする」の割合が高く、「ほとんど食事づくりをしない」の割合が低くなっています。



問11 あなたのふだんの食生活についてあてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「ほとんど家庭で食べている」が72.4%、「食事は、ほぼ決まった時間に食べている」が64.2%、「楽しく食事をしている」が63.5%と高くなっています。

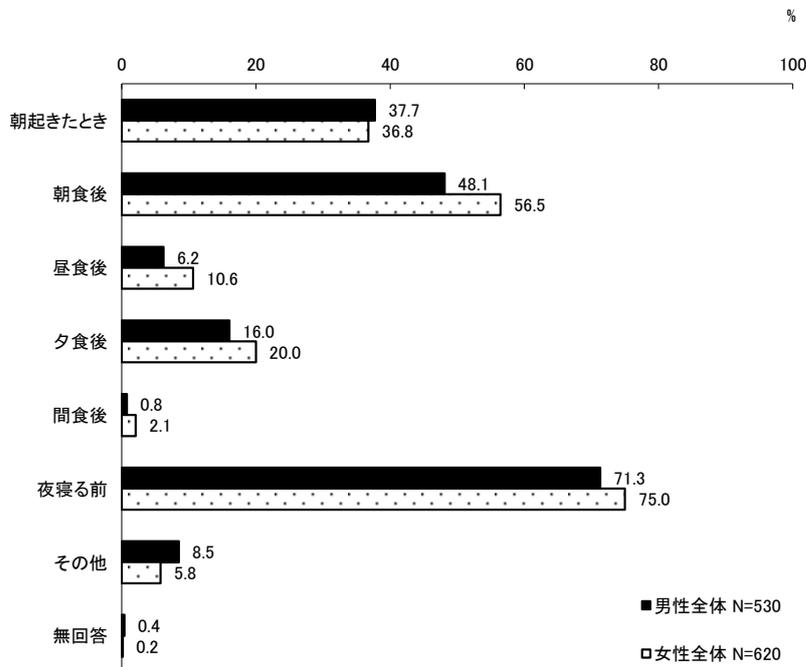
「間食をすることが多い」、「食品添加物や食品の安全性が気になる」は平成20年調査と比較して、大幅に減少し、「衛生面に気を付けている」割合が大幅に増加しています。



問12 歯みがきはいつしますか。主な時間を4つまで選んでください。

男女共に、「夜寝る前」の割合が最も高く、次いで「朝食後」、「朝起きたとき」の順となっています。

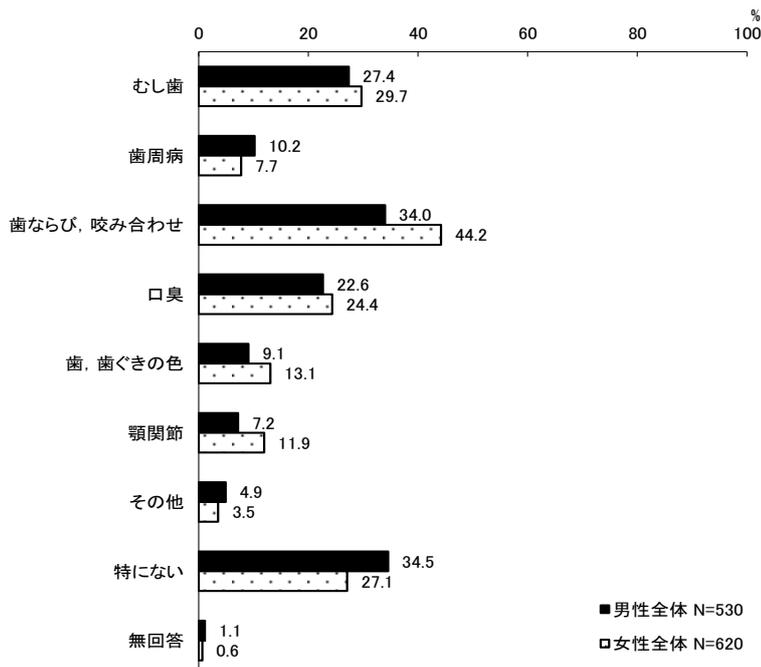
男女別では、「朝起きたとき」を除いて、女性の方が、歯みがきをする割合が高くなっています。



問13 あなたは歯や口のことで気になることはありますか。主なものを3つまで選んでください。

全体では、男女共に、「歯ならび、咬み合わせ」の割合が最も高く、女性では44.2%となっています。次いで、「むし歯」、「口臭」の順となっています。

男女別では、「歯周病」を除いた全項目で、女性の方が、割合が高くなっています。

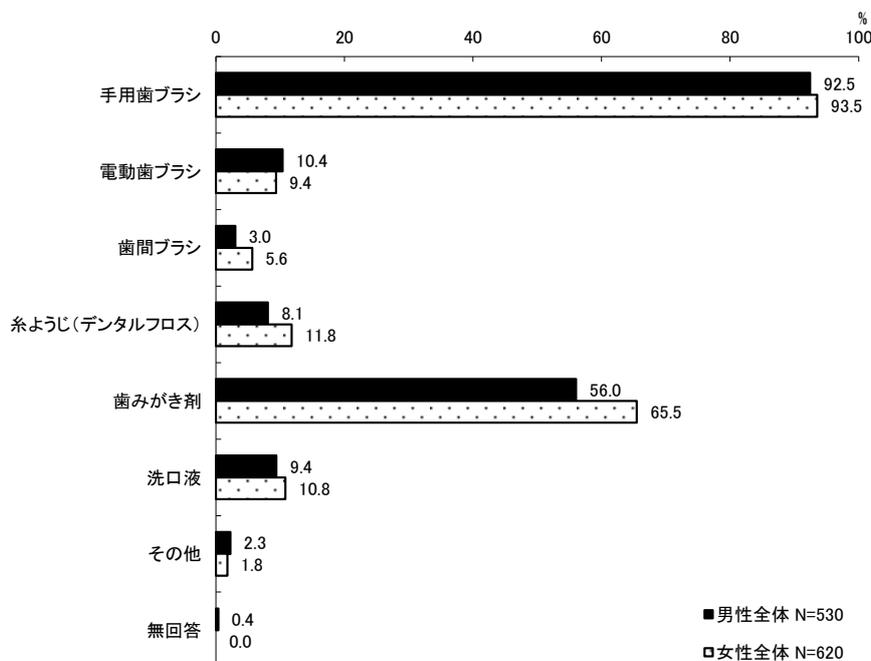


問14 歯みがきで使っている道具や用具はどれですか。当てはまるものすべて選んでください。

全体では、「手用歯ブラシ」の使用が、男性の92.5%、女性の93.5%と最も高くなっており、次いで、「歯みがき剤」となっています。

一方で、歯間部清掃用具である「糸ようじ（デンタルフロス）」や、「電動歯ブラシ」の使用は約10%となっています。

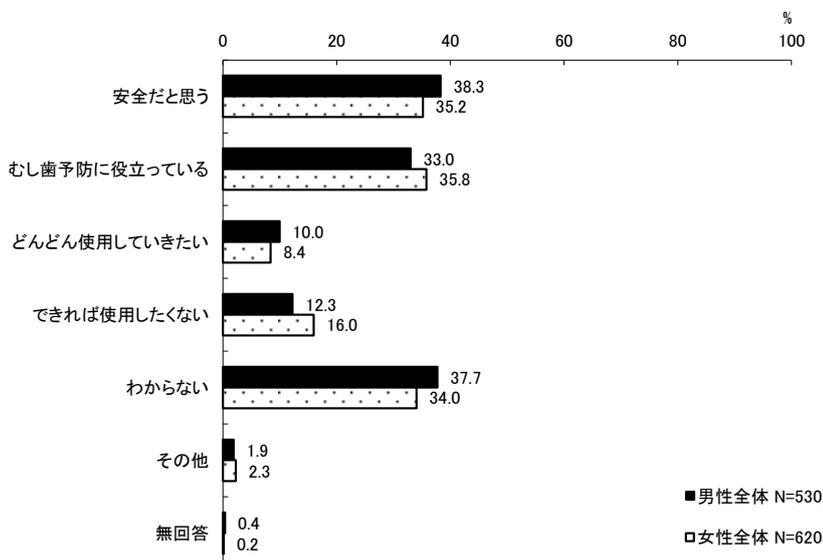
男女別では、「電動歯ブラシ」を除いて、女性の方が、歯みがきで道具・用品を使用する割合が高くなっています。



問15 むし歯予防のためにフッ素を使用することについてどう思いますか。当てはまるものすべて選んでください。

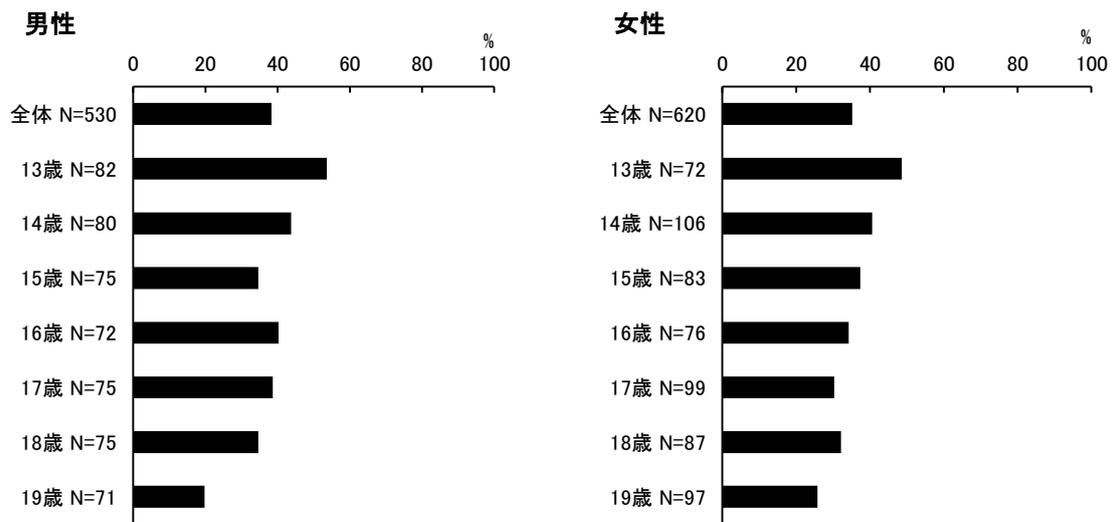
「安全だと思う」の割合は、男性の38.3%、女性の35.2%であり、「むし歯予防に役立っている」の割合は、男性の33.0%、女性の35.8%と高くなっています。

一方で、「わからない」の割合は、男性の37.7%、女性の34.0%であり、「できれば使用したくない」の割合は、男性の12.3%、女性の16.0%となっています。



### 【フッ素の使用が安全だと思う割合】

男女共に、年齢が低いほどフッ素の使用が「安全だと思う」の割合が高くなる傾向があります。



### 3 体格について

問16 身長・体重をそれぞれ数字で出来るだけ正確に記入してください。

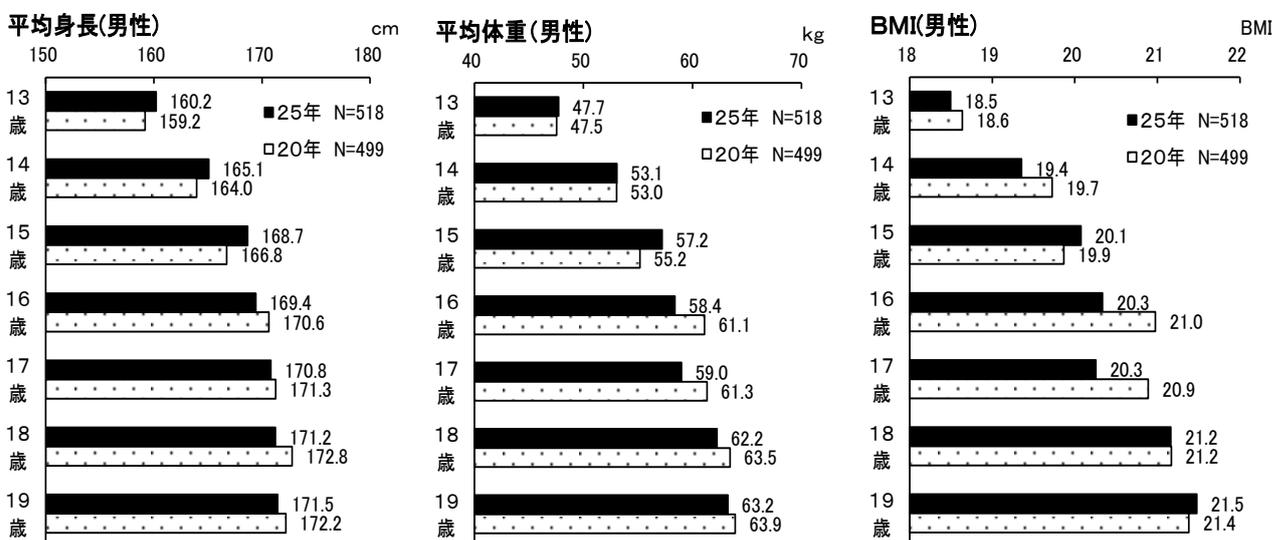
体格指数（BMI = 18.5 未満…やせ 18.5 以上 25.0 未満…普通 25.0 以上…肥満）

\* BMI 算出方法 = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

男女共に平均BMIは、平成20年調査と比較して、ほぼ変化はみられていませんが、女性のBMIは、13歳から16歳でやや低下傾向にあります。

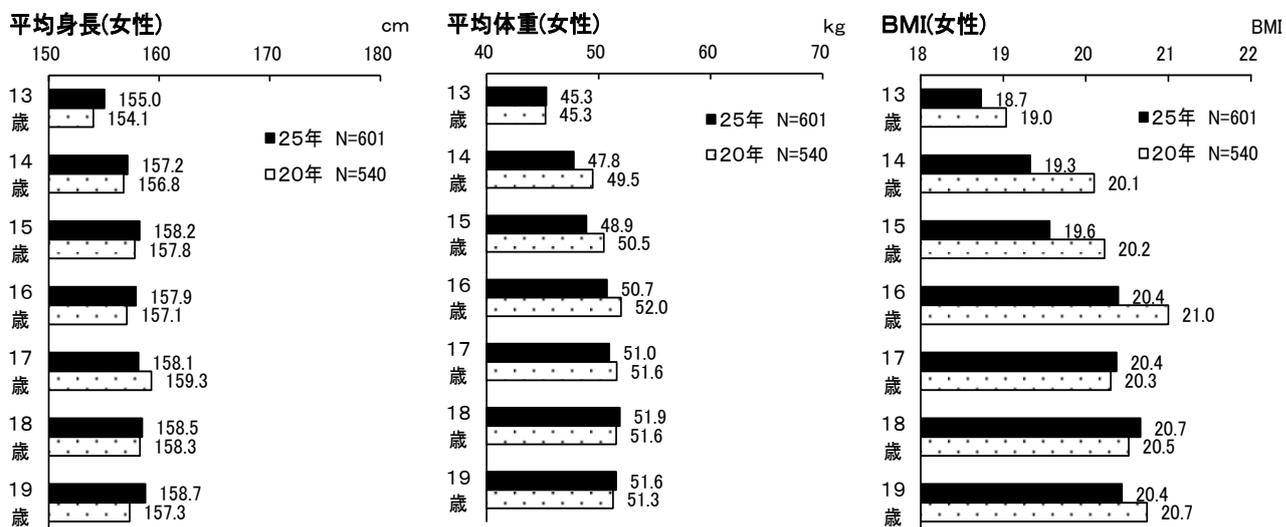
#### 【男性】

	平均身長	平均体重	平均BMI
今回調査	168.0	57.0	20.1
平成20年調査	167.7	57.5	20.4

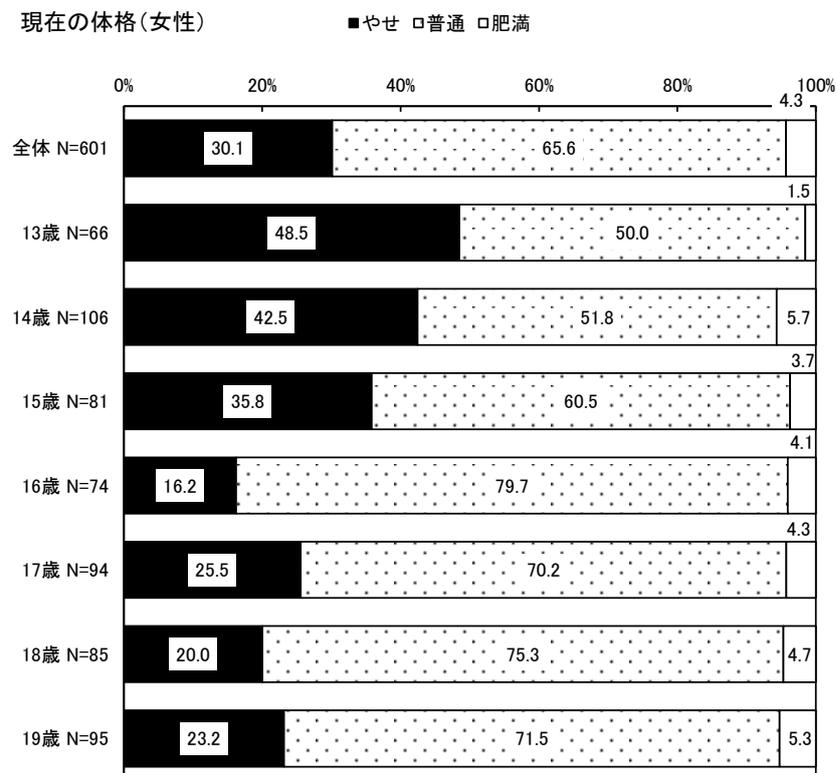
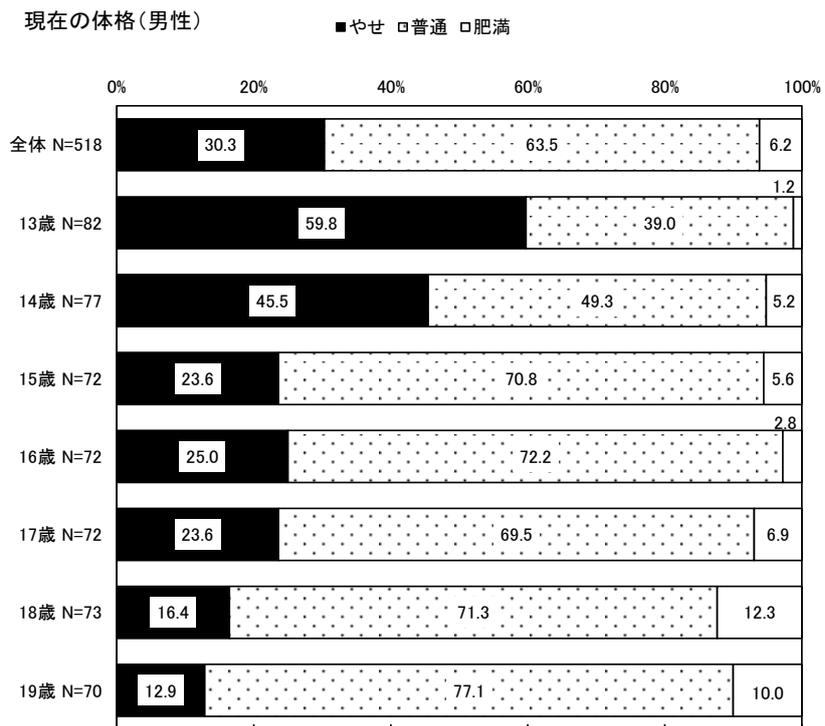


#### 【女性】

	平均身長	平均体重	平均BMI
今回調査	157.8	49.7	20.0
平成20年調査	157.2	50.2	20.3



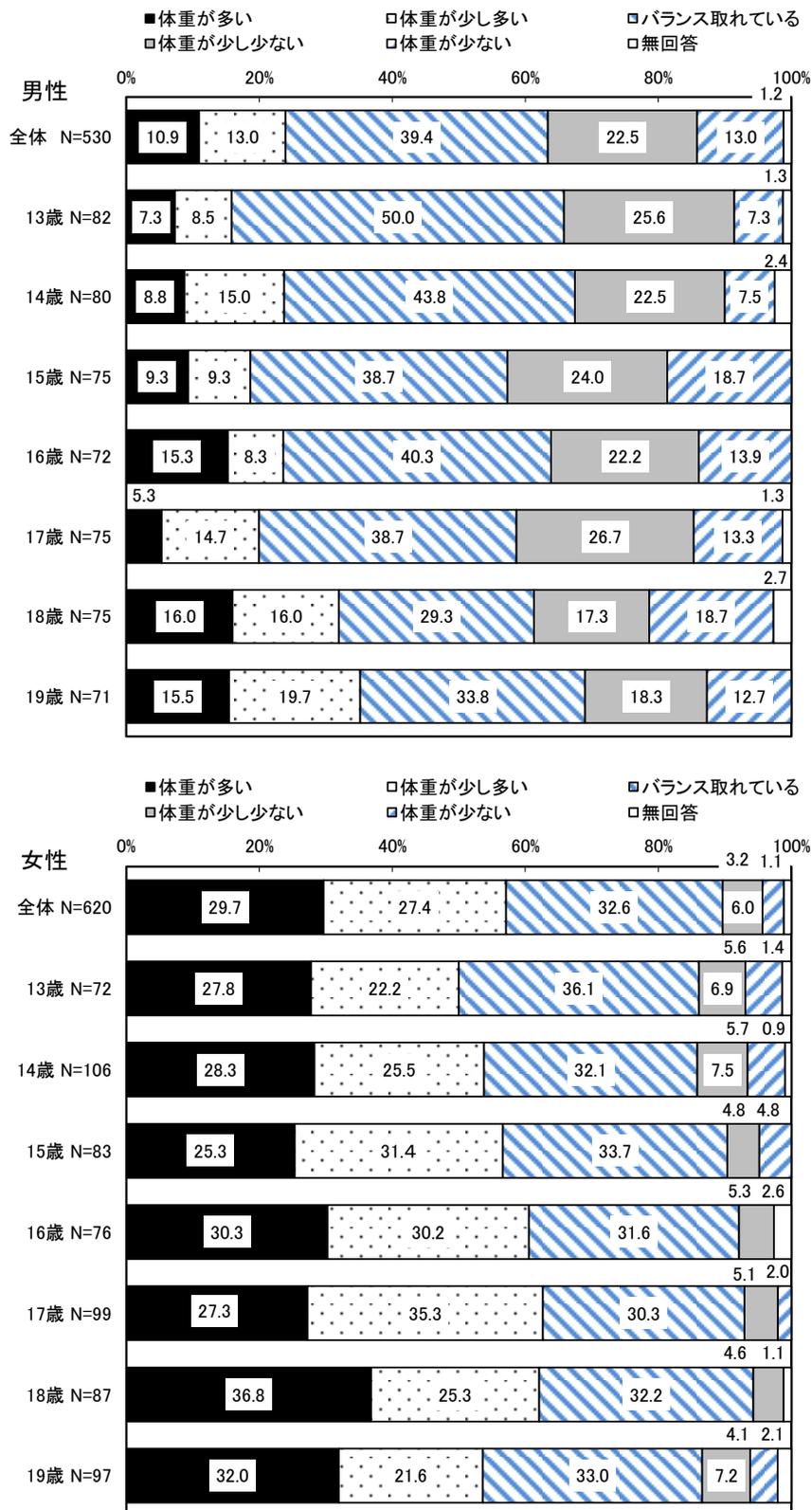
肥満の割合は、男性の6.2%、女性の4.3%であり、平成20年調査の男性5.8%、女性5.2%と比較して、男性で微増し、女性で減少しています。



問17 あなたは、自分の身長と体重のバランスが取れていると思いますか。

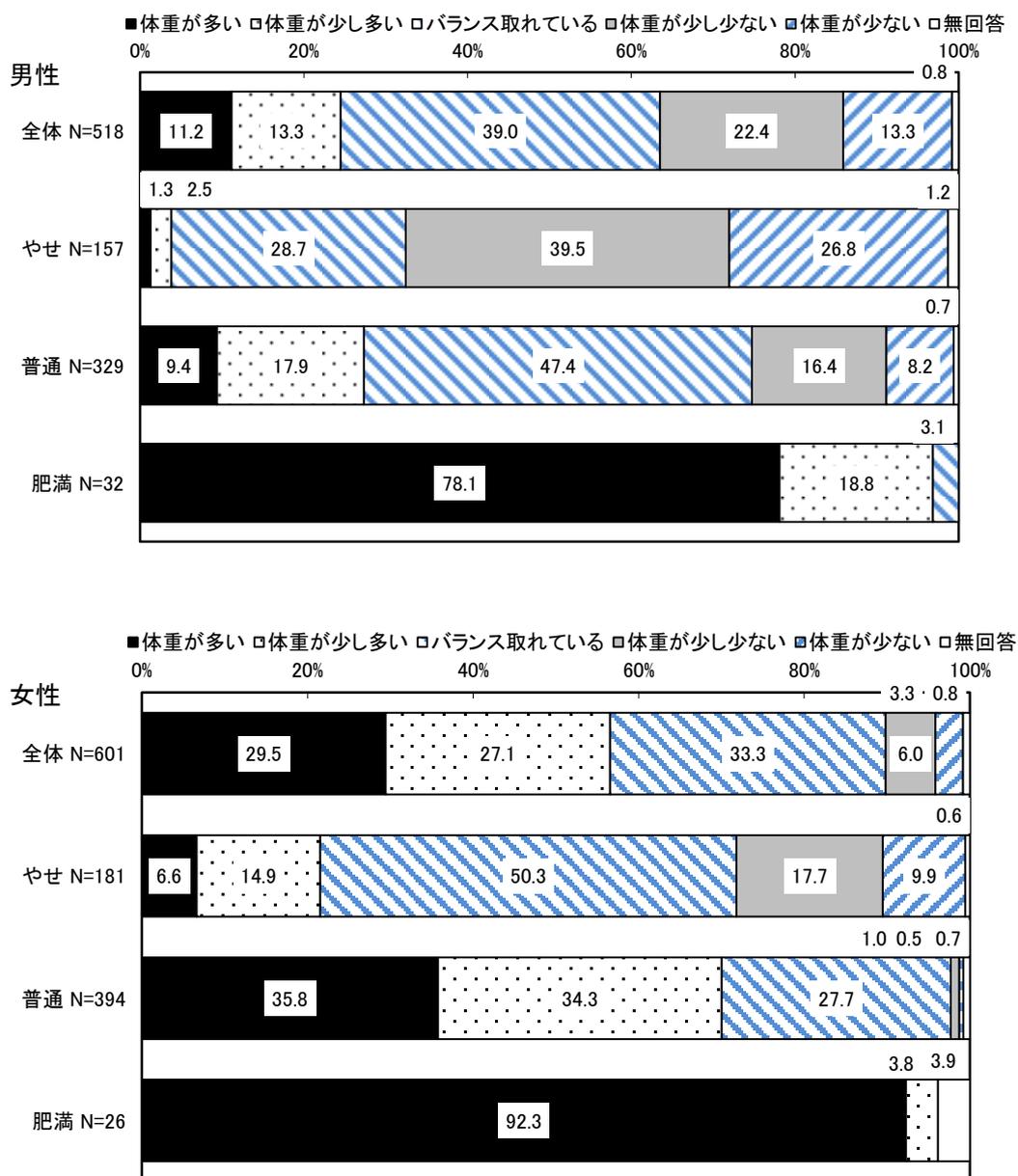
全体では、「バランスが取れている」の割合は、男性の39.4%、女性の32.6%となっており、平成20年調査の男性39.7%、女性30.1%と比較して、女性でやや増加しています。

「体重が多い」、「体重が少し多い」の割合は、男性の23.9%、女性の57.1%となっており、女性が高くなっていますが、平成20年調査と比較すると、男女ともその割合は減少しています。



## <現在の体格（問16）と自分の身長と体重のバランス（問17）の関係>

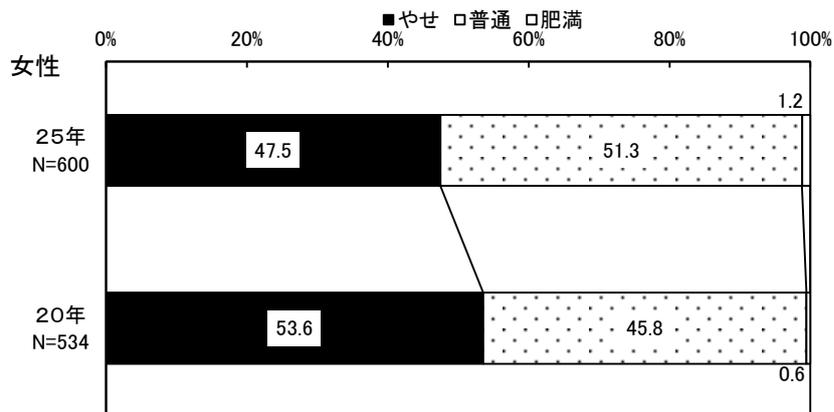
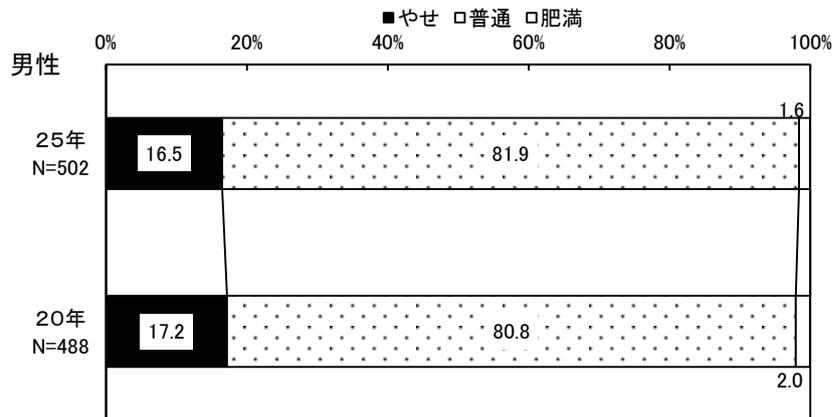
現在の体格が「やせ」であっても、「体重が多い」、「体重が少し多い」と思う割合は、男性の3.8%、女性の21.5%となっています。



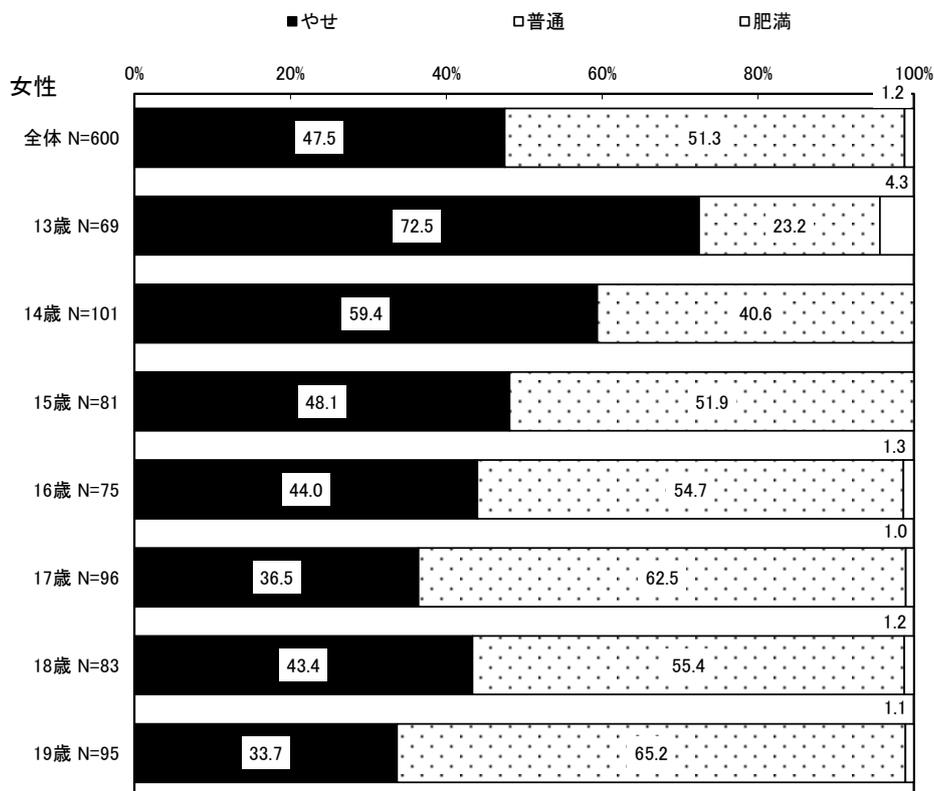
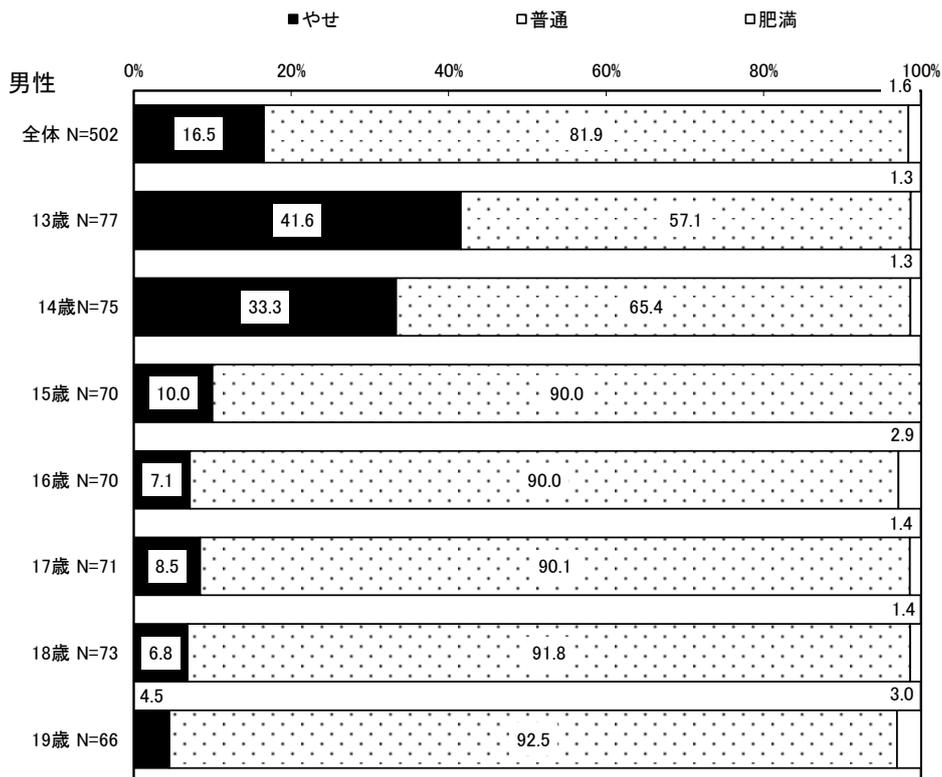
問18 あなたの身長であなたが理想と考える体重はどれくらいですか。数字を記入してください。

男性では、「普通」が81.9%、「やせ」が16.5%、「肥満」が1.6%となっており、平成20年調査とほぼ同様となっています。

女性では、「普通」が51.3%、「やせ」が47.5%、「肥満」が1.2%となっており、平成20年調査と比較して、「やせ」は53.7%から減少し、「普通」は45.8%から増加しています。



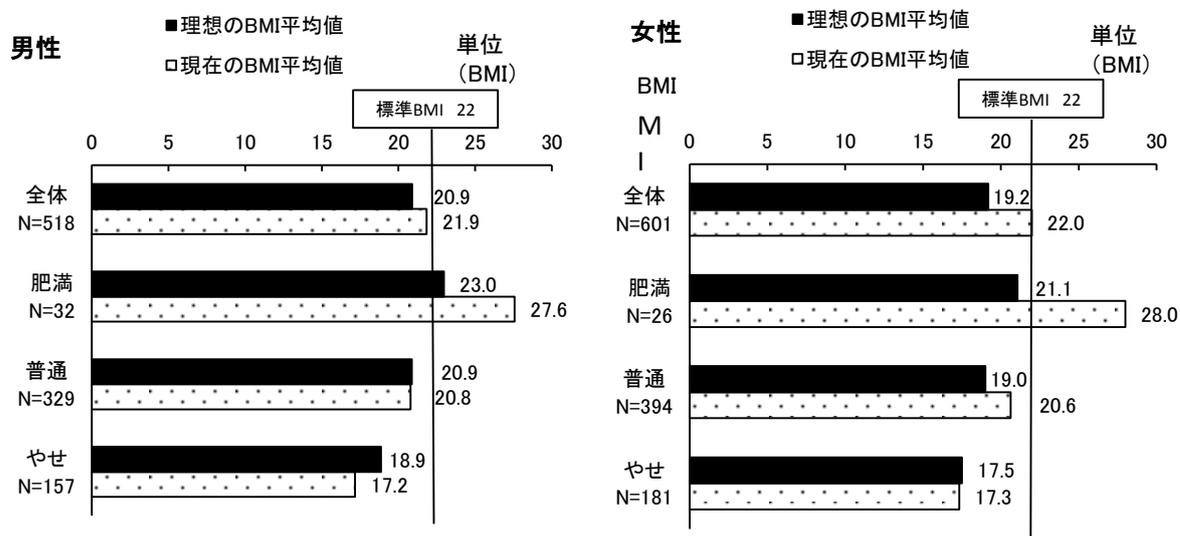
男女共に、年齢が低いほど、「やせ」を理想とする割合が増加する傾向にあります。



### <現在の体格（問16）と理想と考える体重（問18）の関係>

男性は、現在のBMIと理想と考えるBMIはほぼ一致していますが、現在のBMIが「肥満」では、低いBMIを理想としています。

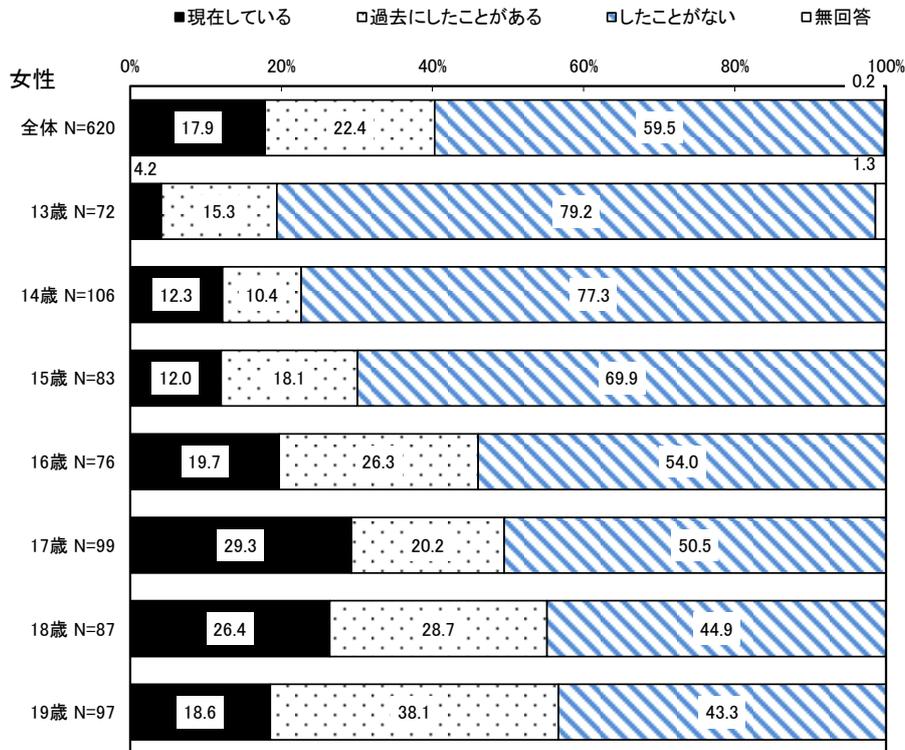
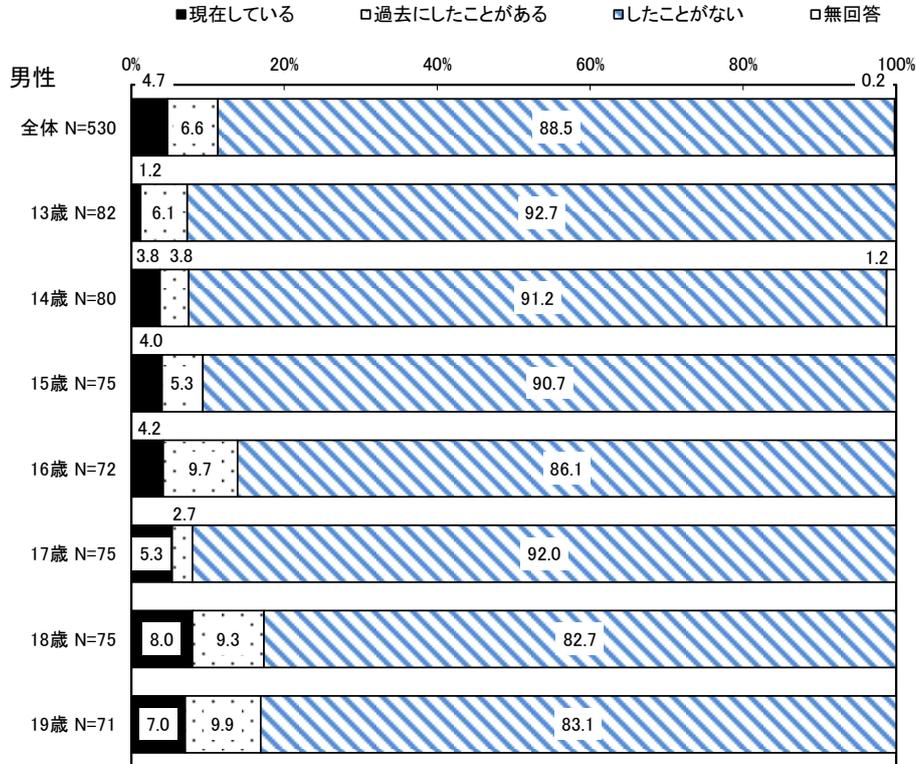
女性は、現在のBMIが「やせ」では、理想と考えるBMIとほぼ一致していますが、現在のBMIが「普通」、「肥満」では、現在のBMIより低いBMIを理想と考えています。



問19 あなたは、ダイエットをしたこと(している)がありますか。

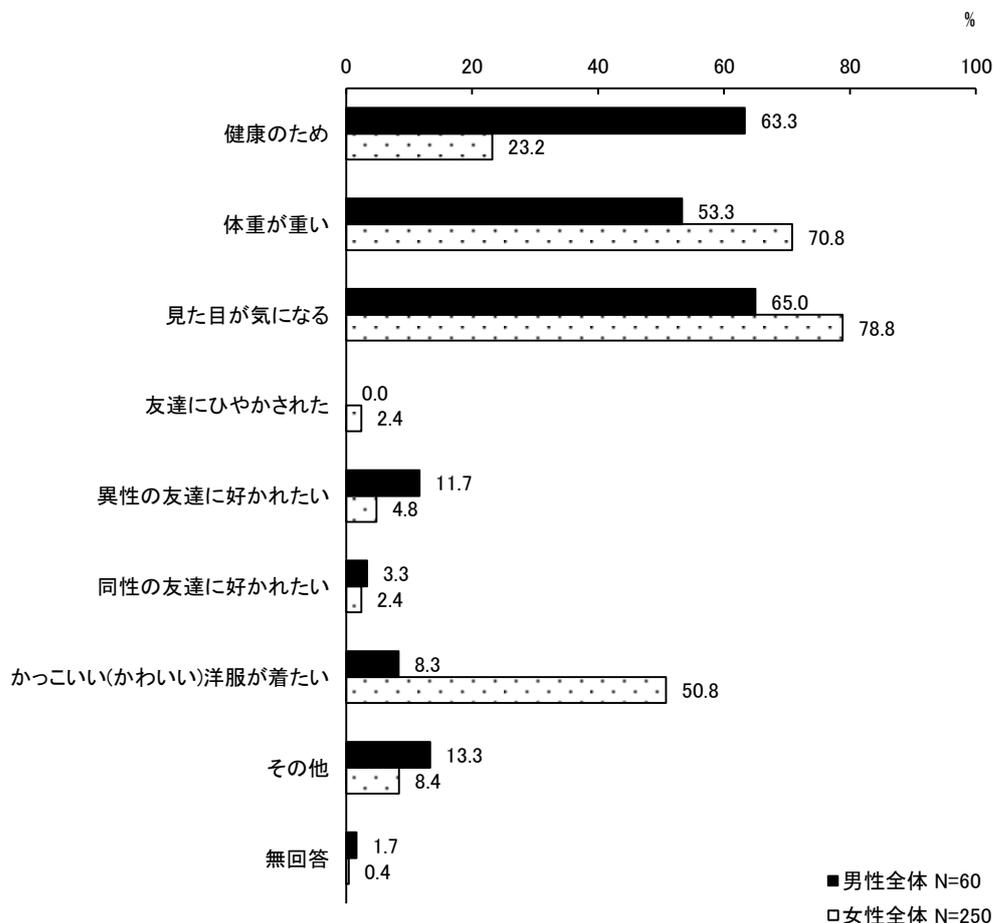
全体では、ダイエット経験(「現在している」、「過去にしたことがある」の回答者)の割合は、男性の11.3%、女性の40.3%となっています。

ダイエット経験は女性に多く、男女共に、年齢があがるにつれて増加する傾向があります。



補問19-2 問19で「1 現在している」、「2 過去にしたことがある」と答えた方におたずねします。その理由として主なものを3つまで選んでください。

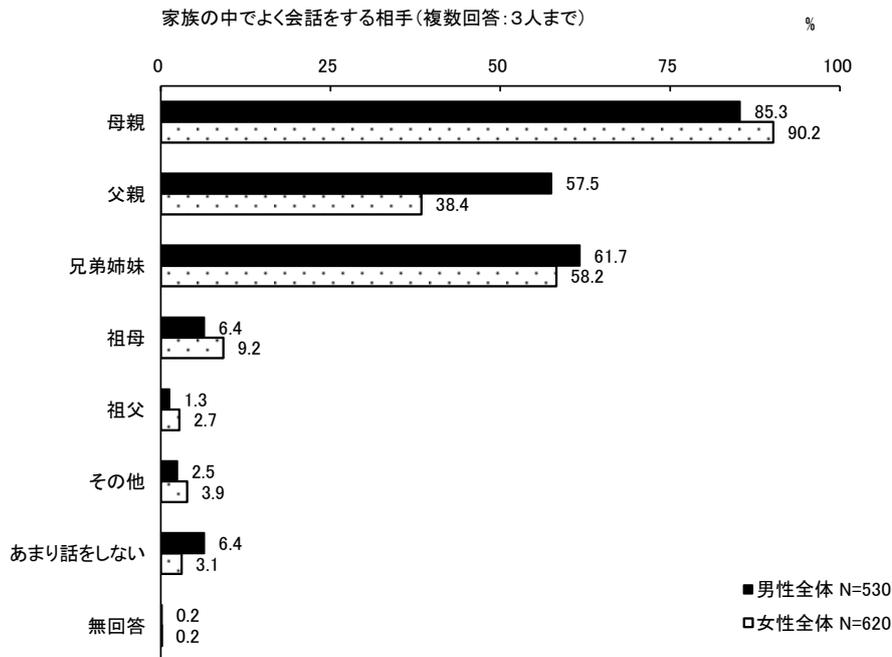
男女共に、「見た目が気になる」の割合が最も高くなっています。  
次いで、男性では、「健康のため」、「体重が重い」の順になっており、女性では、「体重が重い」、「かっこいい(かわいい)洋服が着たい」の順となっています。



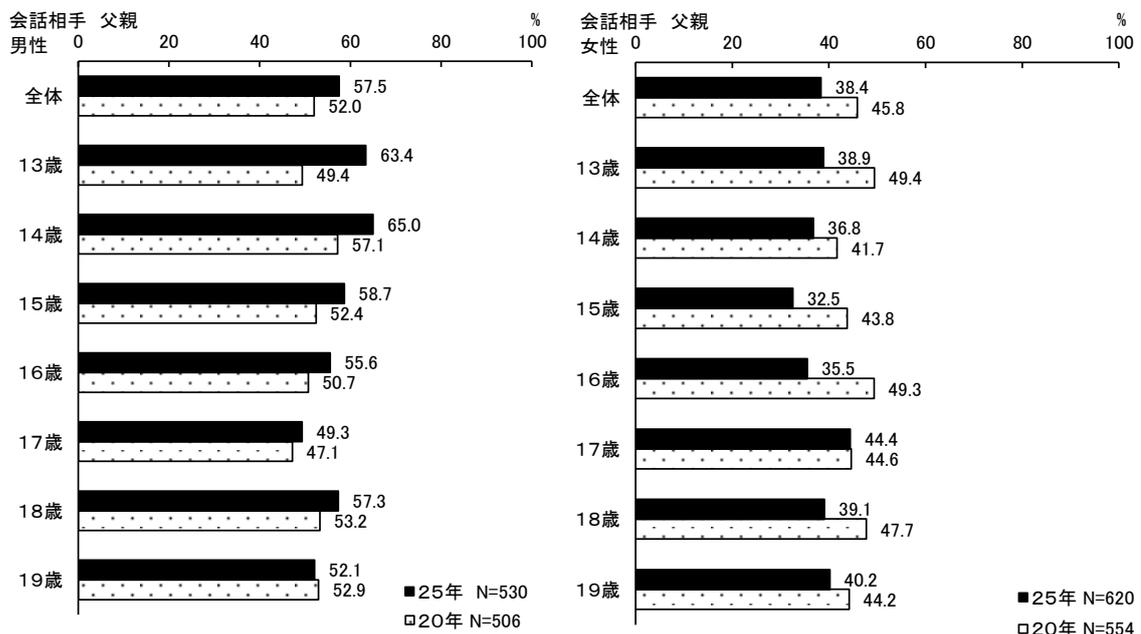
## 4 家族との関係について

問20 あなたが家族の中でよく会話をするのは誰ですか。主な人を3人まで選んでください。

男女共に、「母親」、「兄弟姉妹」、「父親」の順に高くなっています。特に「母親」は、女性の90.2%、男性の85.3%となっています。

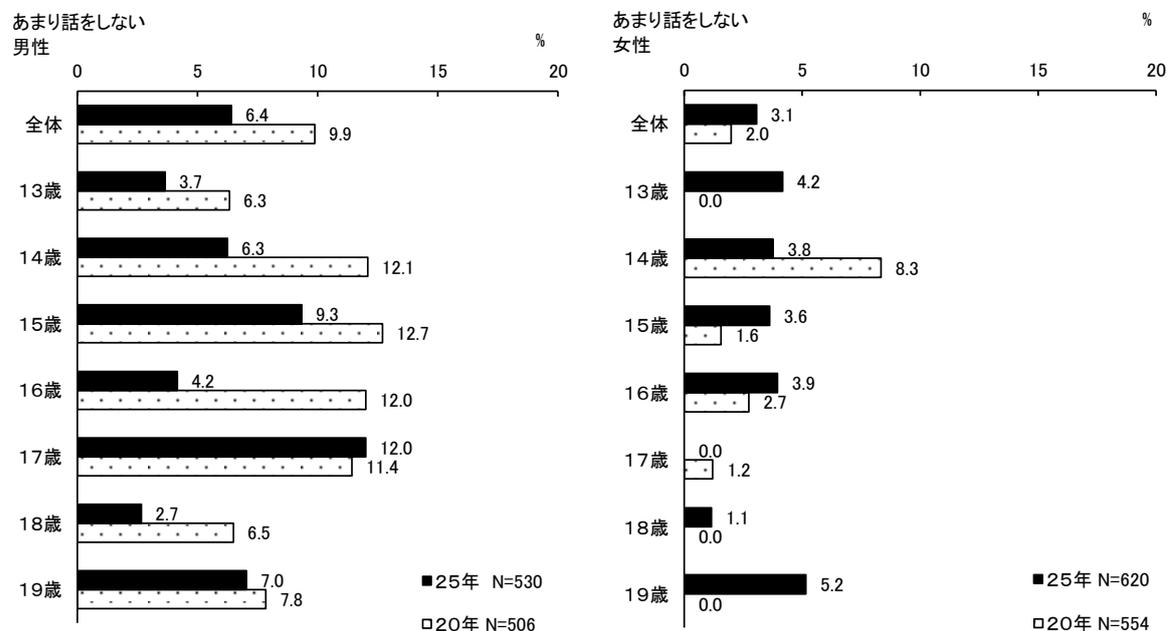


「父親」と会話している割合は、女性では38.4%であり、平成20年調査の45.8%と比較して減少していますが、男性では57.5%であり、平成20年調査の52.0%と比較して増加しています。



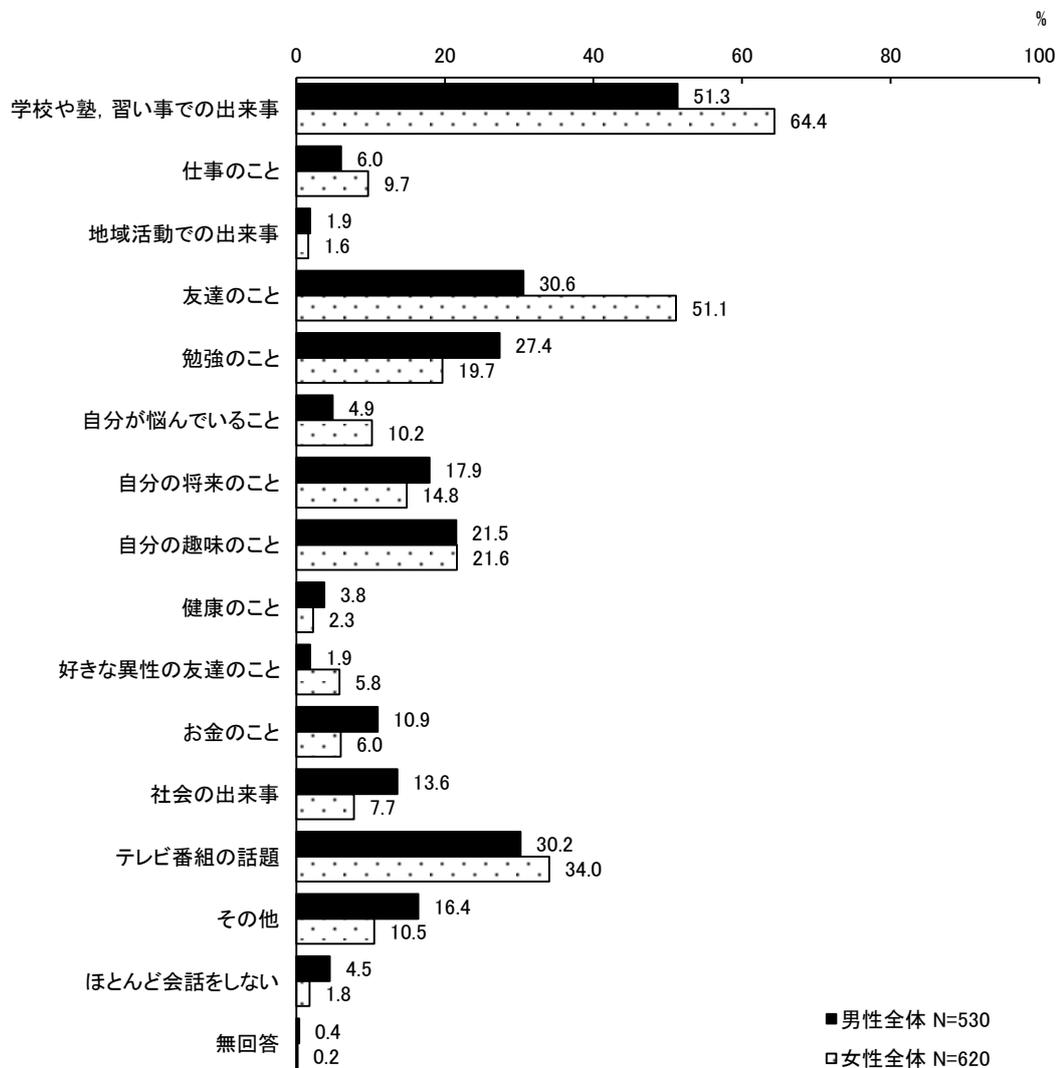
「あまり話をしない」の割合は、男性では6.4%であり、平成20年調査の9.9%と比較して減少しています。一方、女性では、3.1%であり、平成20年調査の2.0%と比較して増加しています。

年齢別では、男性は17歳、女性は19歳で「あまり話をしない」の割合が最も高くなっています。



問21 あなたはふだん家族とどのような話をしますか。主なものを3つまで選んでください。

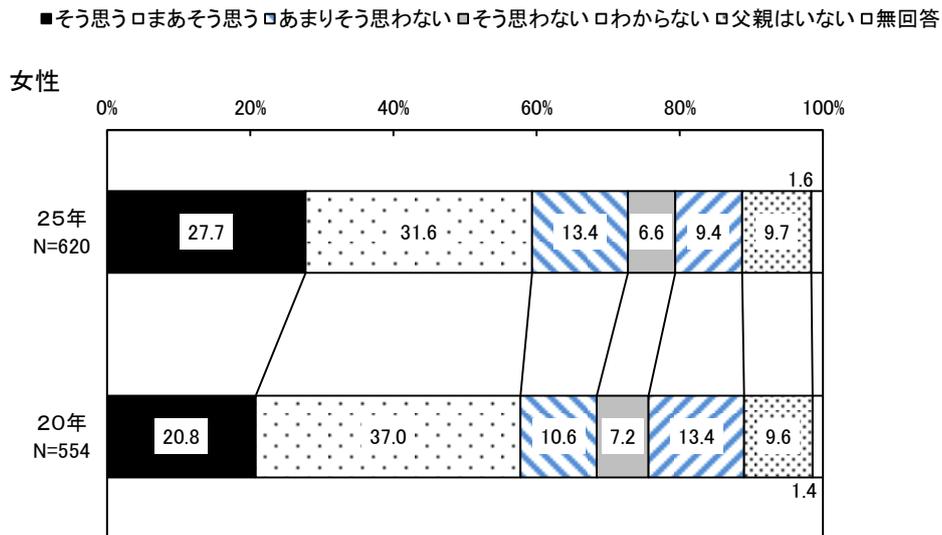
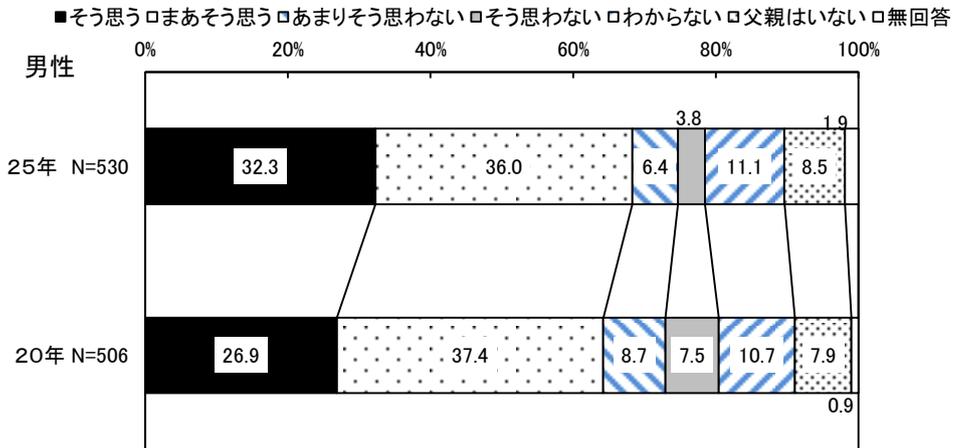
男女共に、「学校や塾、習い事での出来事」の割合が最も高くなっています。次いで、「友達のこと」、「テレビ番組の話題」となっています。

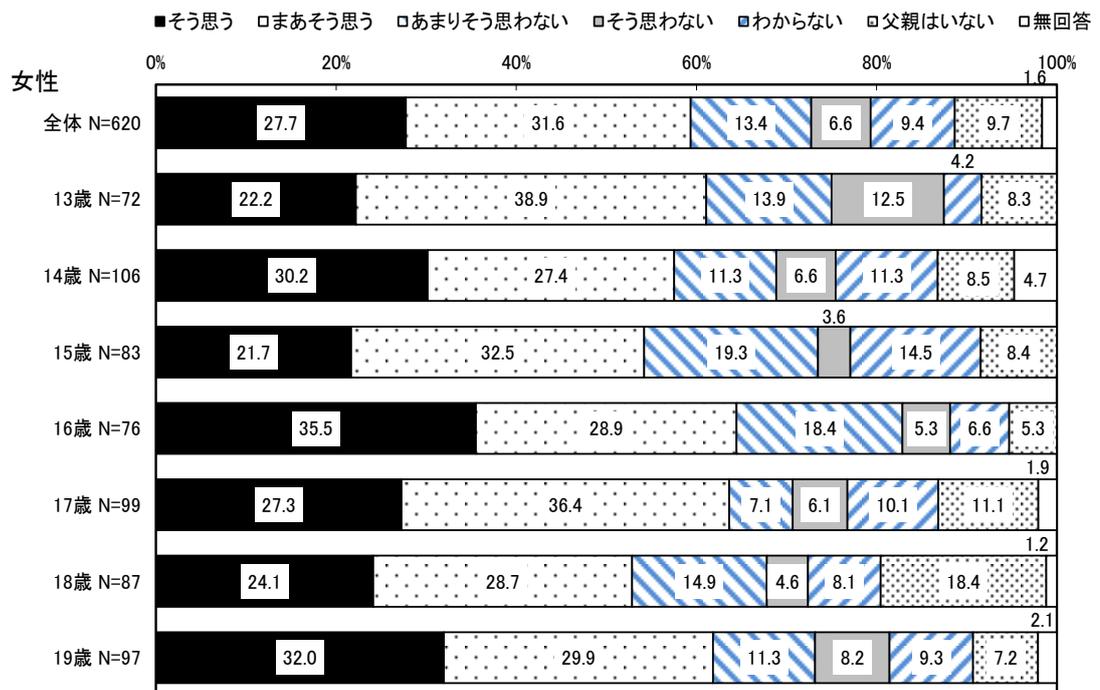
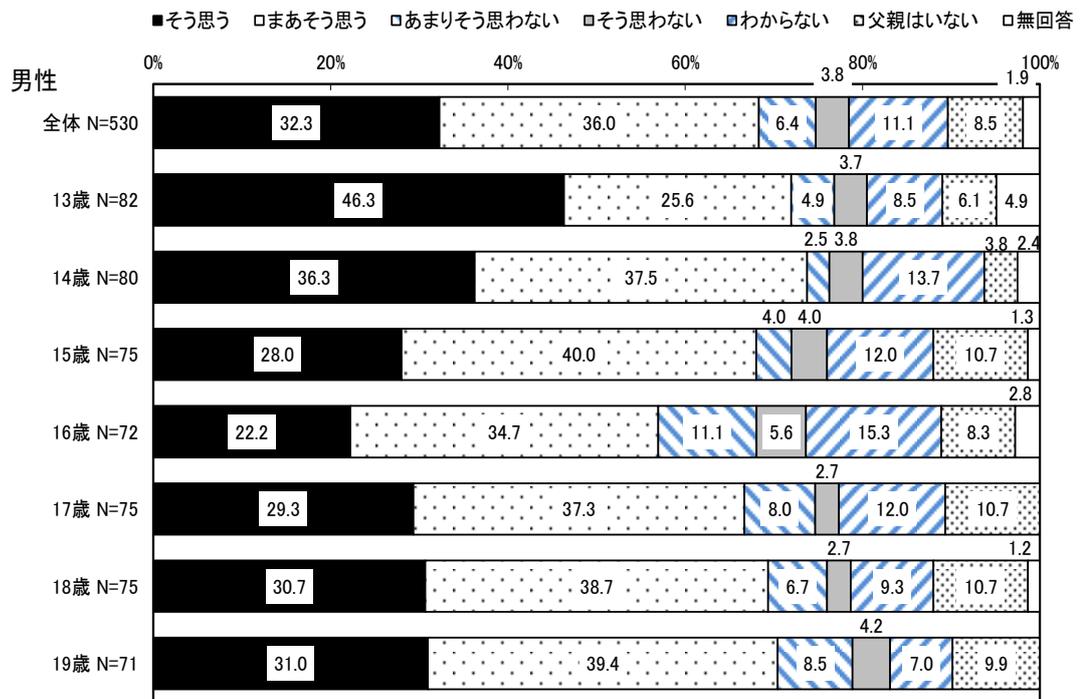


問22 親は自分のことを理解してくれていると思いますか。

【父親の理解】

父親が自分のことを「理解してくれていると思う」、「まあそう思う」の割合は、男性の68.3%、女性の59.3%であり、平成20年調査の男性64.3%、女性57.8%と比較して、増加しています。

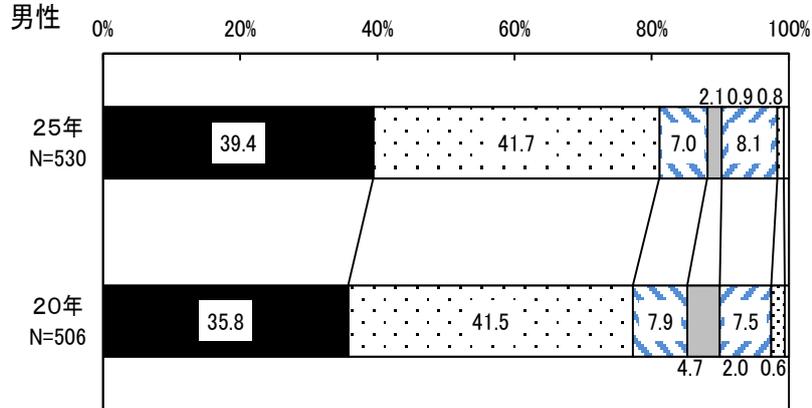




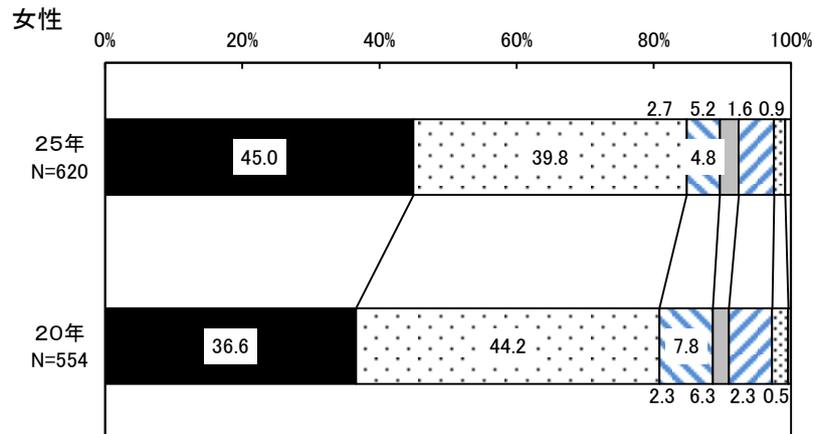
**【母親の理解】**

母親が自分を理解してくれていることについて、「そう思う」、「まあそう思う」の割合は、男性の81.1%、女性の84.8%であり、平成20年調査の男性77.3%、女性80.8%と比較して、増加しています。

■そう思う □まあそう思う □あまりそう思わない □そう思わない □わからない □母親はいない □無回答

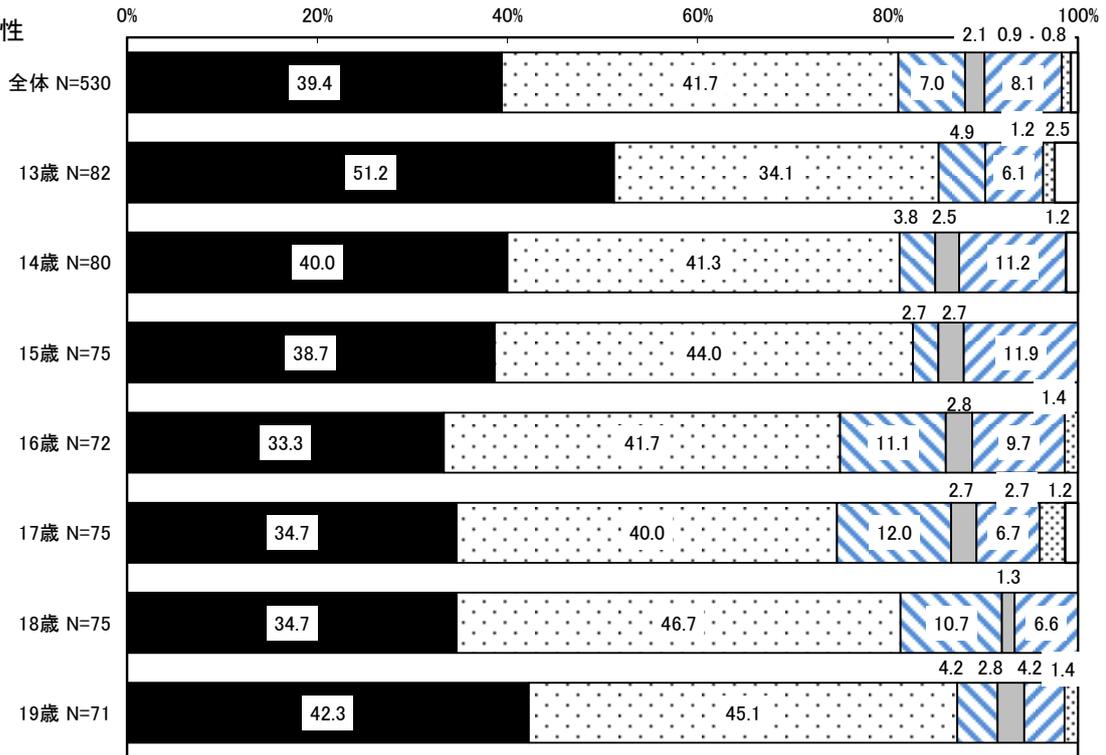


■そう思う □まあそう思う □あまりそう思わない □そう思わない □わからない □母親はいない □無回答



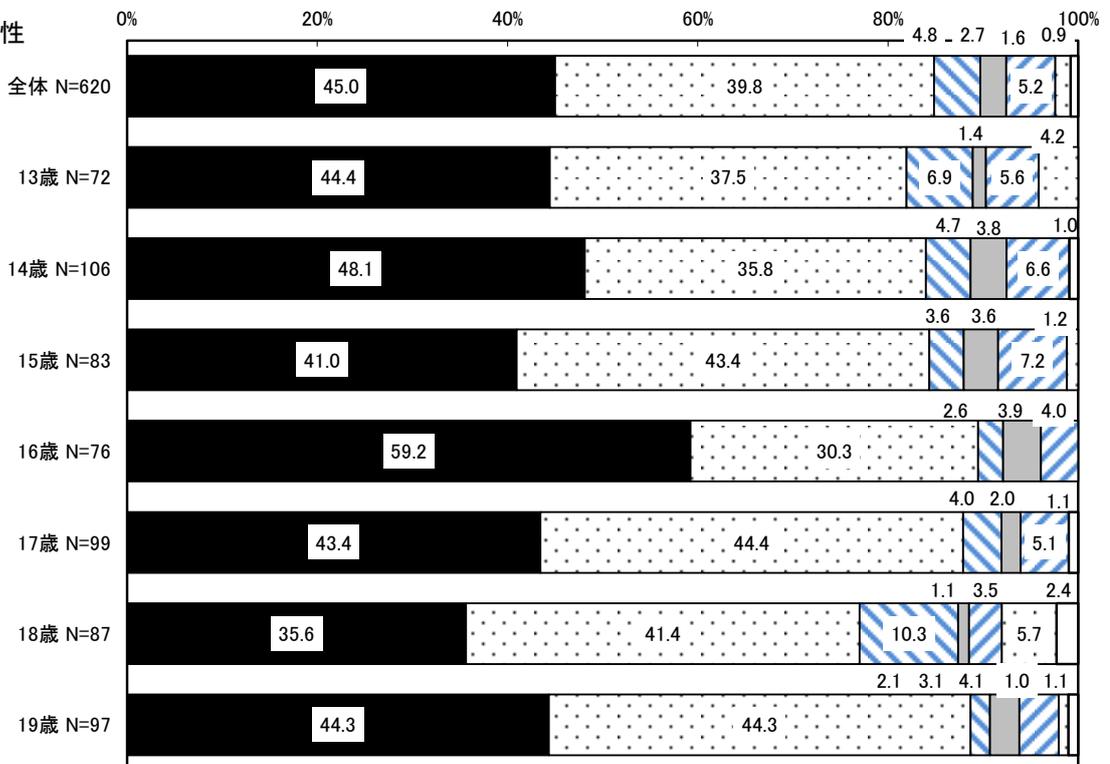
■ そう思う □ まあそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない □ 母親はいない □ 無回答

男性



■ そう思う □ まあそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない □ 母親はいない □ 無回答

女性

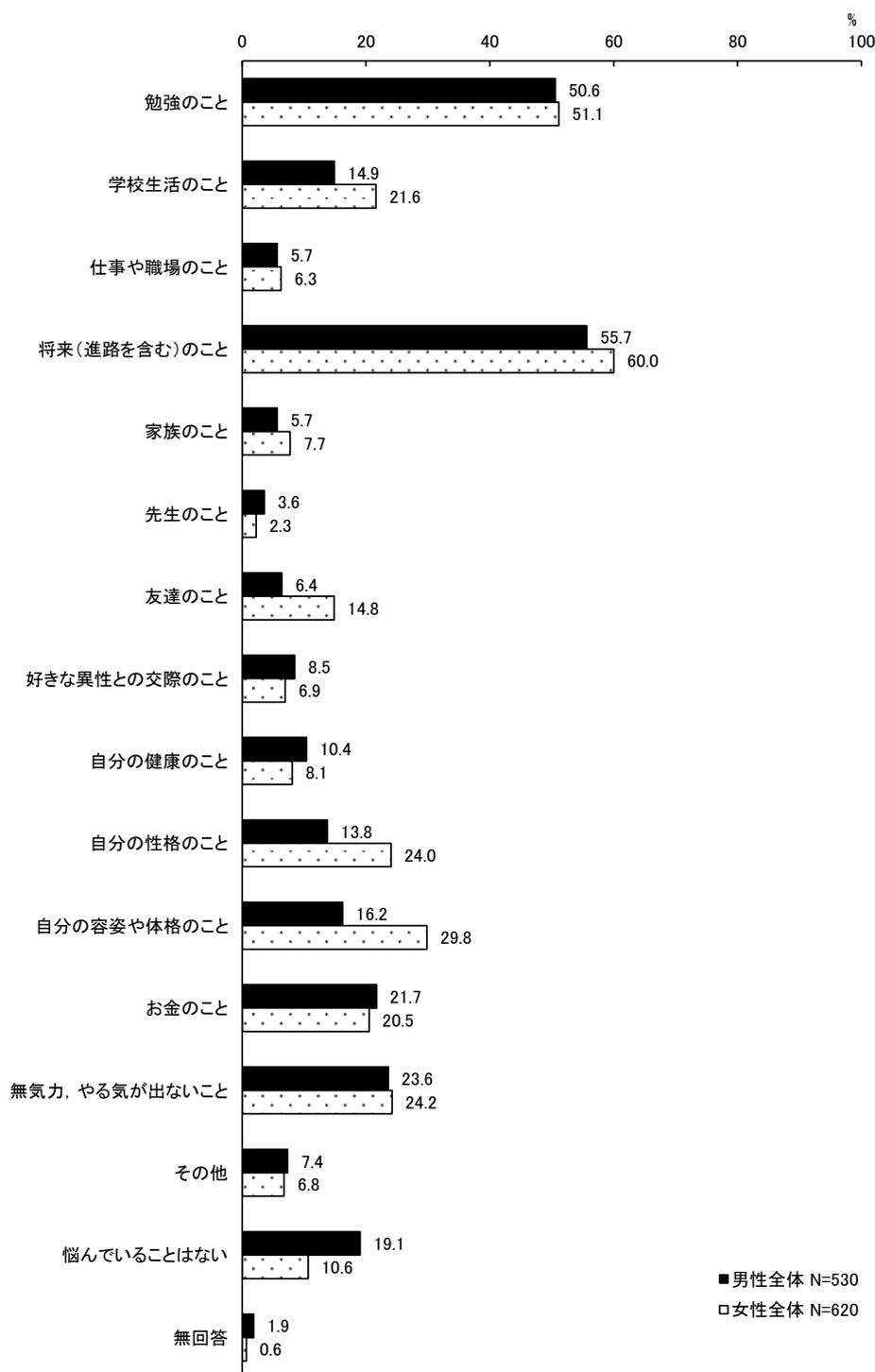


## 5 悩みやこころの状態について

問23 あなたは、現在悩んでいることがありますか。主なものを5つまで選んでください。

男女共に、「勉強のこと」、「将来（進路を含む）のこと」の割合が高く、平成20年調査とほぼ同様となっています。

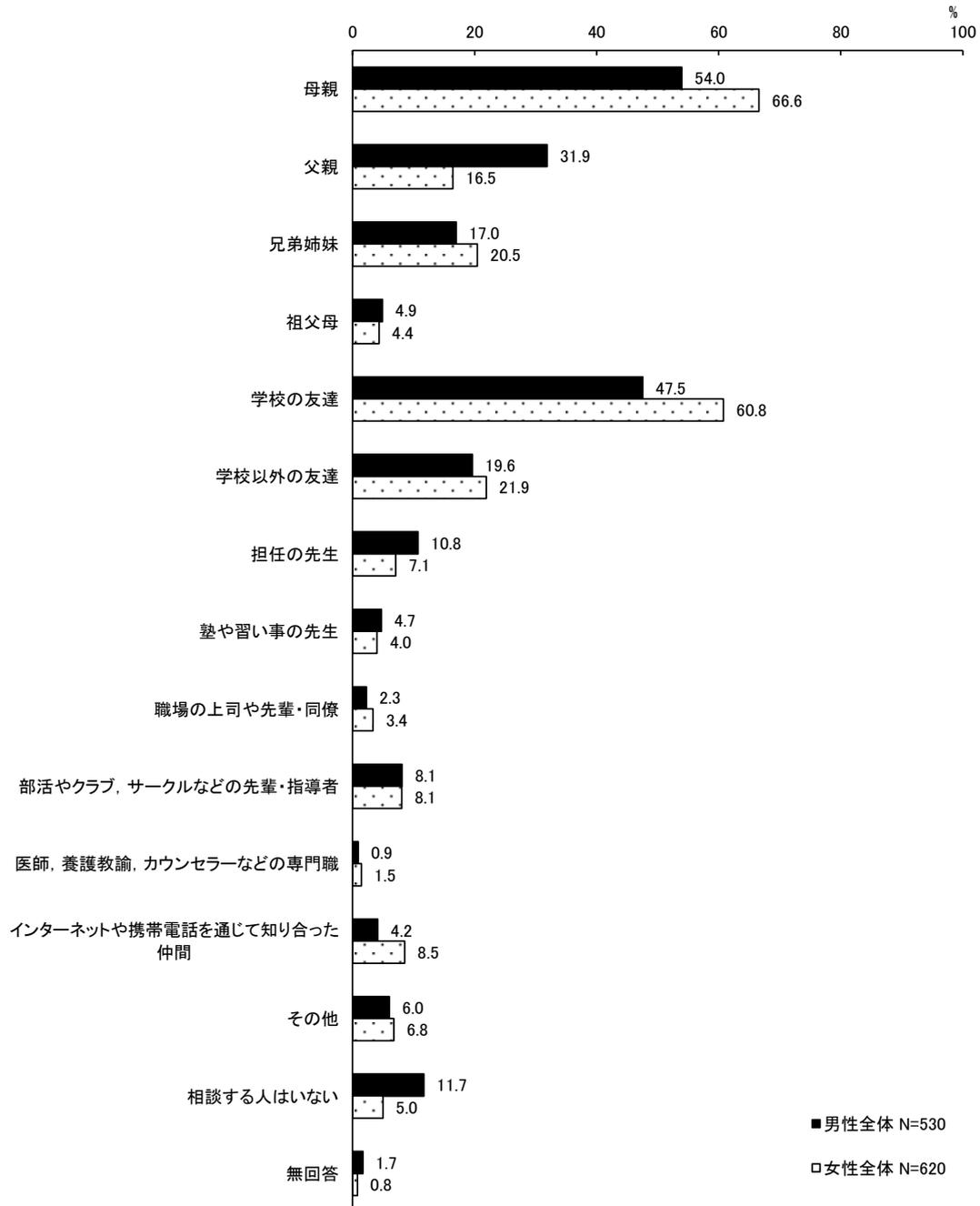
男女別では、男性と比較して女性の方が、「学校生活のこと」、「友達のこと」、「自分の性格のこと」、「自分の容姿や体格のこと」の割合が高くなっています。



問24 悩んでいるときや困っているときは誰に相談しますか。主な人を5つまで選んでください。

男性では、「母親」、「学校の友達」、「父親」の順に高くなっています。

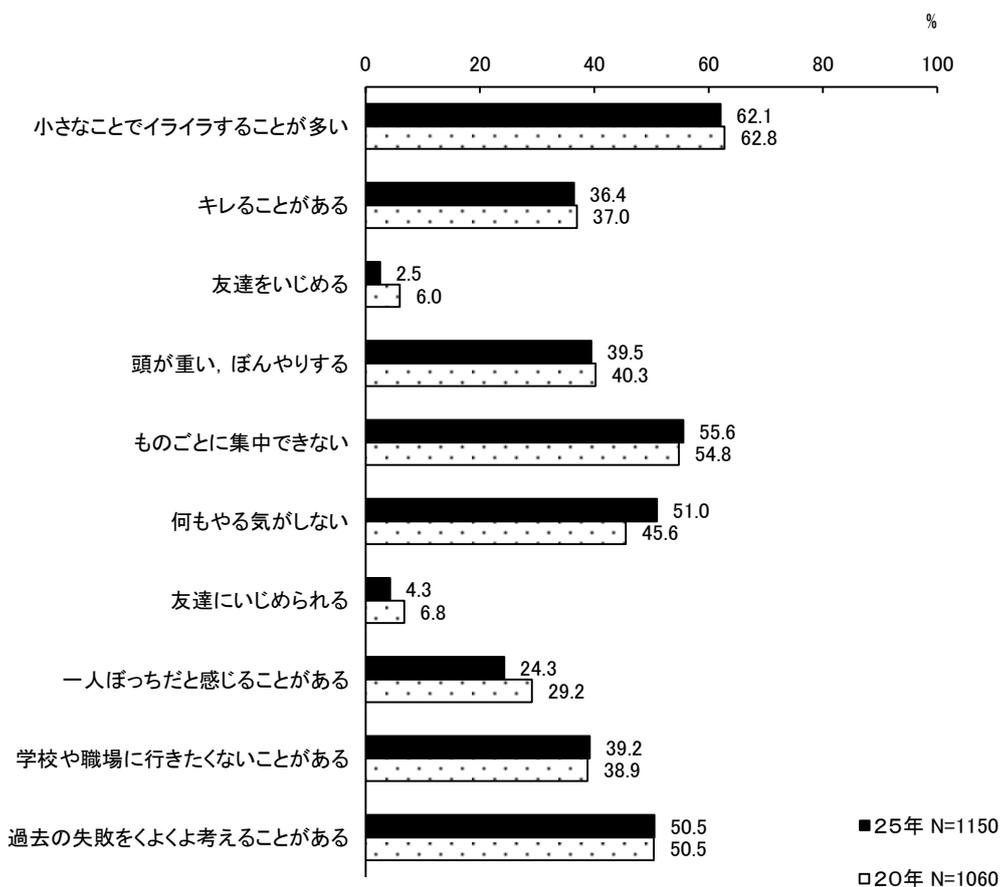
女性では、「母親」、「学校の友達」、「学校以外の友達」の順に高くなっています。



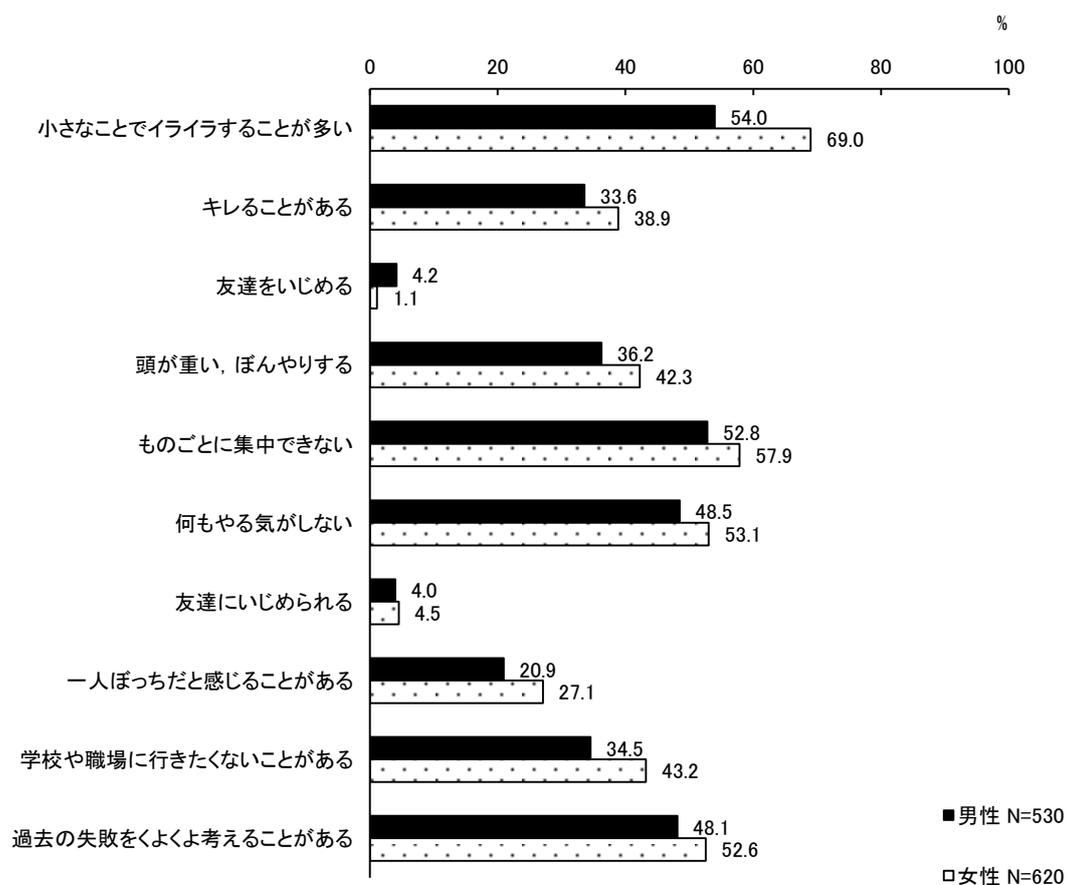
問25 あなたはふだん以下のようなことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。（よくある・時々ある・あまりない・ほとんどない）

- ①小さなことでイライラする
- ②キレることがある
- ③友達をいじめる
- ④頭が重い、ぼんやりする
- ⑤ものごとに集中できない
- ⑥何もやる気がしない
- ⑦友達にいじめられる
- ⑧一人ぼっちだと感じることもある
- ⑨学校や職場に行きたくないことがある
- ⑩過去の失敗をくよくよ考えることがある

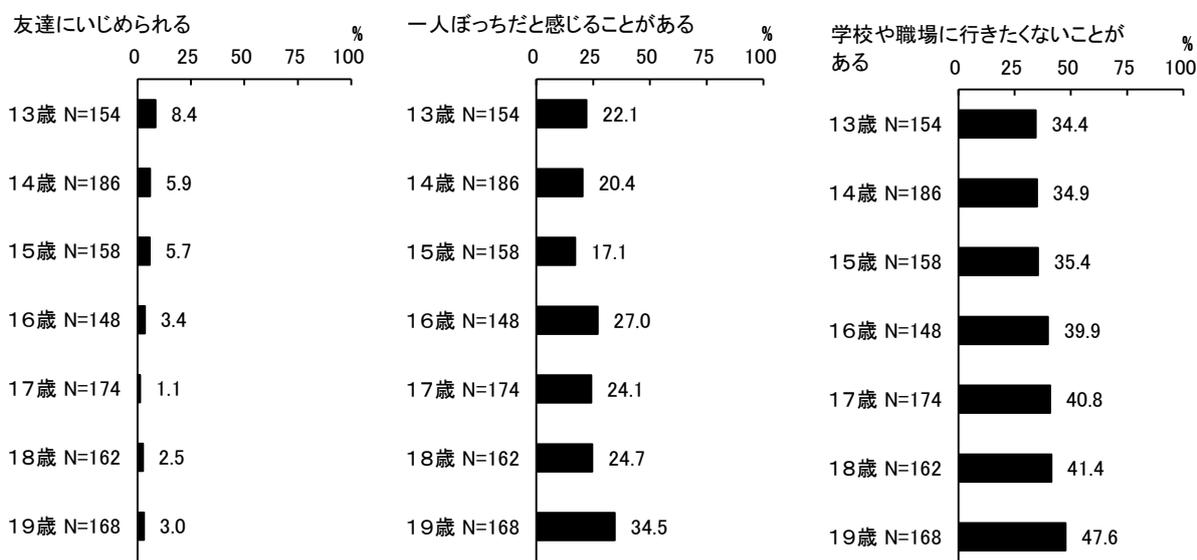
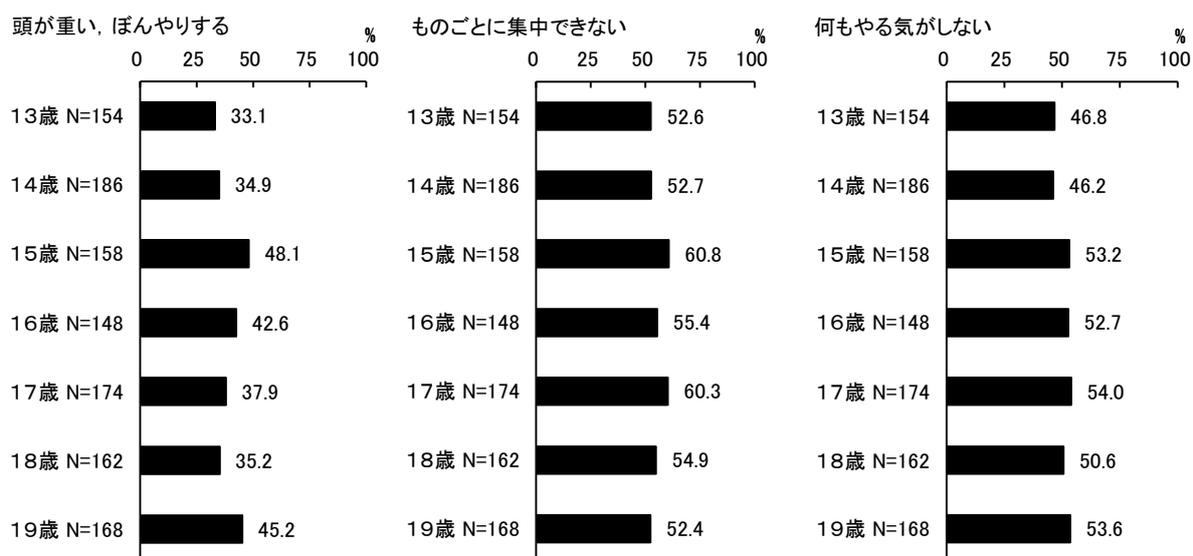
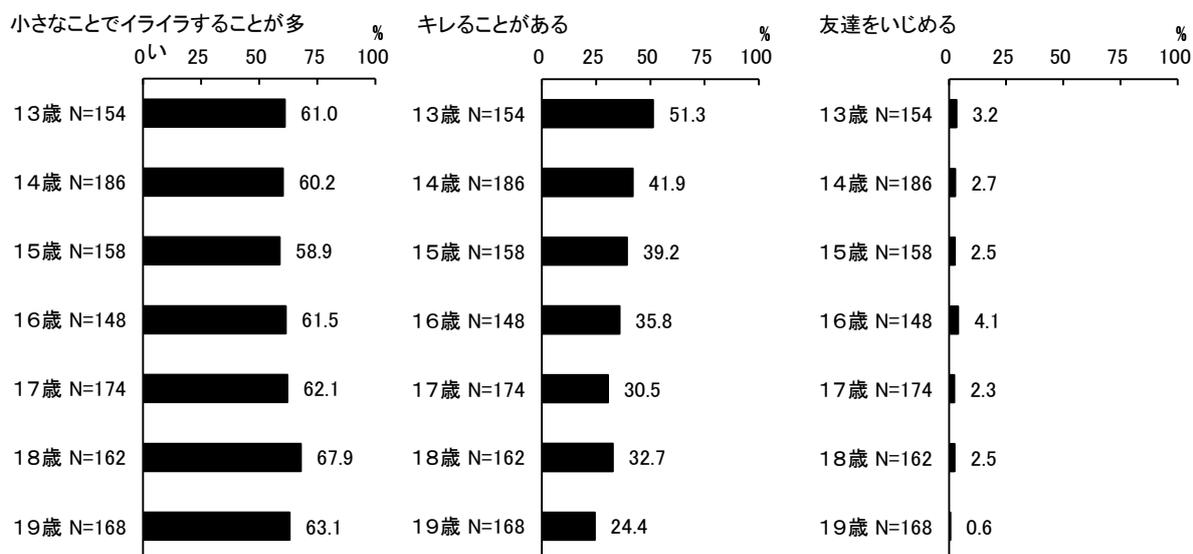
平成20年調査と比較して、「よくある」、「時々ある」の割合は、「友達をいじめる」が6.0%から2.5%、「友達にいじめられる」が6.8%から4.3%、「一人ぼっちだと感じることもある」が29.2%から24.3%に減少し、「何もやる気がしない」が45.6%から51.0%に増加しています。

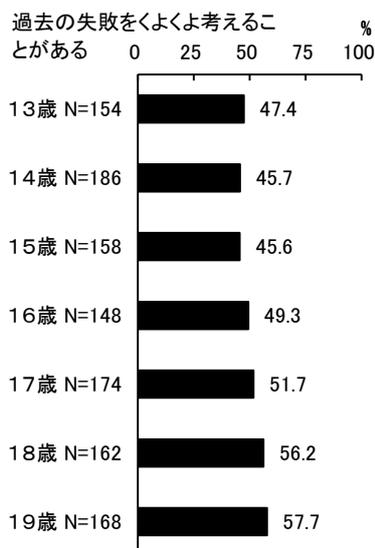


男女別では、「よくある」、「時々ある」の割合は、「友達をいじめる」を除く全ての項目で、女性の方が、割合が高くなっています。



年齢別では、「よくある」、「時々ある」の割合は、「キレることがある」、「友達にいじめられる」では、年齢があがるにつれて、減少する傾向にあり、「一人ぼっちだと感じることもある」、「学校や職場に行きたくないことがある」、「過去の失敗をくよくよ考えることがある」では、増加する傾向にあります。



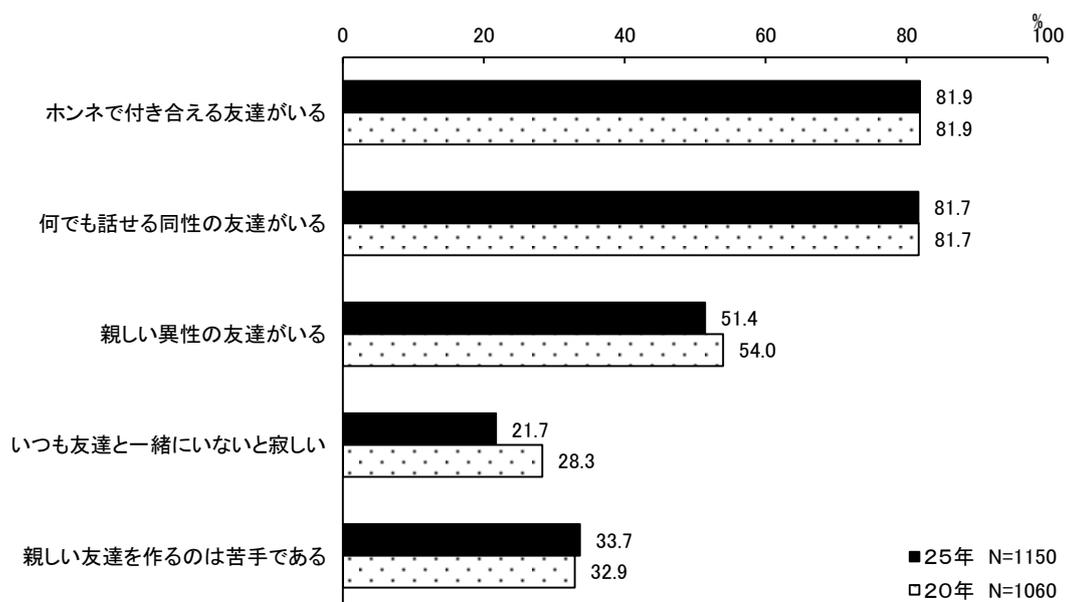


問26 友達との付き合いの状況はどうか。あてはまる番号に○をつけてください。

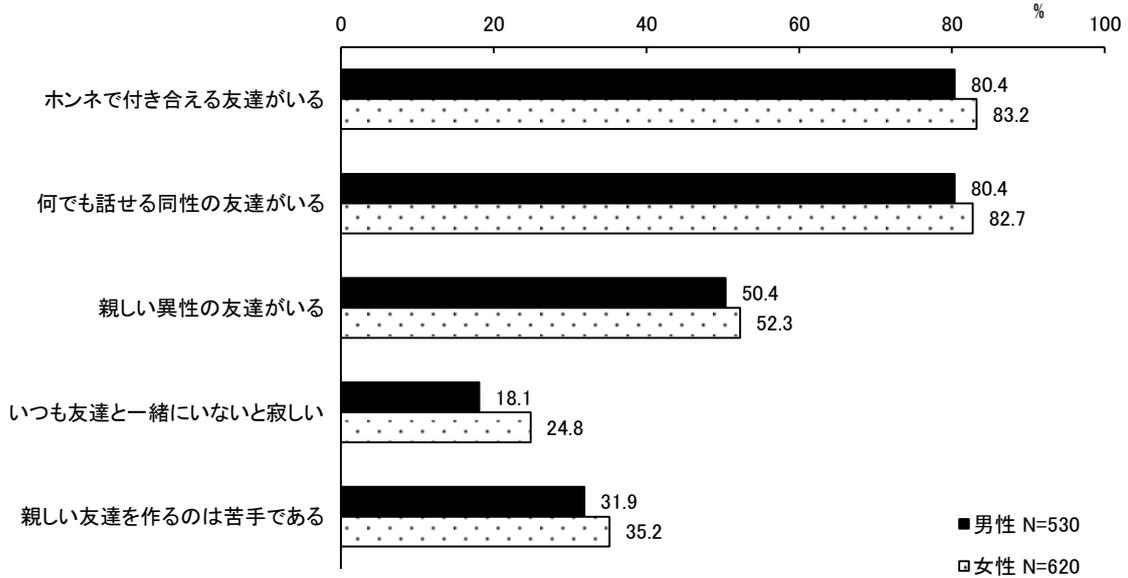
(はい、いいえ)

- ①ホンネで付き合いえる友達がいる
- ②何でも話せる同性の友達がいる
- ③親しい異性の友達がいる
- ④いつも友達と一緒にいないと寂しい
- ⑤親しい友達を作るのは苦手である

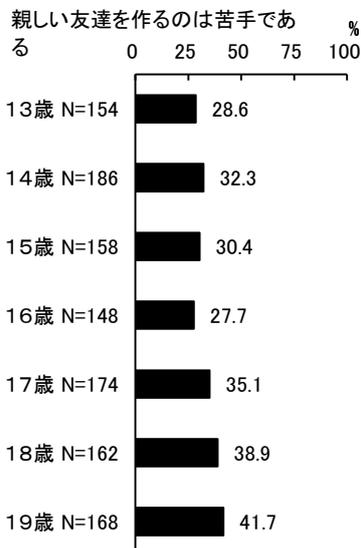
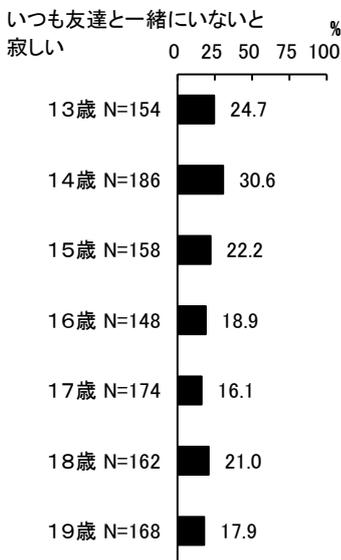
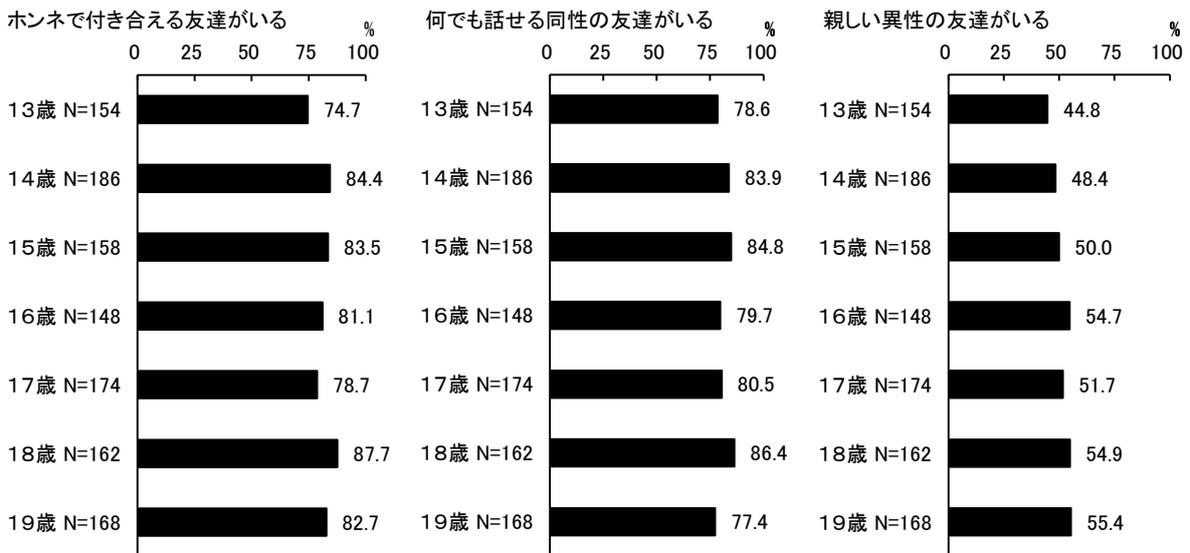
「親しい異性の友達がいる」に「はい」と回答した割合は、平成20年調査と比較して、54.0%から51.4%に減少し、また、「いつも友達と一緒にいないと寂しい」に「はい」と回答した割合も28.3%から21.7%に減少しています。



男女別では、全ての項目で、女性の方が、割合が高くなっています。



年齢別では、「親しい異性の友達がいる」、「親しい友達をつくるのは苦手である」が年齢があがるにつれて増加し、「いつも友達と一緒にいないと寂しい」が減少する傾向があります。

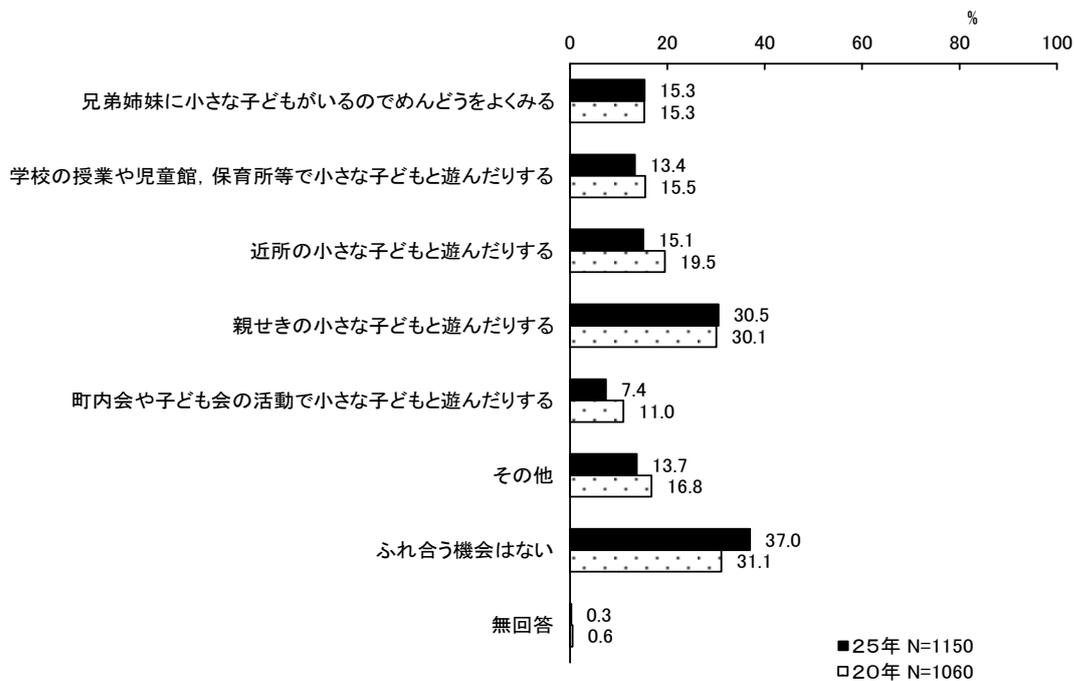


## 6 小さな子どもとふれ合う機会について

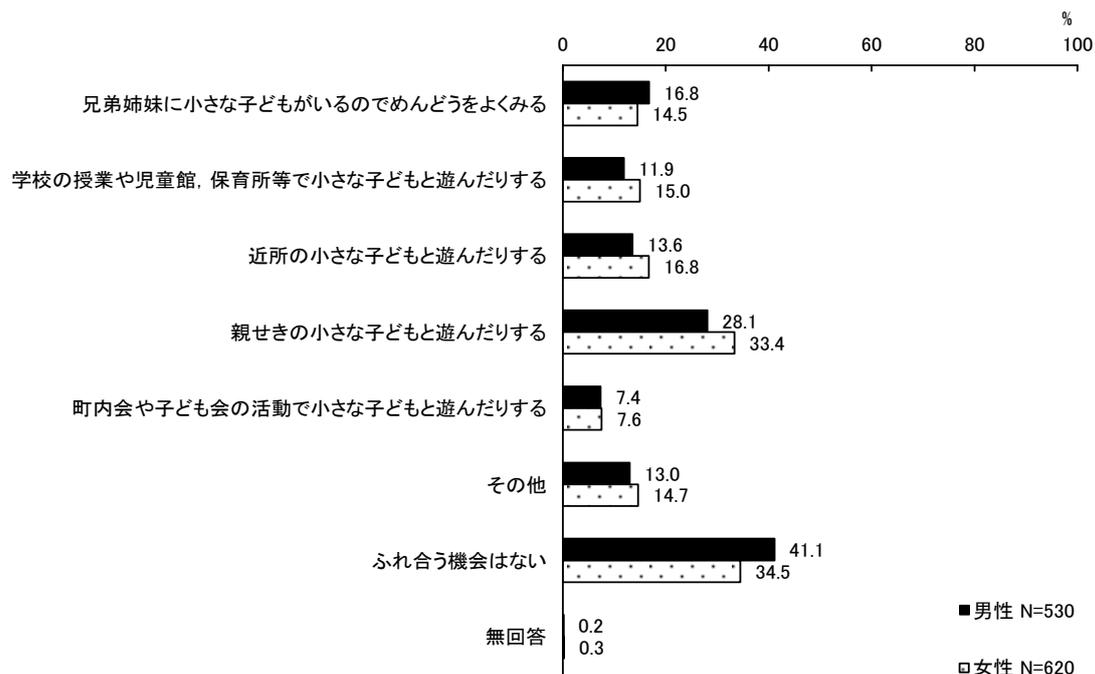
問27 あなたは小さな子どもとふれ合う機会がありますか。または過去にありましたか。  
主なものを3つまで選んでください。

男女共に、小さな子どもとふれ合う機会でも割合が高いものは、「親せきの小さな子どもと遊んだりする」となっています。

「ふれ合う機会はない」の割合は、平成20年調査と比較すると、31.1%から37.0%と増加しています。

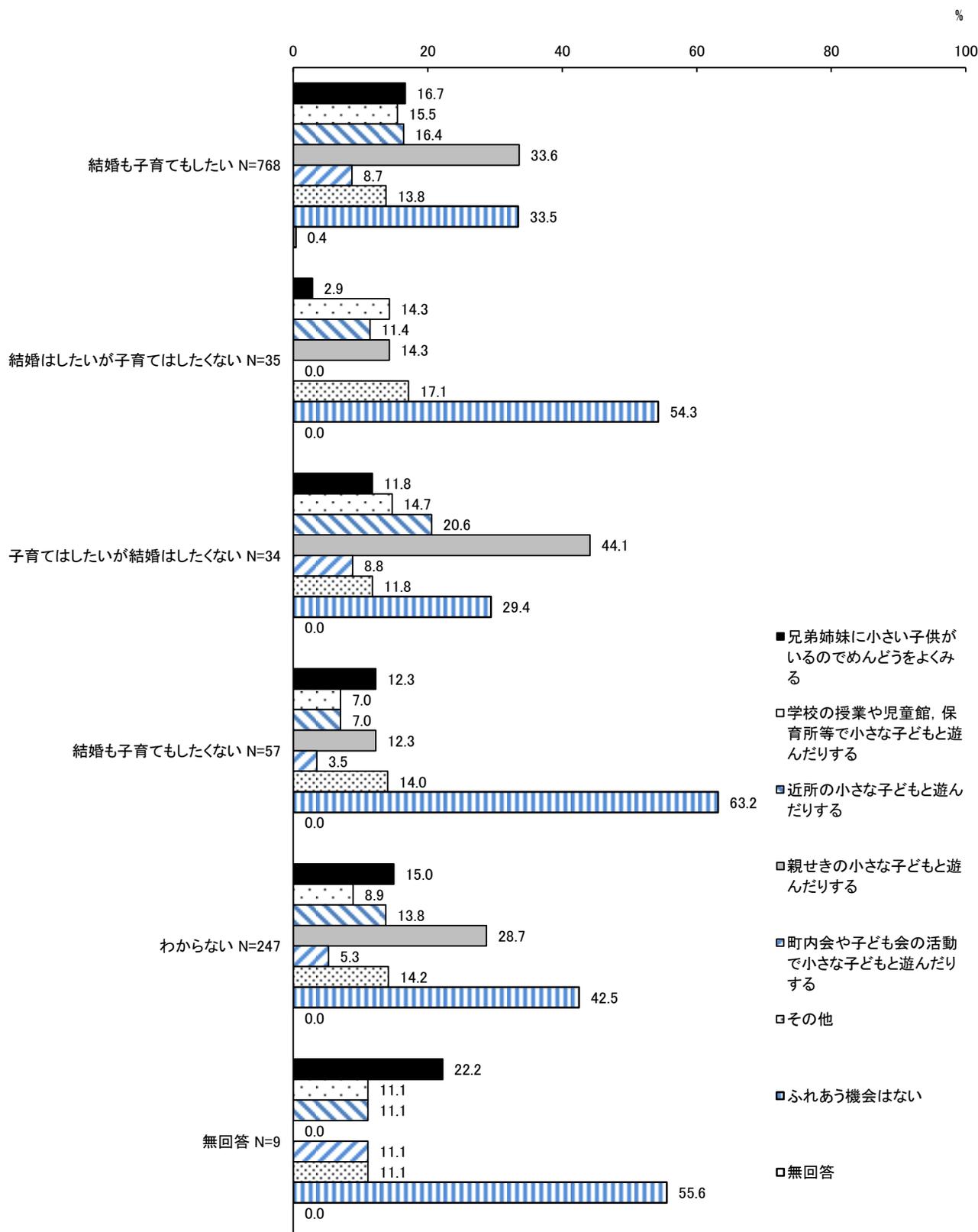


男女別では、「ふれ合う機会はない」の割合が、男性の41.1%、女性の34.5%で、女性の方が、小さな子どもとふれ合う機会が多い傾向にあります。



## <小さな子どもとふれ合う機会（問27）と将来の結婚・子育て（問45）の関係>

「結婚はしたいが子育てはしたくない」、「結婚も子育てもしたくない」と回答した者は、他の者と比較して、小さな子どもと「ふれ合う機会はない」の割合が高くなっています。



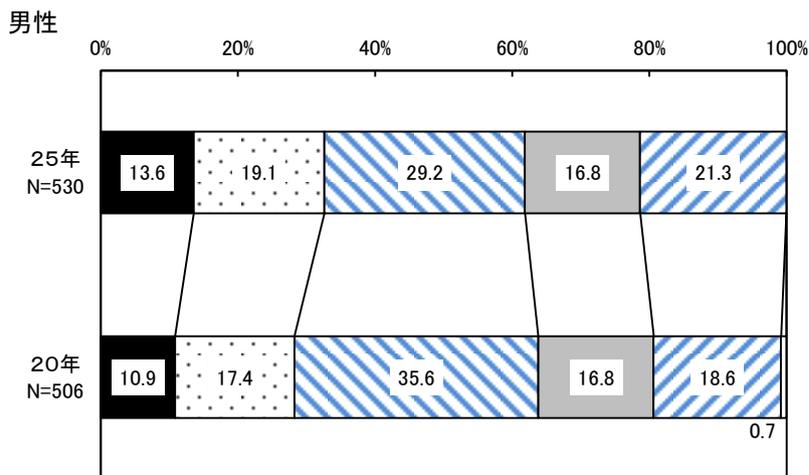
問28 あなたは育児体験(ミルクを飲ませる, おむつをかえる, 一緒に遊ぶなど)をした  
 と思いますか。

男性では, 育児体験を「したい」, 「どちらかといえばしたい」の割合は 32.7%であり, 平成 20 年調査の 28.3%と比較して, 増加しています。

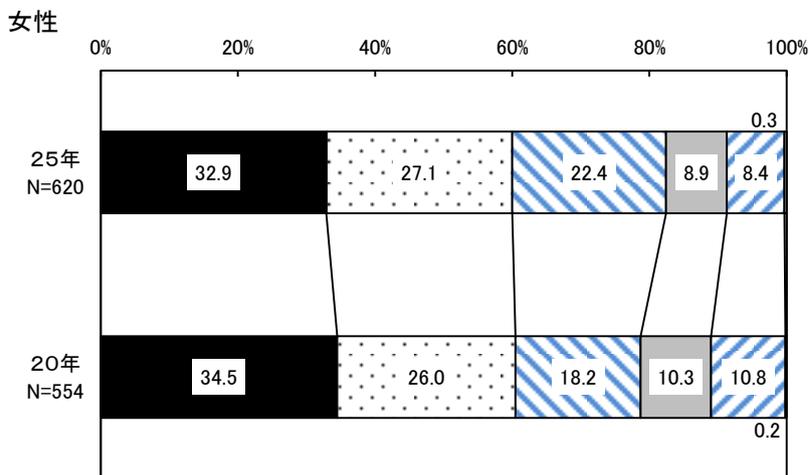
女性では, 育児体験を「したい」, 「どちらかといえばしたい」の割合は 60.0%であり, 平成 20 年調査の 60.5%と比較して, 微減しています。

男女別では, 女性の方が, 「したい」, 「どちらかといえばしたい」の割合が高くなっています。

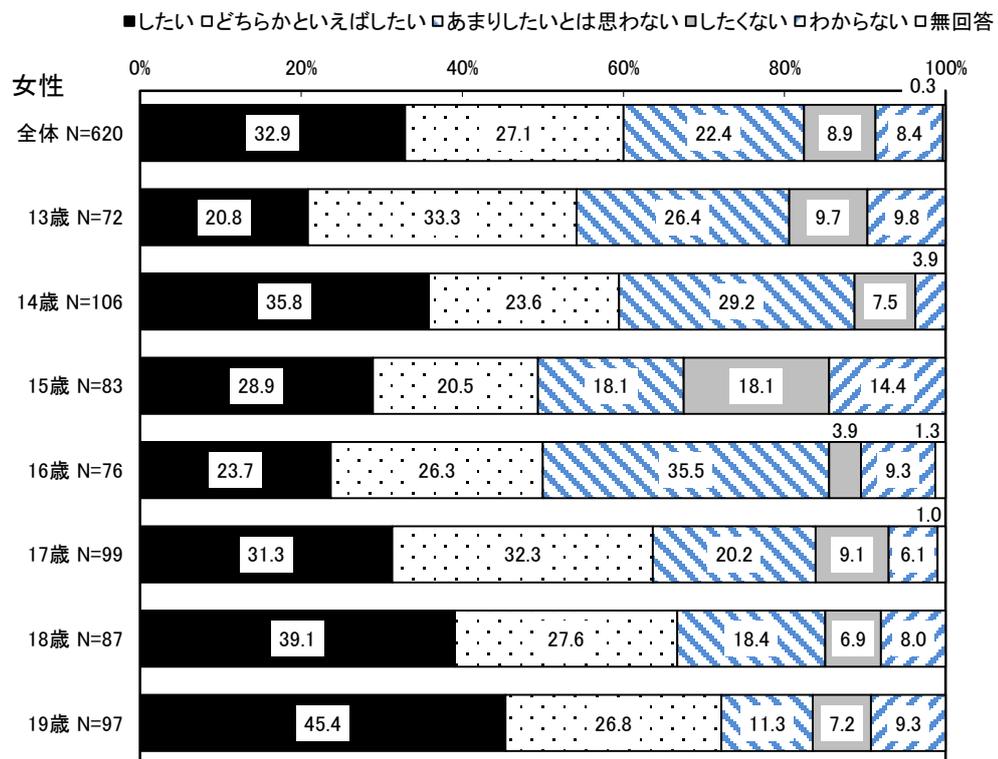
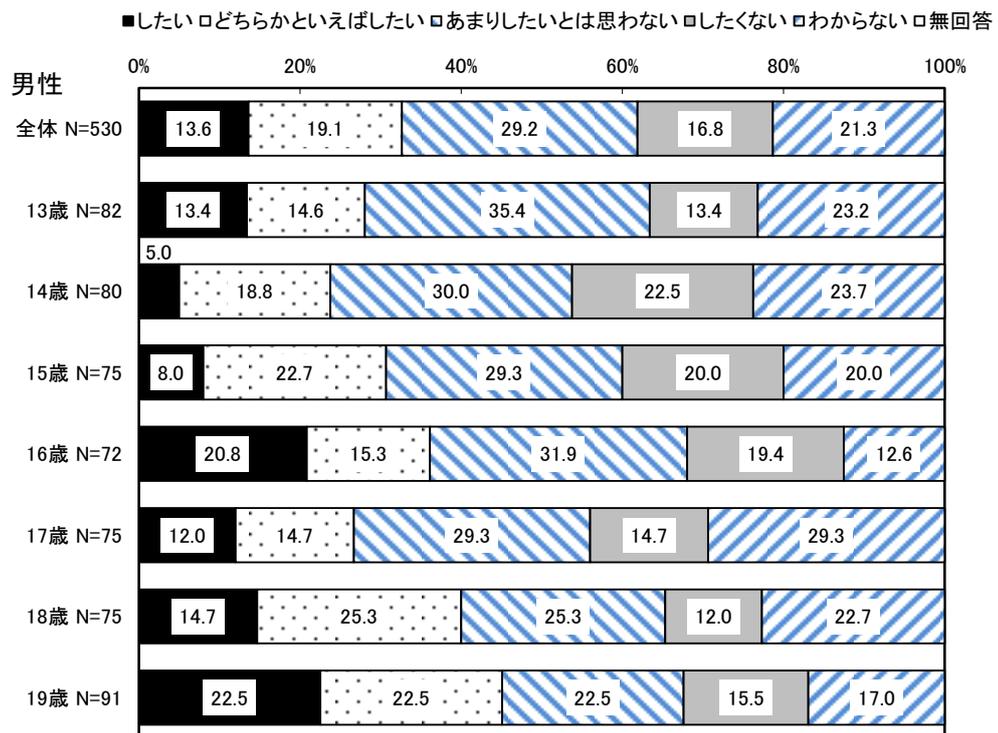
■したい □どちらかといえばしたい ▨あまりしたいとは思わない □したくない □わからない □無回答



■したい □どちらかといえばしたい ▨あまりしたいとは思わない □したくない □わからない □無回答

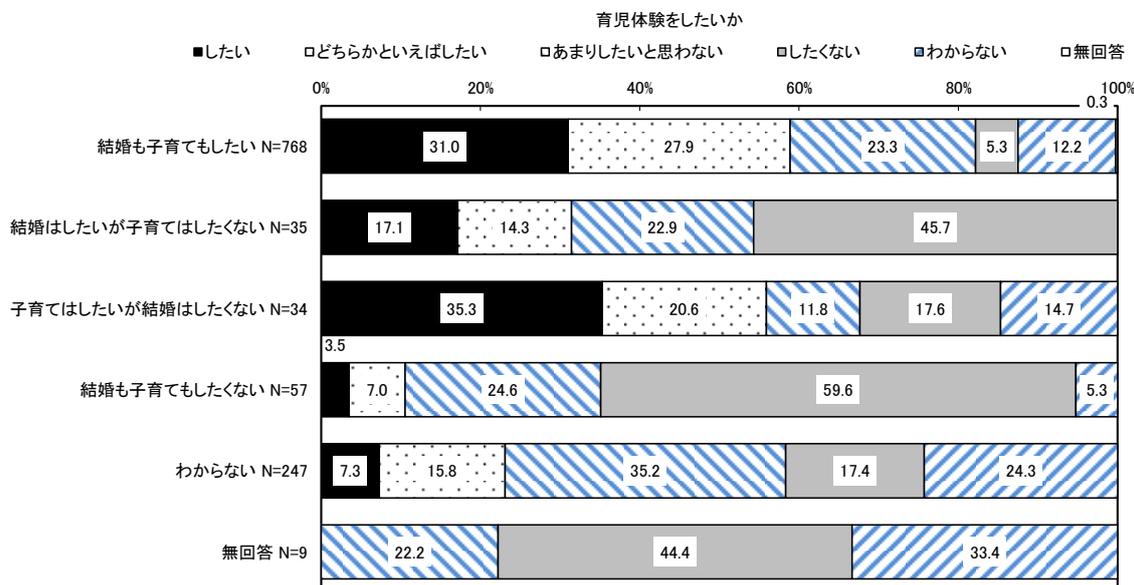


年齢別では、男女共に「したい」、「どちらかといえばしたい」の割合は、19歳で最も高くなっています。



## <育児体験の希望（問28）と将来の結婚・子育て（問45）の関係>

「結婚はしたいが子育てはしたくない」、「結婚も子育てもしたくない」と回答した者は、他の者と比較すると、育児体験を「したくない」の割合が高くなっています。

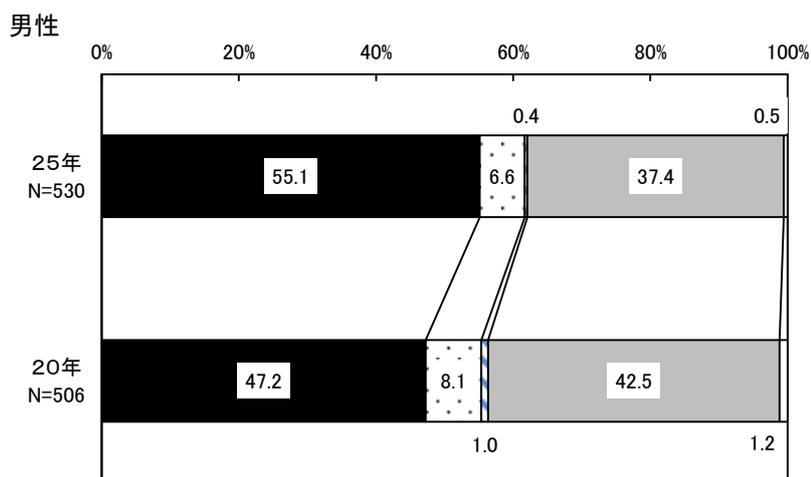


## 7 喫煙について

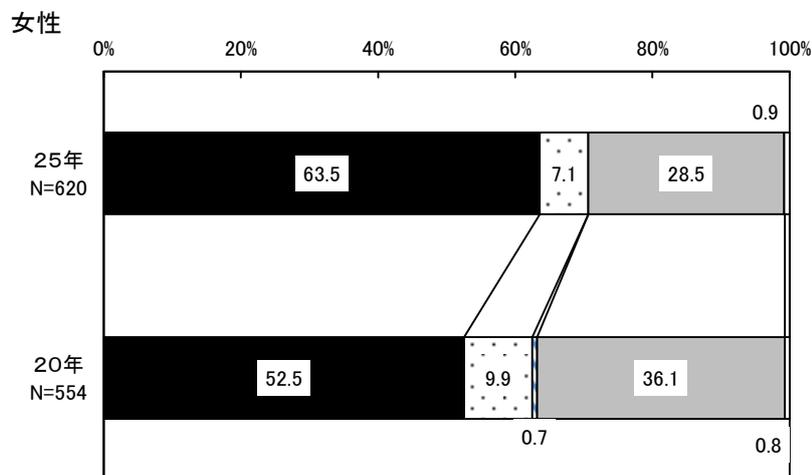
問29 あなたは未成年者がたばこを吸うことについてどう思いますか。

「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合は、男性の 55.1%，女性の 63.5%であり、平成 20 年調査の男性 47.2%，女性 52.5%と比較して、増加しています。

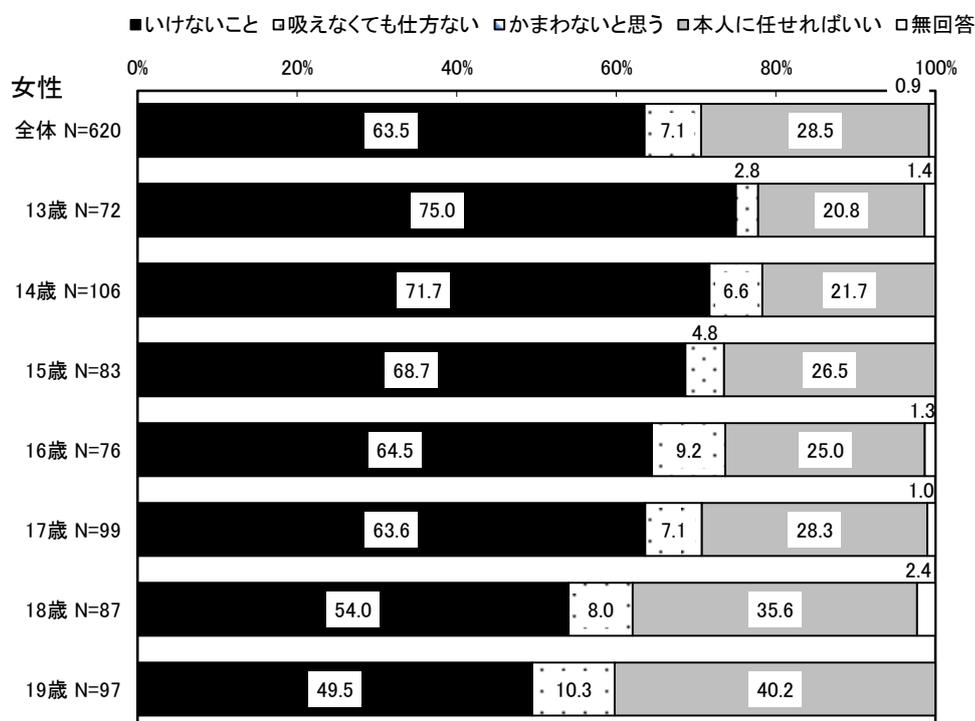
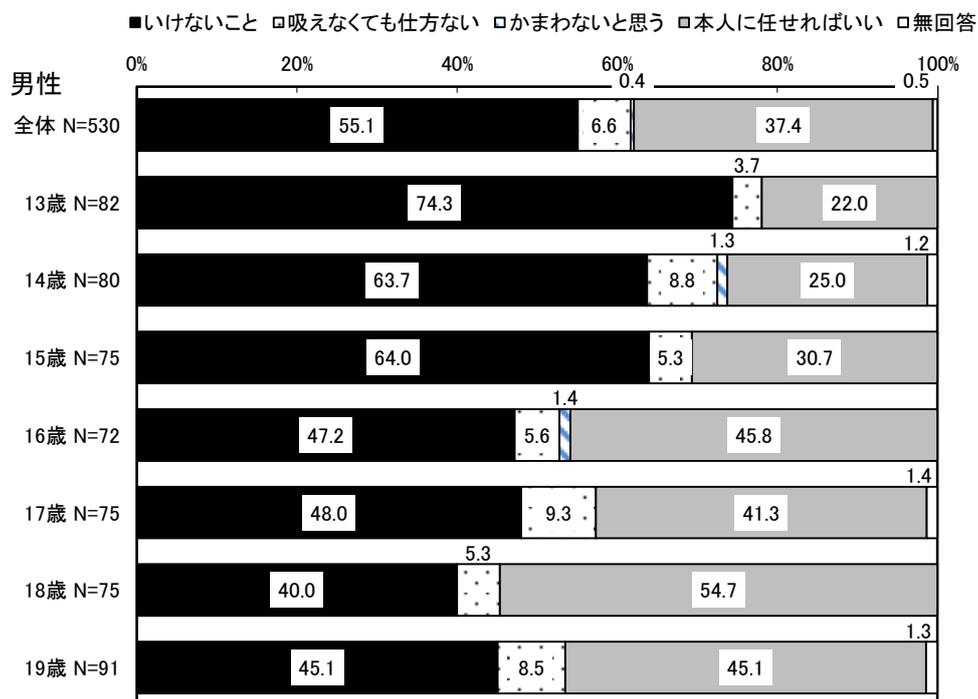
■いけないこと □吸えなくても仕方ない □かまわないと思う □本人に任せればいい □無回答



■いけないこと □吸えなくても仕方ない □かまわないと思う □本人に任せればいい □無回答

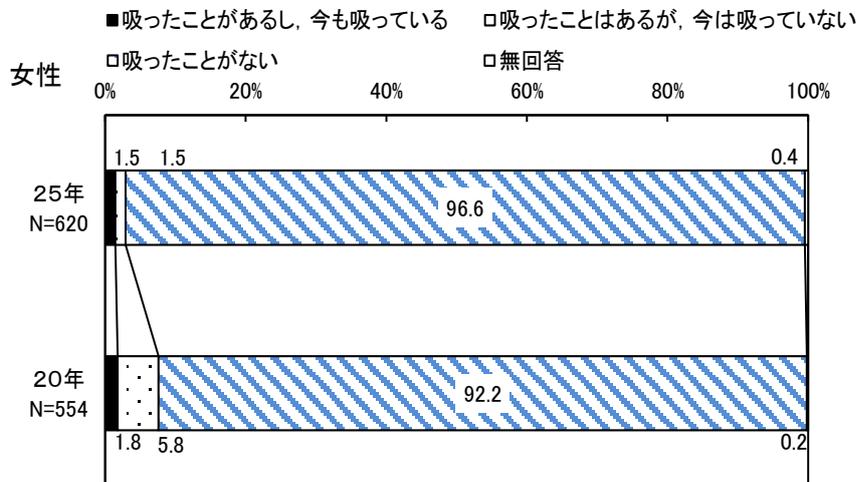
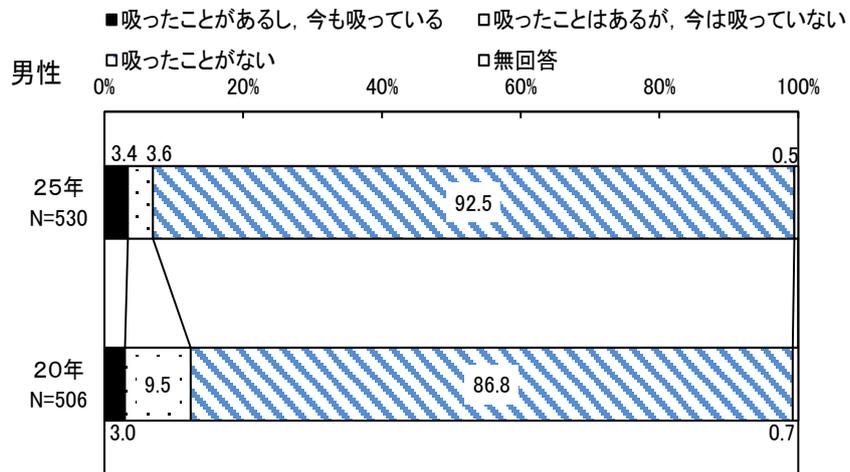


年齢別では、「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合は、年齢があがるにつれて減少し、「本人の考えに任せればいいと思う」の割合は、年齢があがるにつれて増加する傾向にあります。

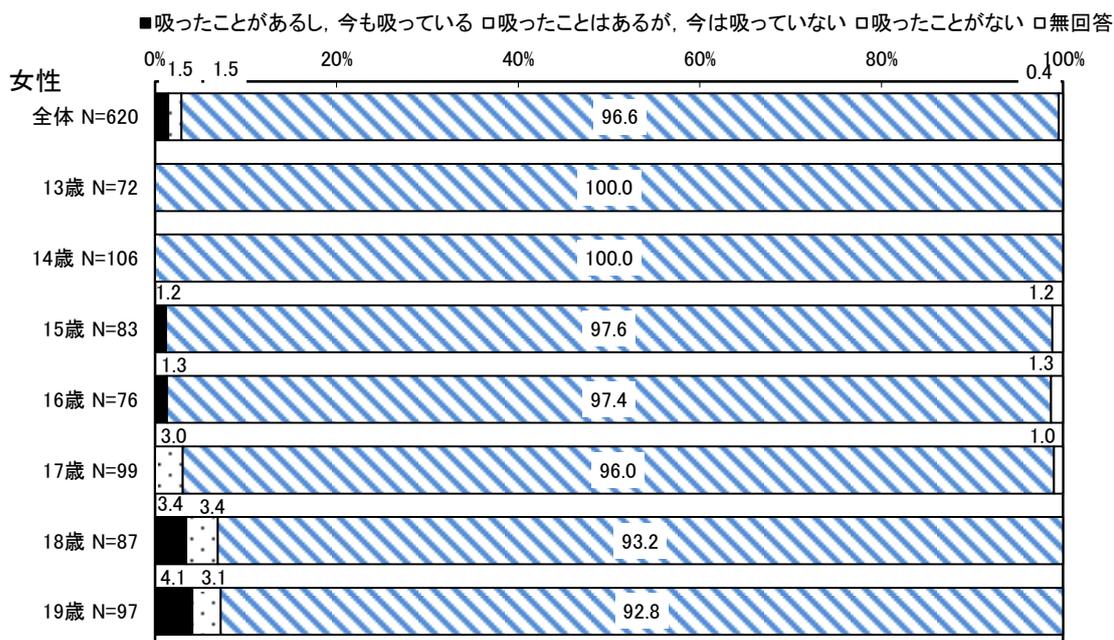
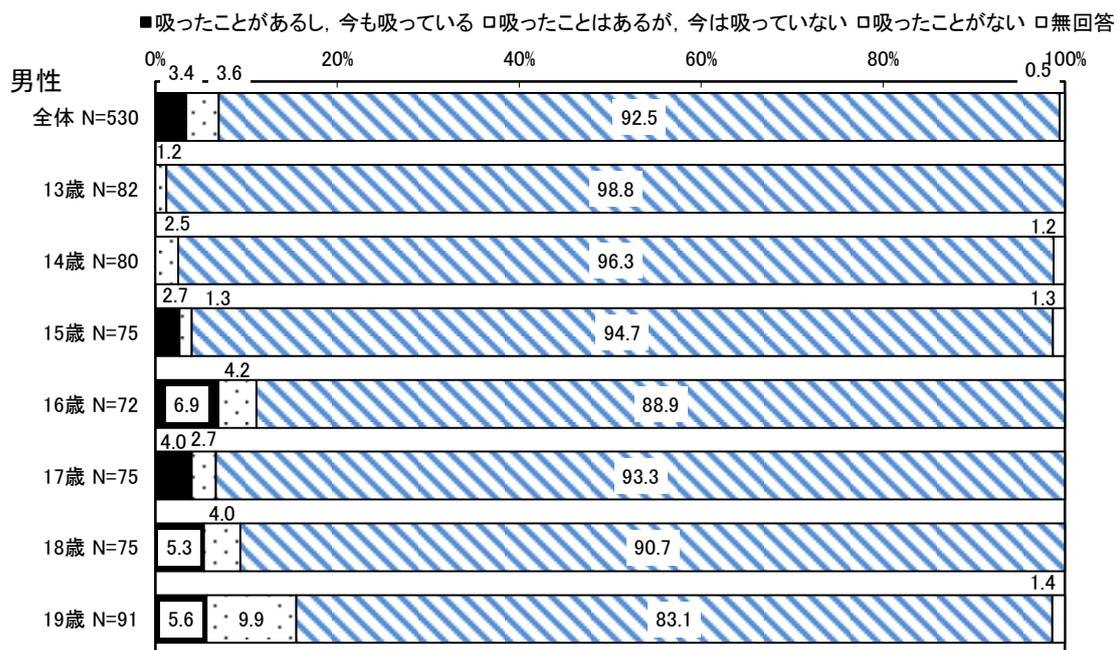


問30 あなたはたばこを吸ったことがありますか。

全体では、喫煙経験（「吸ったことがあるし、今も吸っている」、「吸ったことはあるが、今は吸っていない」の回答者）がある男性は7.0%で、女性は3.0%であり、平成20年調査の男性12.5%、女性7.6%と比較し減少しています。



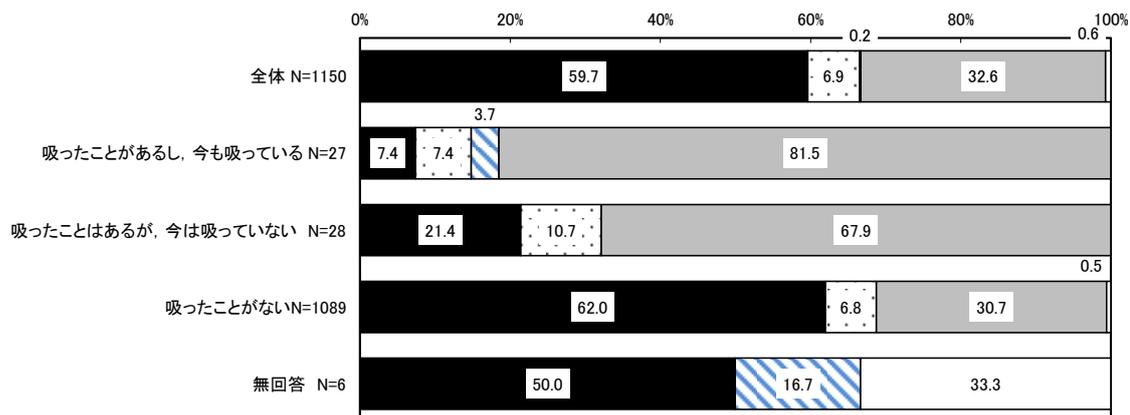
年齢別では、男女共に、年齢があがるにつれて、喫煙経験がある割合が増加する傾向にあります。



## <未成年者の喫煙に対する意識（問29）と喫煙経験（問30）の関係>

喫煙経験がない者（「吸ったことがない」の回答者）では、未成年者が喫煙することに対して、「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合が高くなっています。  
 喫煙経験がある者では、「本人の考えに任せればいいと思う」の割合が高くなっています。

- 法律で禁止されているから、いけないことだと思う
- 20歳になるまで吸えなくても、仕方がないと思う
- 大人が吸っているから、かまわないと思う
- 本人の考えに任せればいいと思う
- 無回答



補問30-2 「1 吸ったことがあるし、今も吸っている」、「2 吸ったことはあるが、今は吸っていない」と答えた方におたずねします。初めてたばこを吸った年齢は何歳ですか。

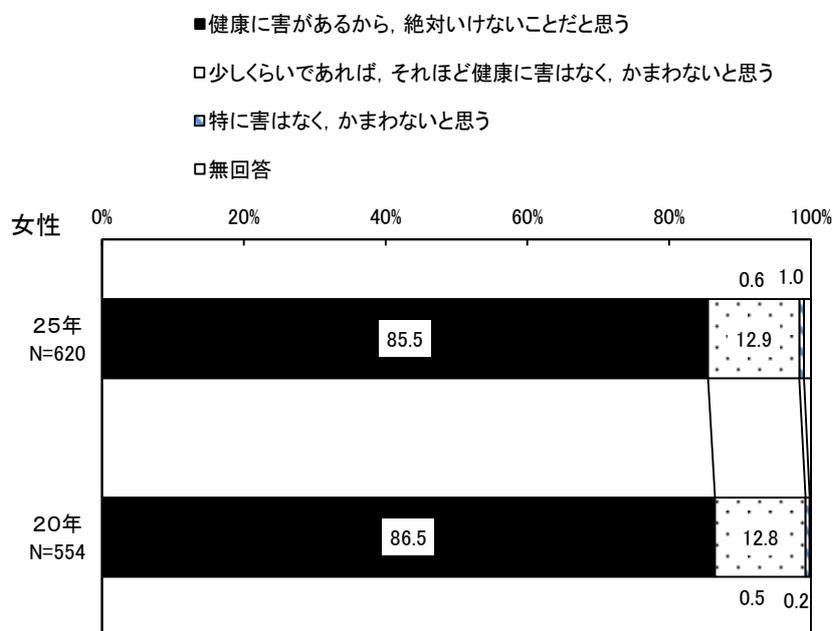
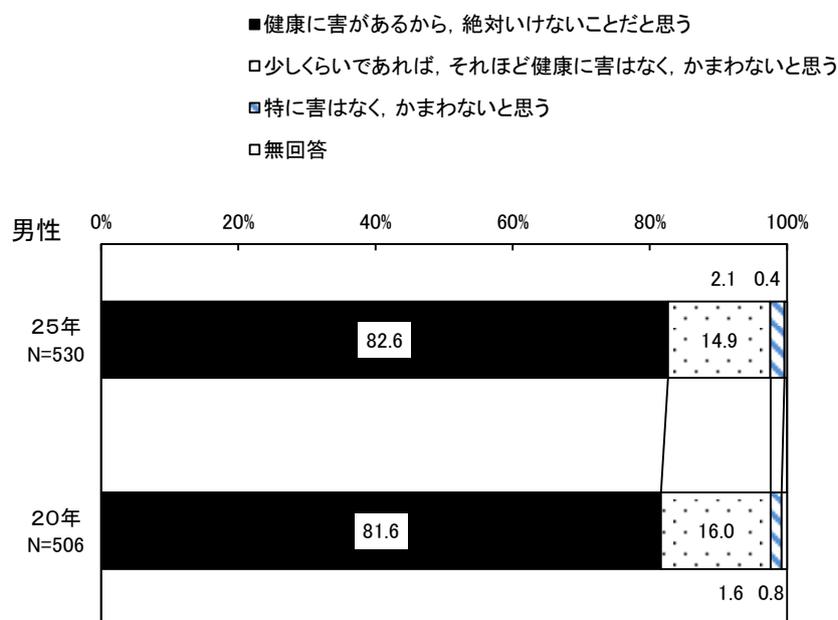
喫煙開始年齢が最も低い年齢は、男性で6歳、女性で4歳となっています。

性別	初めてたばこを吸った年齢																	合計
	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	無回答	
男性	年齢 13歳	人			1													1
	%			100.0%														100.0%
	14歳	人		1						1								2
	%		50.0%							50.0%								100.0%
	15歳	人							1	1	1							3
	%								33.3%	33.3%	33.3%							100.0%
	16歳	人							1	1	3	2	1					8
	%								12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%					100.0%
17歳	人						1	1	1		2						5	
%							20.0%	20.0%	20.0%		40.0%						100.0%	
18歳	人						1			2	1	1	1				1	7
%							14.3%			28.6%	14.3%	14.3%	14.3%				14.3%	100.0%
19歳	人									1	4	1	1	3	1			11
%										9.1%	36.4%	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%			100.0%
合計	人	0	0	1	1	0	2	1	3	6	5	9	3	1	3	1	1	37
%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%	5.4%	2.7%	8.1%	16.2%	13.5%	24.3%	8.1%	2.7%	8.1%	2.7%	2.7%	100.0%
女性	年齢 13歳	人																0
	%																	0.0%
	14歳	人																0
	%																	0.0%
	15歳	人								1								1
	%									100.0%								100.0%
	16歳	人								1								1
	%									100.0%								100.0%
17歳	人									1	1	1					3	
%										33.3%	33.3%	33.3%					100.0%	
18歳	人									1	2	1	2					6
%										16.7%	33.3%	16.7%	33.3%					100.0%
19歳	人	1			1						2	1	1	1				7
%	14.3%			14.3%							28.6%	14.3%	14.3%	14.3%				100.0%
合計	人	1	0	0	1	0	0	0	0	4	4	2	4	1	1	0	0	18
%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%

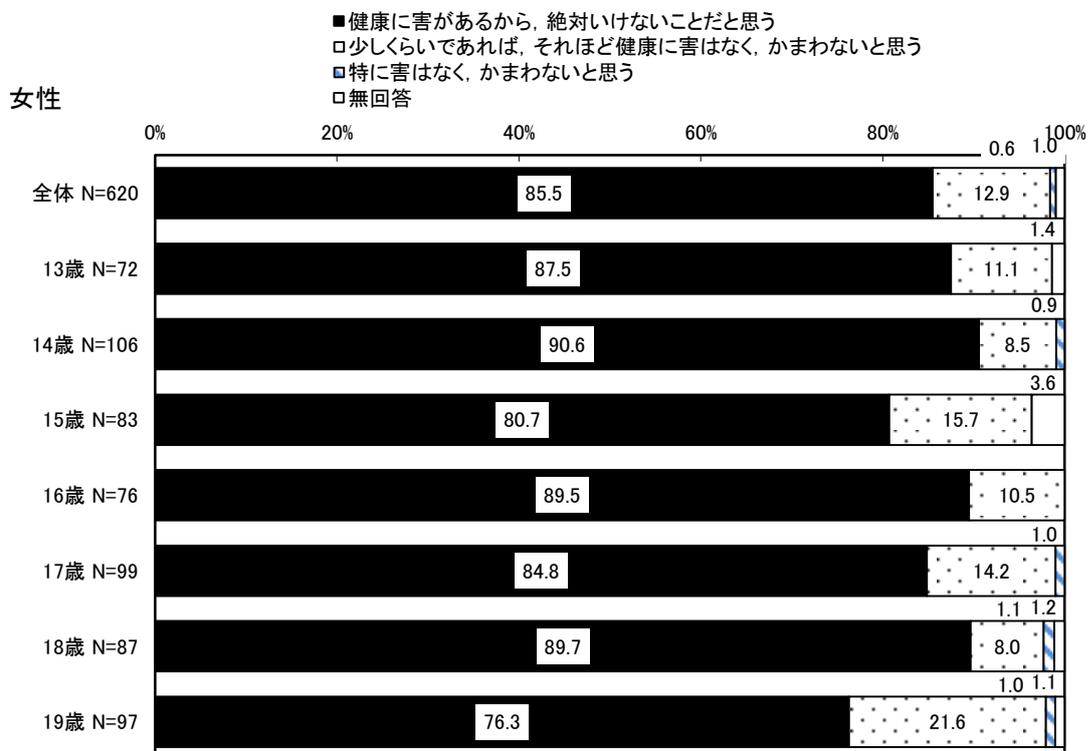
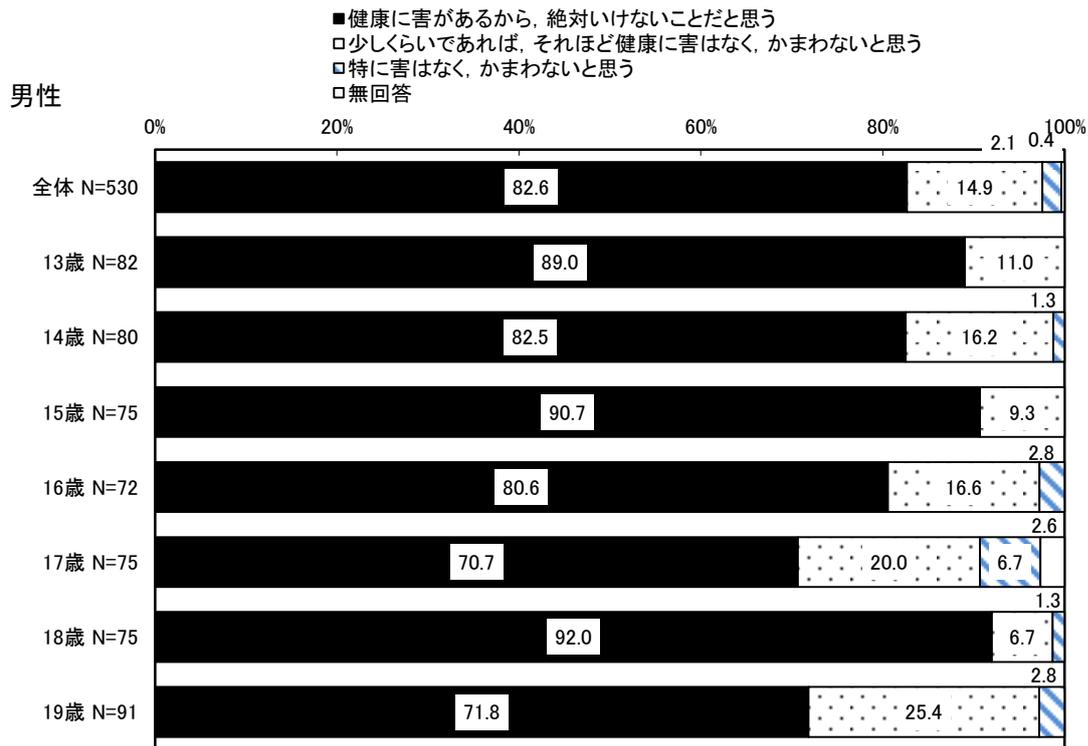
問31 あなたは、たばこが健康に及ぼす影響についてどう思いますか。

「健康に害があるから、絶対いけないことだと思う」の割合は、男性の82.6%、女性85.5%となっています。

一方で、「特に害はなく、構わないと思う」の割合は、男性の2.1%、女性の0.6%で、平成20年調査の男性1.6%、女性0.5%と比較して、微増しています。



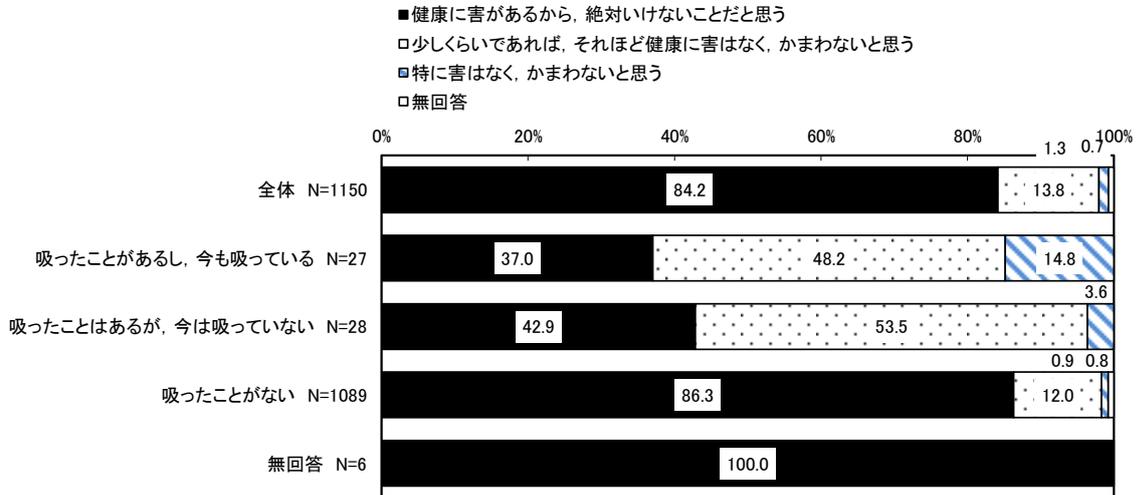
年齢別では、男女共に、「少しくらいであれば、それほど健康に害はなく、かまわないと思う」  
 「特に害はなく、かまわないと思う」の割合は、19歳で最も高く、男性で28.2%、女性で22.6%となっています。



### <喫煙経験（問30）と喫煙が健康に及ぼす影響（問31）の関係>

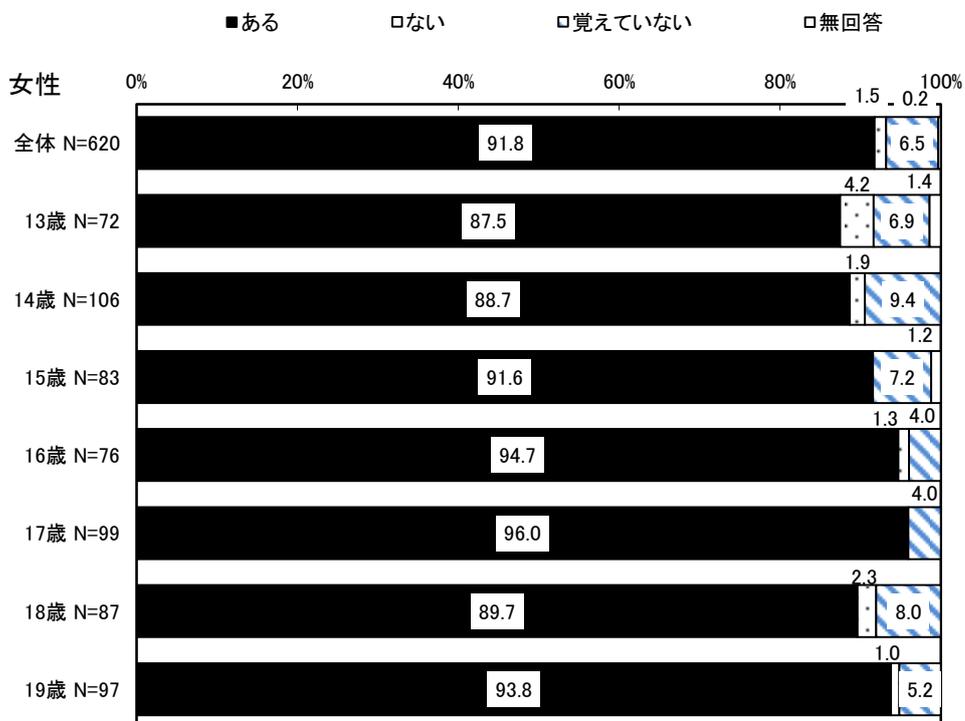
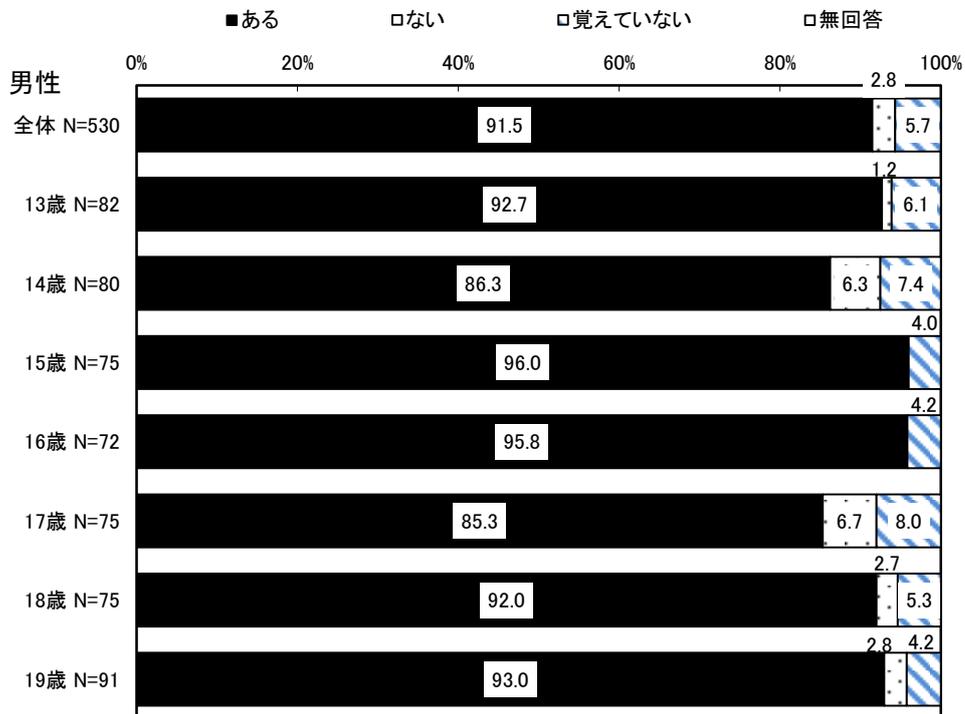
喫煙経験がない者は、「健康に害があるから、絶対にいけないことだと思う」の割合が高くなっています。

一方、喫煙経験がある者は、「特に害はなく、かまわないと思う」の割合が高くなっています。



問32 今までにたばこが健康に及ぼす影響について学校の授業などで学んだことはありますか。

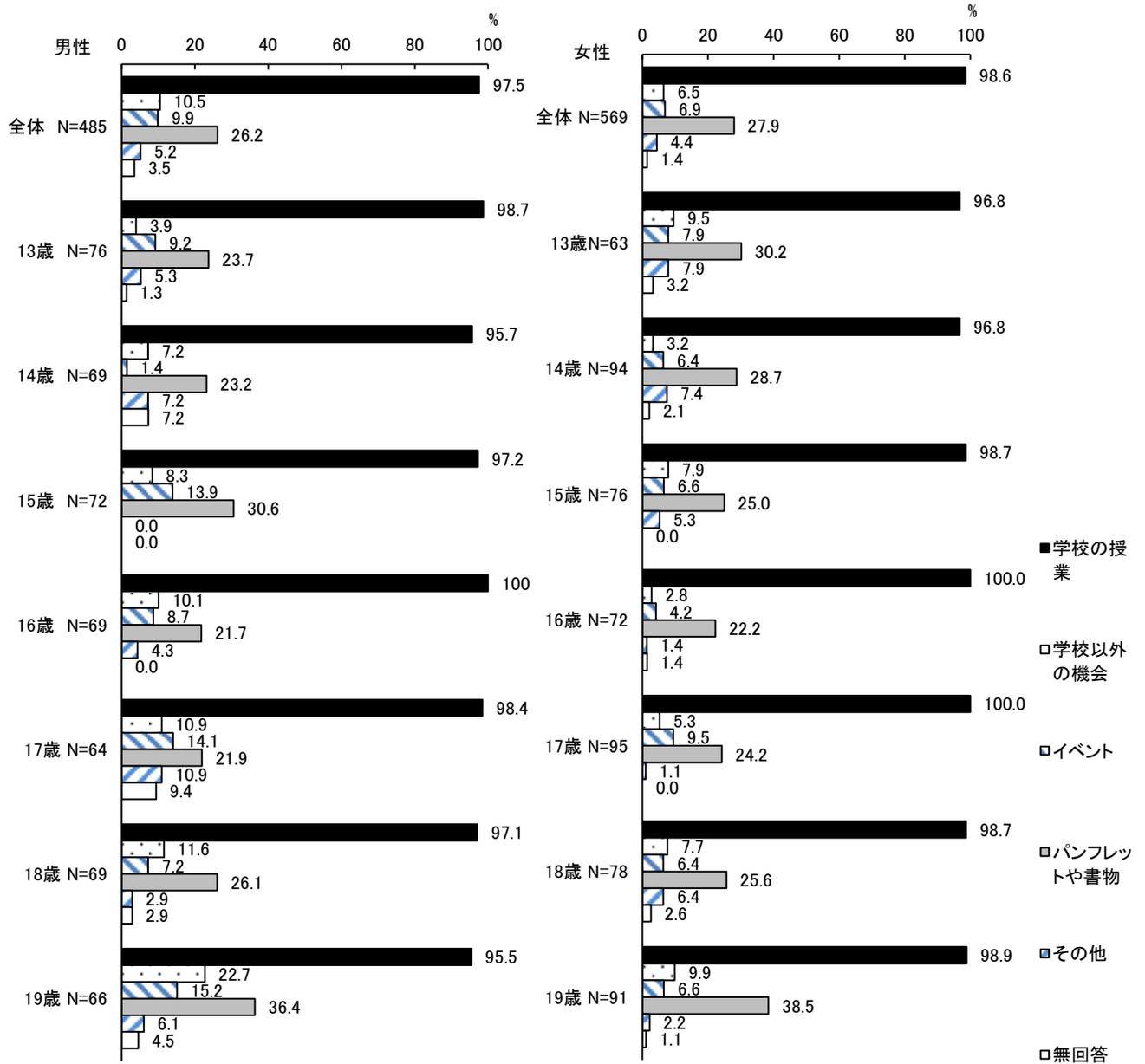
全体では、学んだことが「ある」の割合は、男性の91.5%、女性の91.8%となっています。



補問32-2 「1 ある」と答えた方にお聞きます。それはどんな機会でしたか。  
 あてはまるものをすべて選んでください。

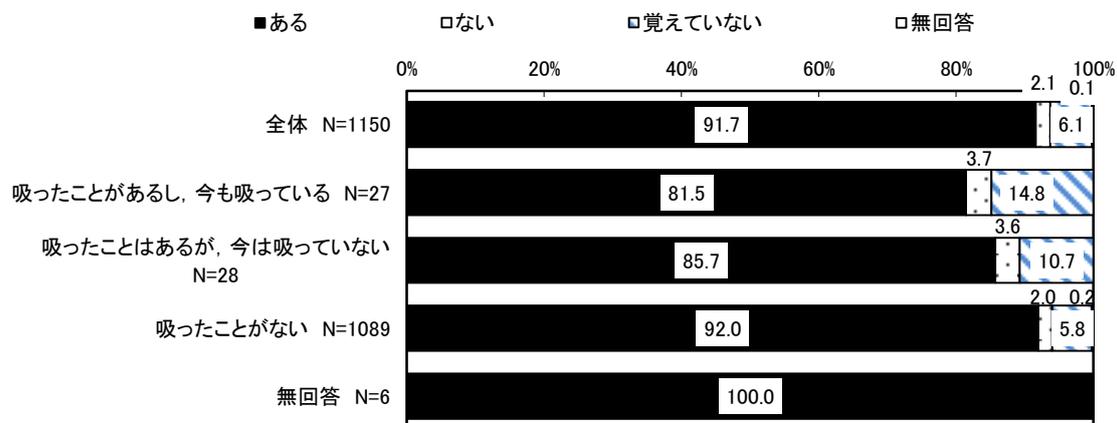
男女共に、「学校の授業」の割合が最も高くなっています。

男女別では、女性と比較して男性の方が、「学校以外の機会」や「イベント」の割合が高くなっています。



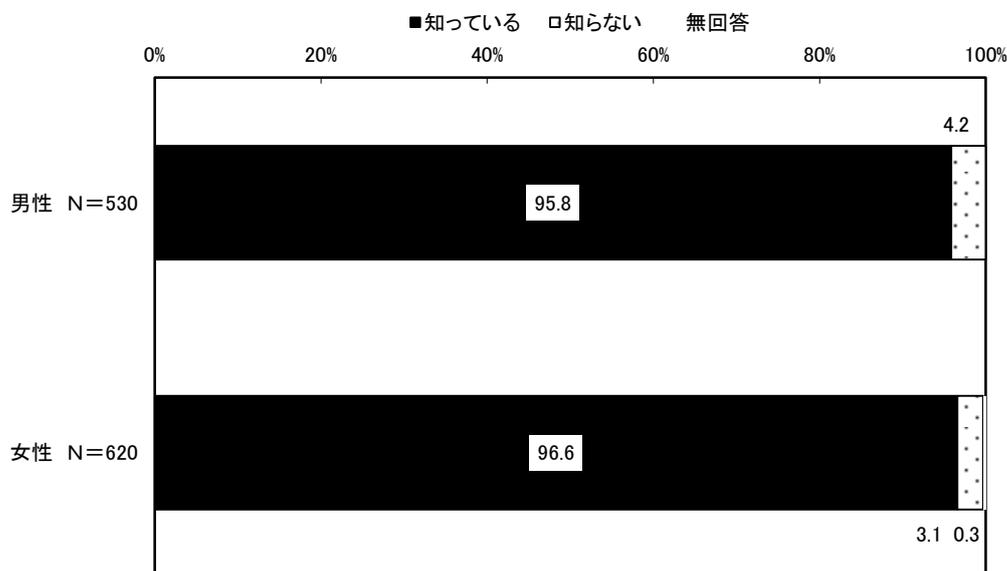
### <喫煙経験（問30）とたばこが健康に及ぼす影響についての学習経験（問32）の関係>

喫煙経験がない者は、喫煙経験がある者と比較すると、学習経験が「ある」の割合が高くなっています。



### 問33 受動喫煙(たばこの煙が周りの人に与える影響)が健康に及ぼす影響を知っていますか

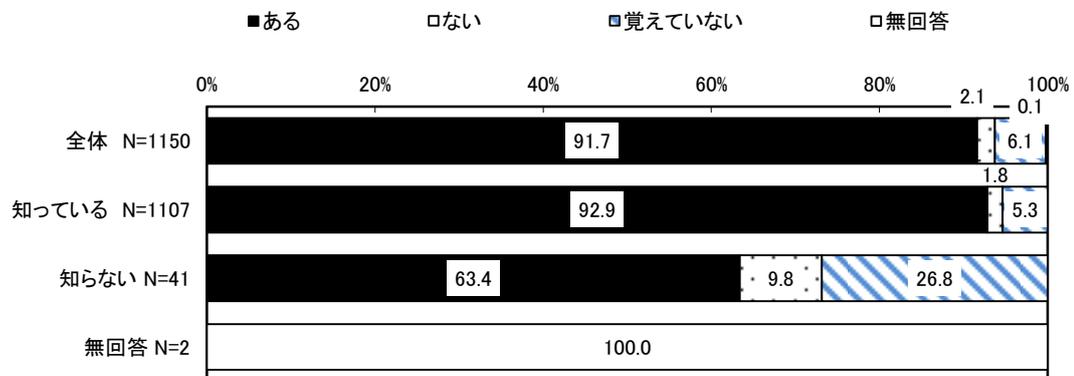
受動喫煙が健康に及ぼす影響について「知っている」と回答した割合は、男性の95.8%、女性の96.6%となっています。



くたばこが健康に及ぼす影響についての学習経験（問32）と受動喫煙が健康に及ぼす影響（問33）との関係

受動喫煙の影響を「知っている」と回答した者は、「知らない」と回答した者と比較して、学習経験が「ある」の割合が高くなっています。

受動喫煙の影響を「知らない」と回答した者は、「知っている」と回答した者と比較して、学習経験が「ない」、「覚えていない」の割合が高くなっています。

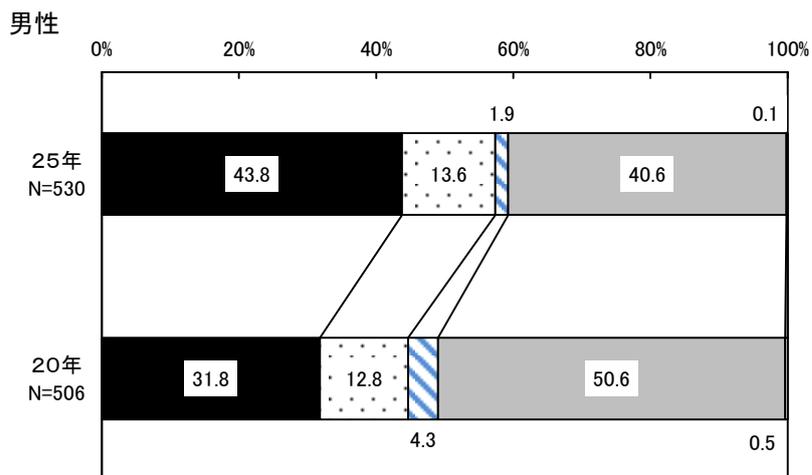


## 8 飲酒について

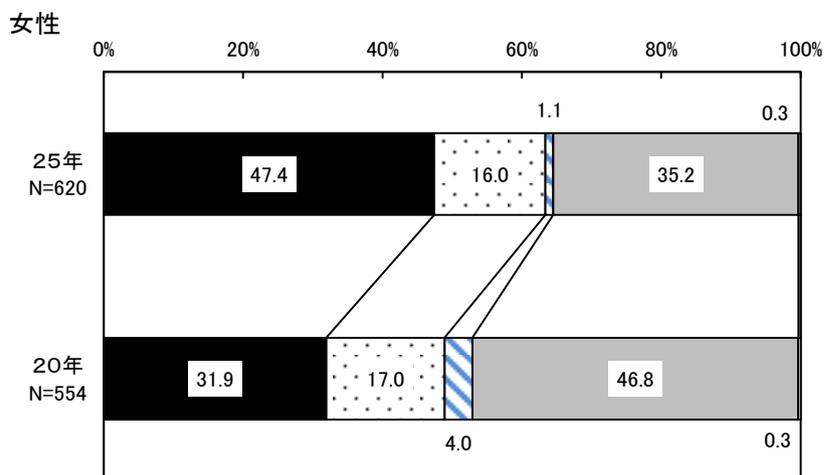
問34 あなたは、未成年者がお酒(日本酒, ビール, 焼酎, ワインなど)を飲むことについてどう思いますか。

「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合は、男性の43.8%、女性の47.4%であり、平成20年調査の男性31.8%、女性31.9%と比較して、大幅に増加しています。

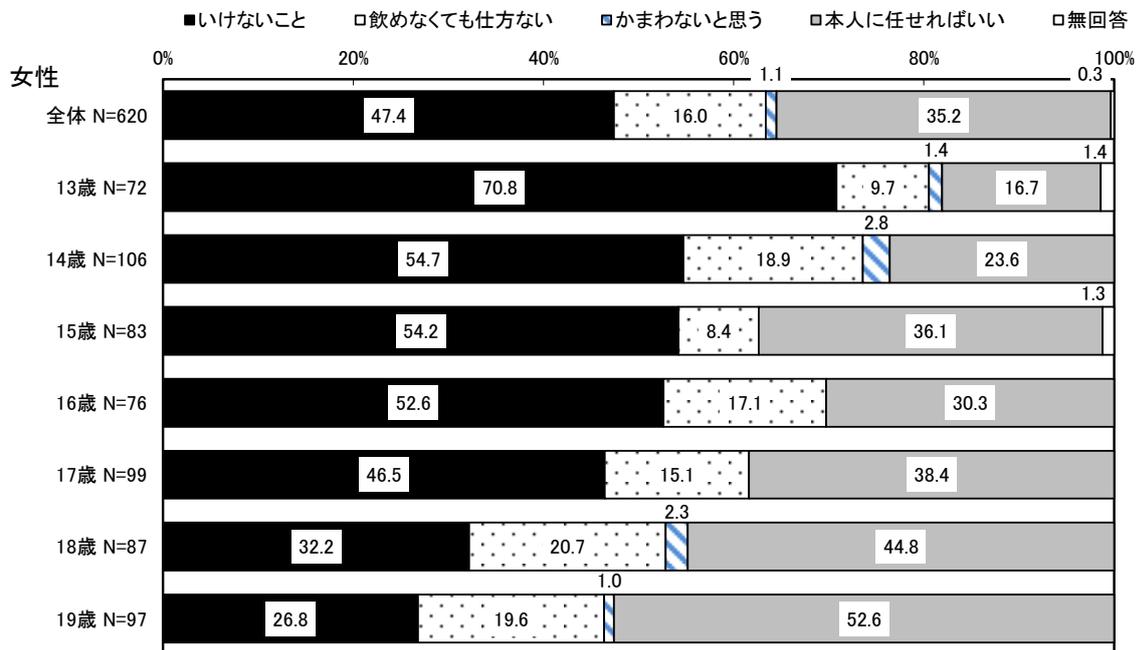
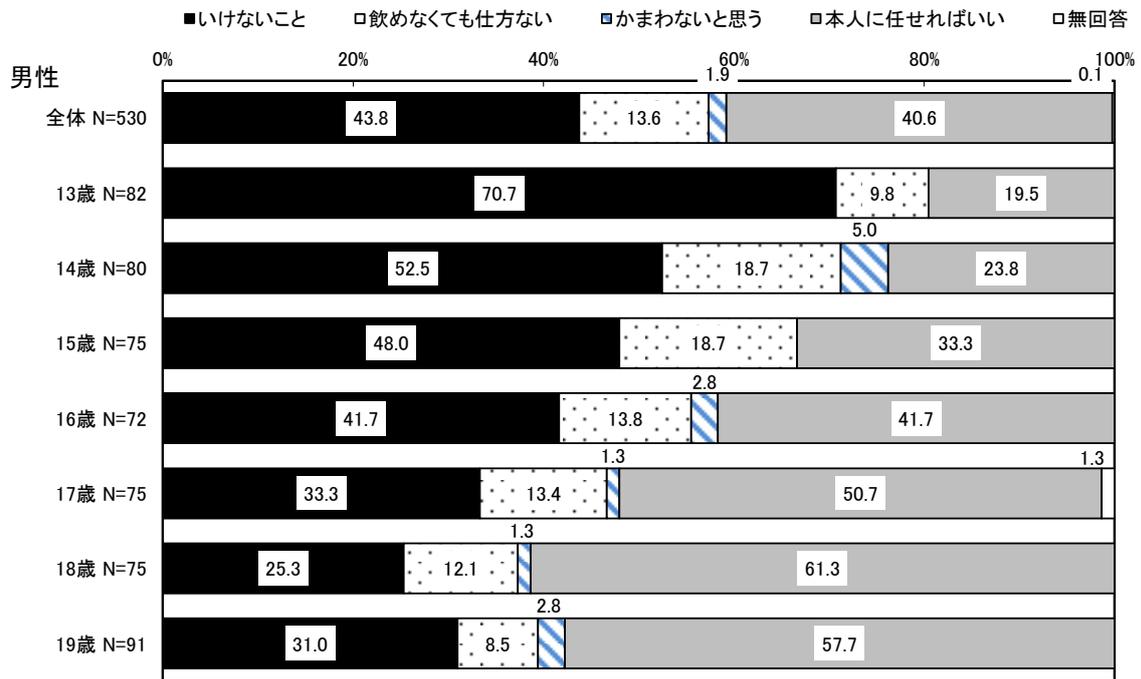
■いけないこと □飲めなくても仕方ない □かまわないと思う □本人に任せればいい □無回答



■いけないこと □飲めなくても仕方ない □かまわないと思う □本人に任せればいい □無回答

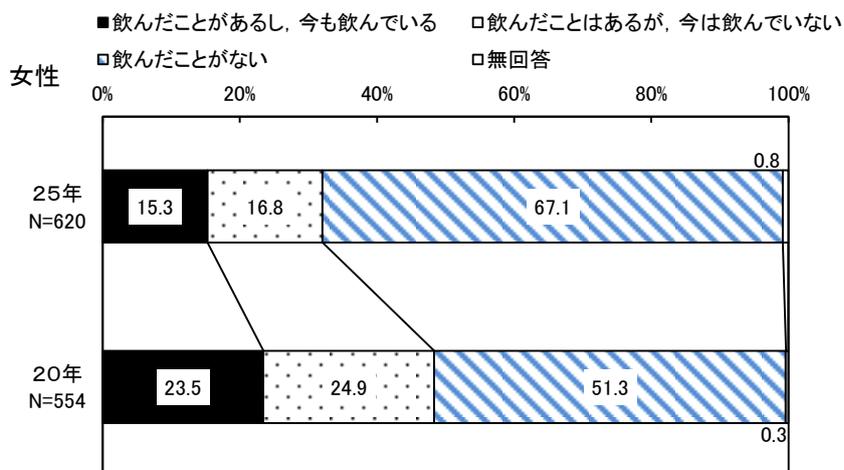
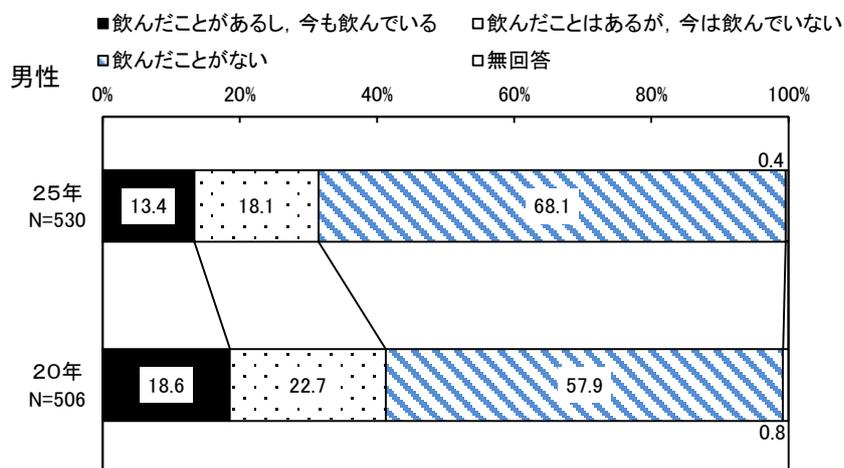


年齢別では、男女共に、「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合は、年齢があがるにつれて減少し、「本人の考えに任せればいい」の割合は、年齢があがるにつれて増加する傾向にあります。



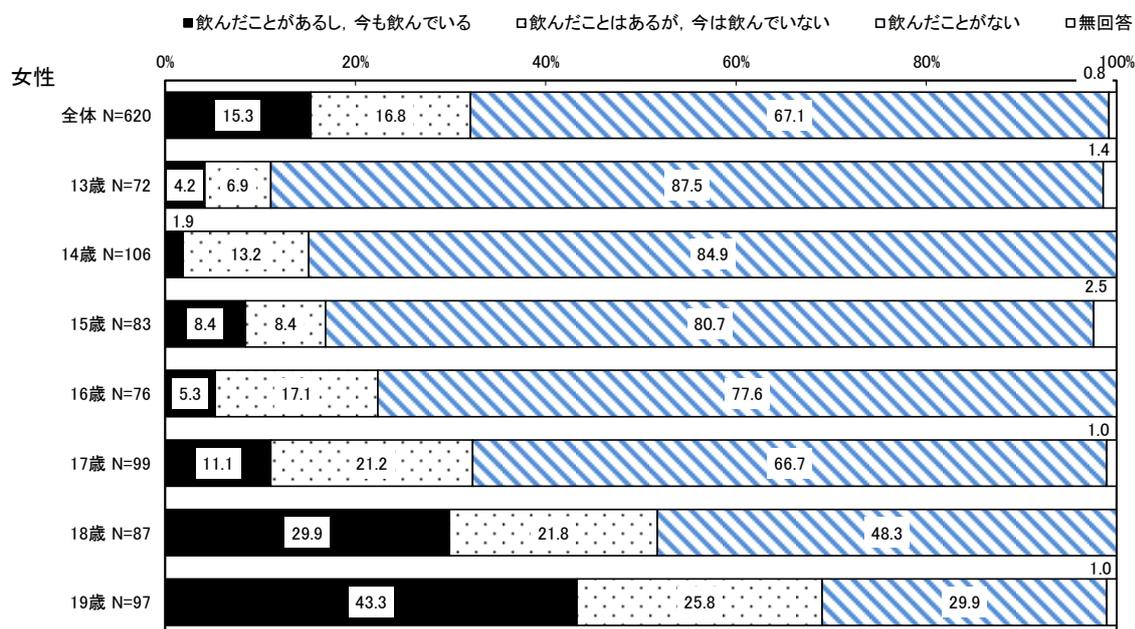
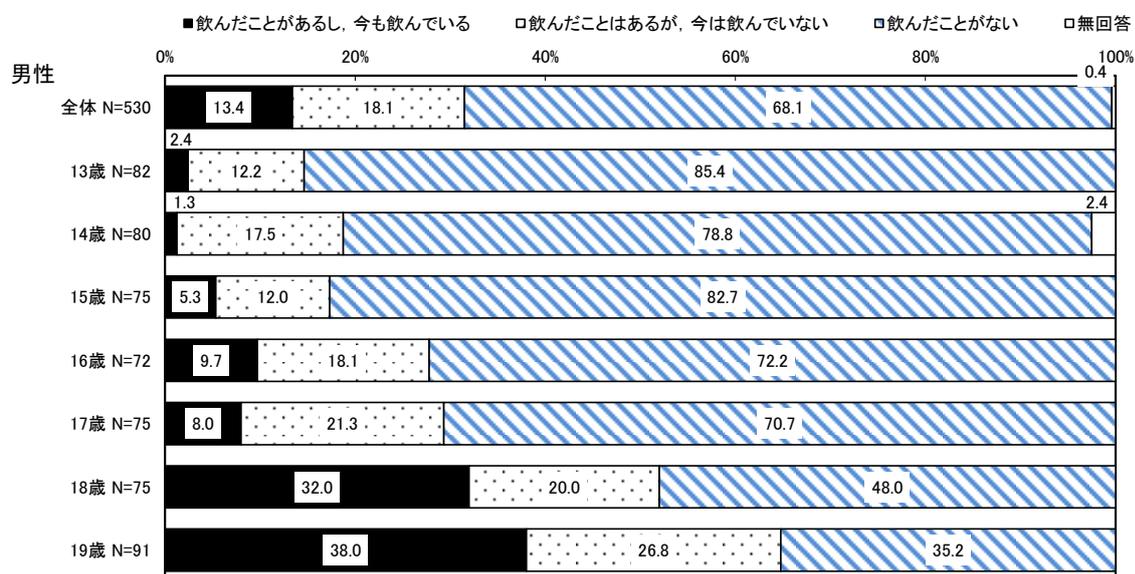
問35 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。

飲酒経験がある者（「飲んだことがあるし、今も飲んでいる」、「飲んだことはあるが、今は飲んでいない」の回答者）は、男性の31.5%、女性の32.1%であり、平成20年調査の男性41.3%、女性48.4%と比較して減少しています。



年齢別では、年齢があがるにつれて、飲酒経験の割合が増加しており、特に18歳で男女共に大きく増加しています。

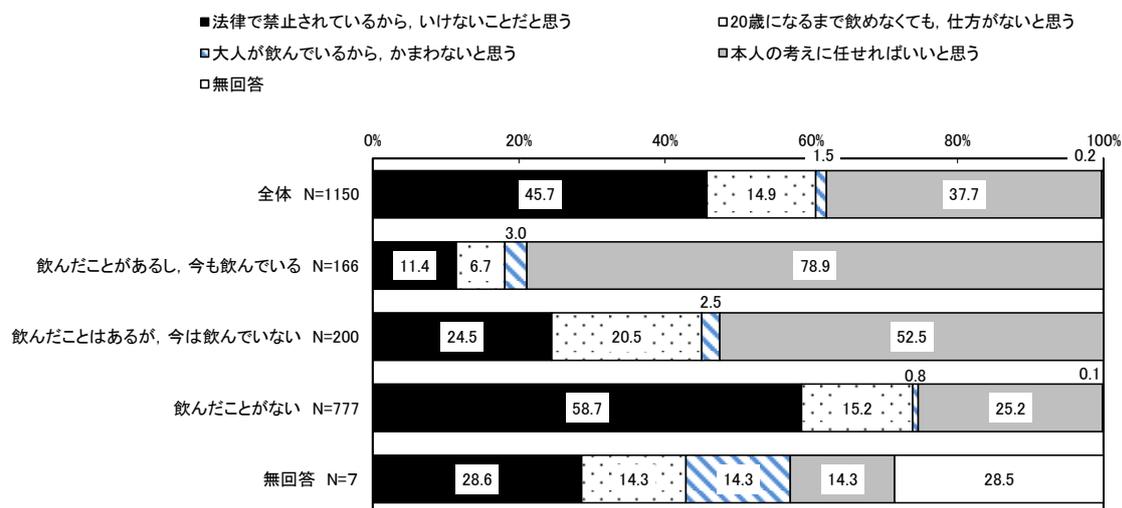
19歳では、飲酒経験がある者が、男性の64.8%、女性の69.1%であり、平成20年調査の男性82.4%、女性89.6%と比較して減少していますが、男性の38.0%、女性の43.3%が「飲んだことがあるし、今も飲んでいる」と回答しています。



## <未成年者の飲酒に対する意識（問34）と飲酒経験（問35）の関係>

飲酒経験がない者（「飲んだことがない」の回答者）は、飲酒経験がある者と比較して、未成年者が飲酒することに対して、「法律で禁止されているから、いけないことだと思う」の割合が高くなっています。

一方、飲酒経験がある者は、飲酒経験がない者と比較して、「大人が飲んでいるから、かまわないと思う」、「本人の考えに任せればいいと思う」の割合が高くなっています。



補問35-2 「1 飲んだこともあるし、今も飲んでいる」、「2 飲んだことはあるが、今は飲んでいない」と答えた方におたずねします。初めてお酒を飲んだ年齢は何歳ですか。

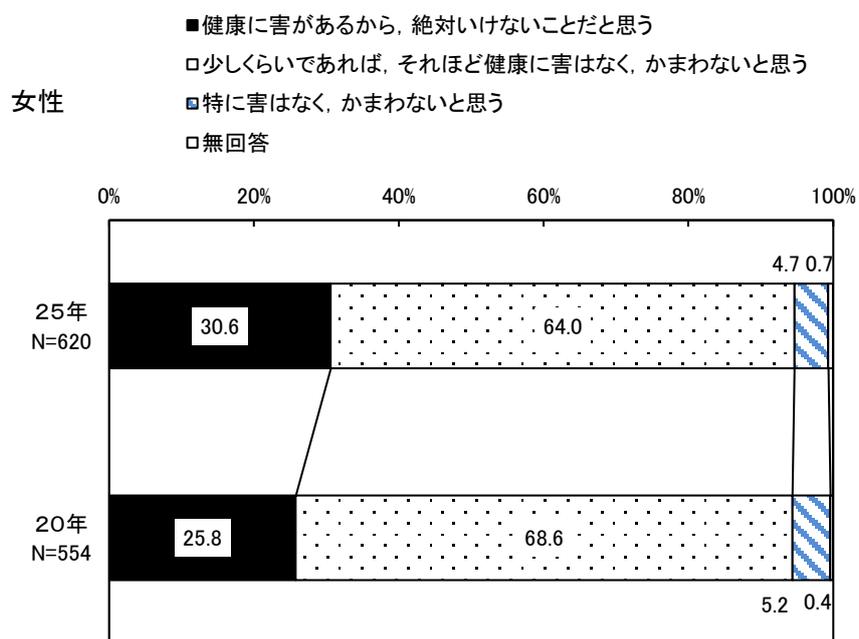
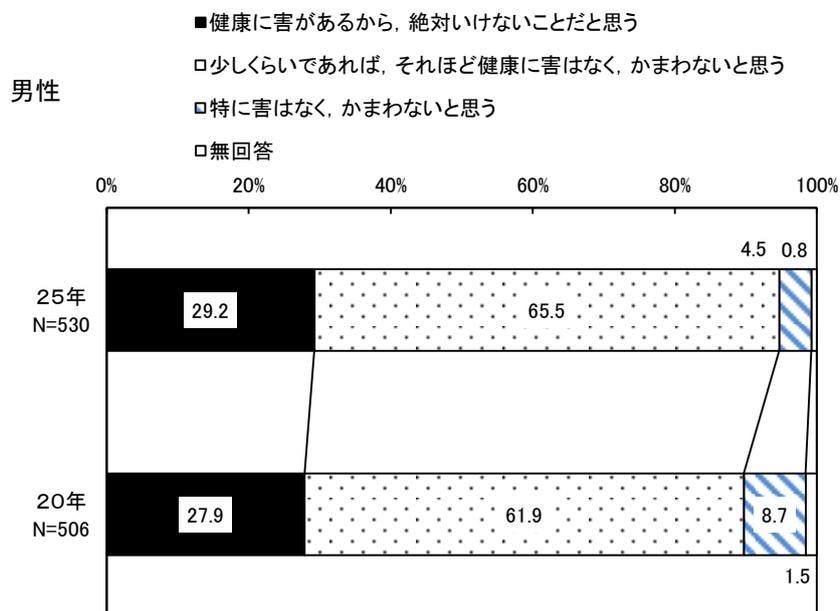
飲酒開始年齢が最も低い年齢は、男女共に1歳となっています。

性別			初めてお酒を飲んだ年齢									
			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
男性	年齢	13歳 人	1		1	1			2	1		1
		%	8.3%		8.3%	8.3%			16.7%	8.3%		8.3%
		14歳 人					3				1	4
		%					20.0%				6.7%	26.7%
		15歳 人			1					1		1
		%			7.7%					7.7%		7.7%
		16歳 人										1
		%										5.0%
17歳 人				1	1		2	1				
%				4.5%	4.5%		9.1%	4.5%				
18歳 人										2		
%										5.1%		
19歳 人												
%												
合計	人	1	0	2	2	4	0	4	3	1	9	
%		0.6%	0.0%	1.2%	1.2%	2.4%	0.0%	2.4%	1.8%	0.6%	5.4%	
女性	年齢	13歳 人				1			1		1	
		%				12.5%			12.5%		12.5%	
		14歳 人					1	1	1	1	2	
		%					6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%	
		15歳 人					2			3	3	
		%					14.3%			21.4%	21.4%	
		16歳 人	1	2			2					
		%	5.9%	11.8%			11.8%					
17歳 人							1					
%							3.1%					
18歳 人					1							
%					2.2%							
19歳 人												
%												
合計	人	1	2	0	0	7	1	2	5	2	10	
%		0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.5%	1.0%	2.5%	1.0%	5.0%	

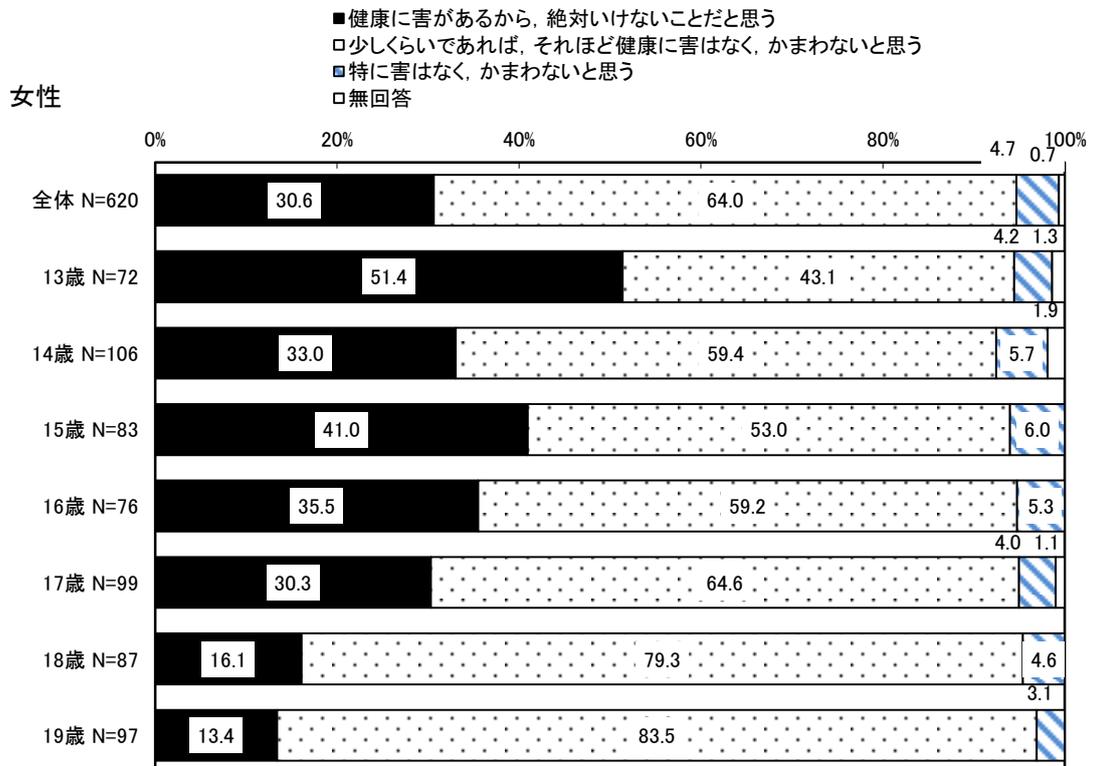
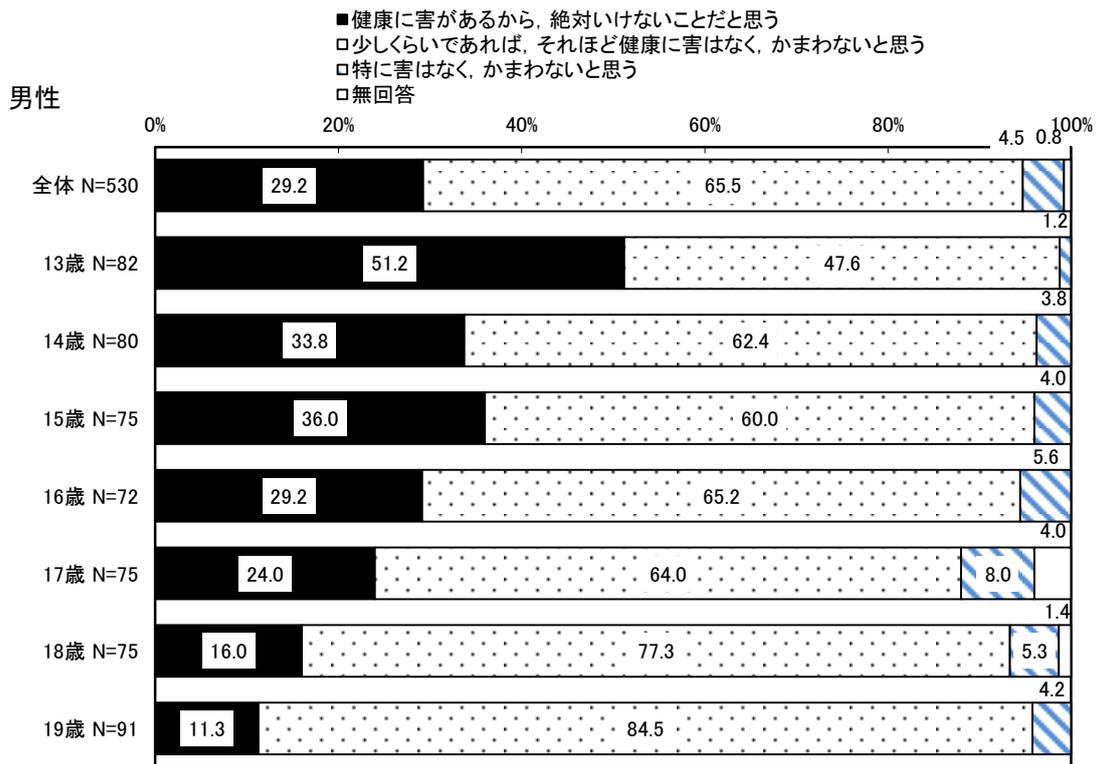
性別			初めてお酒を飲んだ年齢										合計	
			11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	無回答		
男性	年齢	13歳 人	2	1	1								1	12
		%	16.7%	8.3%	8.3%								8.3%	100.0%
		14歳 人		2	3	2								15
		%		13.3%	20.0%	13.3%								100.0%
		15歳 人		1	4	4	1							13
		%		7.7%	30.8%	30.8%	7.7%							100.0%
		16歳 人	1	1	2	5	6	2					2	20
		%	5.0%	5.0%	10.0%	25.0%	30.0%	10.0%					10.0%	100.0%
17歳 人	1	2		1	5	5	2				1	22		
%	4.5%	9.1%		4.5%	22.7%	22.7%	9.1%				4.5%	100.0%		
18歳 人			2	2	5	9	6	9			4	39		
%			5.1%	5.1%	12.8%	23.1%	15.4%	23.1%			10.3%	100.0%		
19歳 人		2	1	3	4	5	5	19	5	2	46			
%		4.3%	2.2%	6.5%	8.7%	10.9%	10.9%	41.3%	10.9%	4.3%	100.0%			
合計	人	4	9	13	17	21	13	28	5	10	167			
%		2.4%	5.4%	7.8%	10.2%	12.6%	7.8%	16.8%	3.0%	6.0%	100.0%			
女性	年齢	13歳 人		2	2							1	8	
		%		25.0%	25.0%							12.5%	100.0%	
		14歳 人		2	4	1						1	16	
		%		12.5%	25.0%	6.3%						6.3%	100.0%	
		15歳 人			2	1	2					1	14	
		%			14.3%	7.1%	14.3%					7.1%	100.0%	
		16歳 人		1	3	3	4	1					17	
		%		5.9%	17.6%	17.6%	23.5%	5.9%					100.0%	
17歳 人		1	2	6	6	12	1			1	32			
%		3.1%	6.3%	18.8%	18.8%	37.5%	3.1%			3.1%	100.0%			
18歳 人	1	1	3	3	7	8	7	13		1	45			
%	2.2%	2.2%	6.7%	6.7%	15.6%	17.8%	15.6%	28.9%		2.2%	100.0%			
19歳 人		2	1	5	6	8	4	29	9	1	67			
%		3.0%	1.5%	7.5%	9.0%	11.9%	6.0%	43.3%	13.4%	1.5%	100.0%			
合計	人	1	9	17	19	25	29	42	9	6	199			
%		0.5%	4.5%	8.5%	9.5%	12.6%	14.6%	21.1%	4.5%	3.0%	100.0%			

問36 あなたは、飲酒が健康に及ぼす影響についてどう思いますか。

「健康に害があるから、絶対いけないことだと思う」の割合は、男性の29.2%、女性の30.6%であり、平成20年調査の男性27.9%、女性25.8%と比較して増加する傾向にあります。



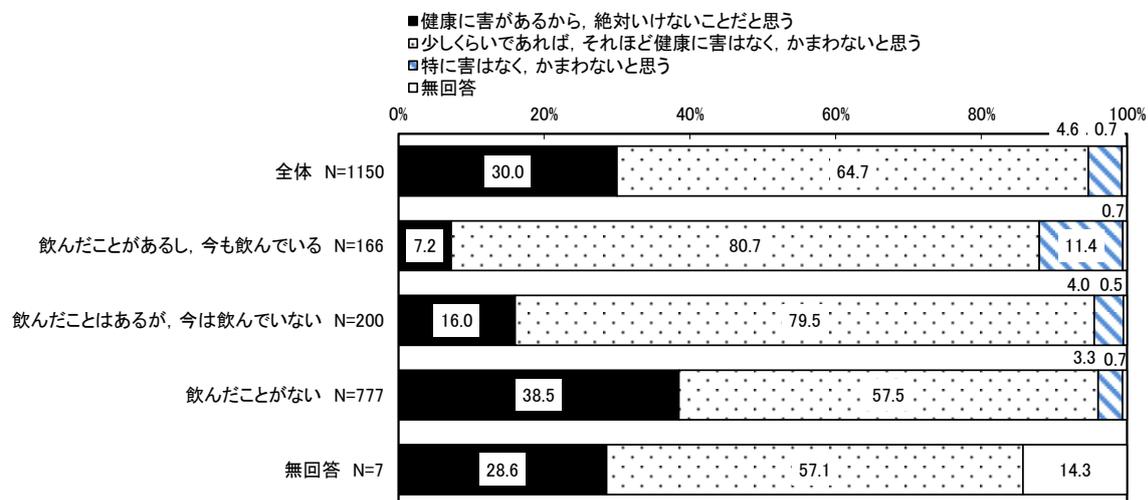
年齢別では、年齢があがるにつれて、「少しくらいであれば、それほど健康に害はなく、かまわないと思う」、「特に害はなく、かまわないと思う」の割合が増加しています。



## <飲酒経験（問35）と飲酒が健康に及ぼす影響（問36）の関係>

飲酒経験がある者は、飲酒経験がない者と比較して、「少しくらいであれば、それほど健康に害はなく、かまわないと思う」、「特に害はなく、かまわないと思う」の割合が高くなっています。

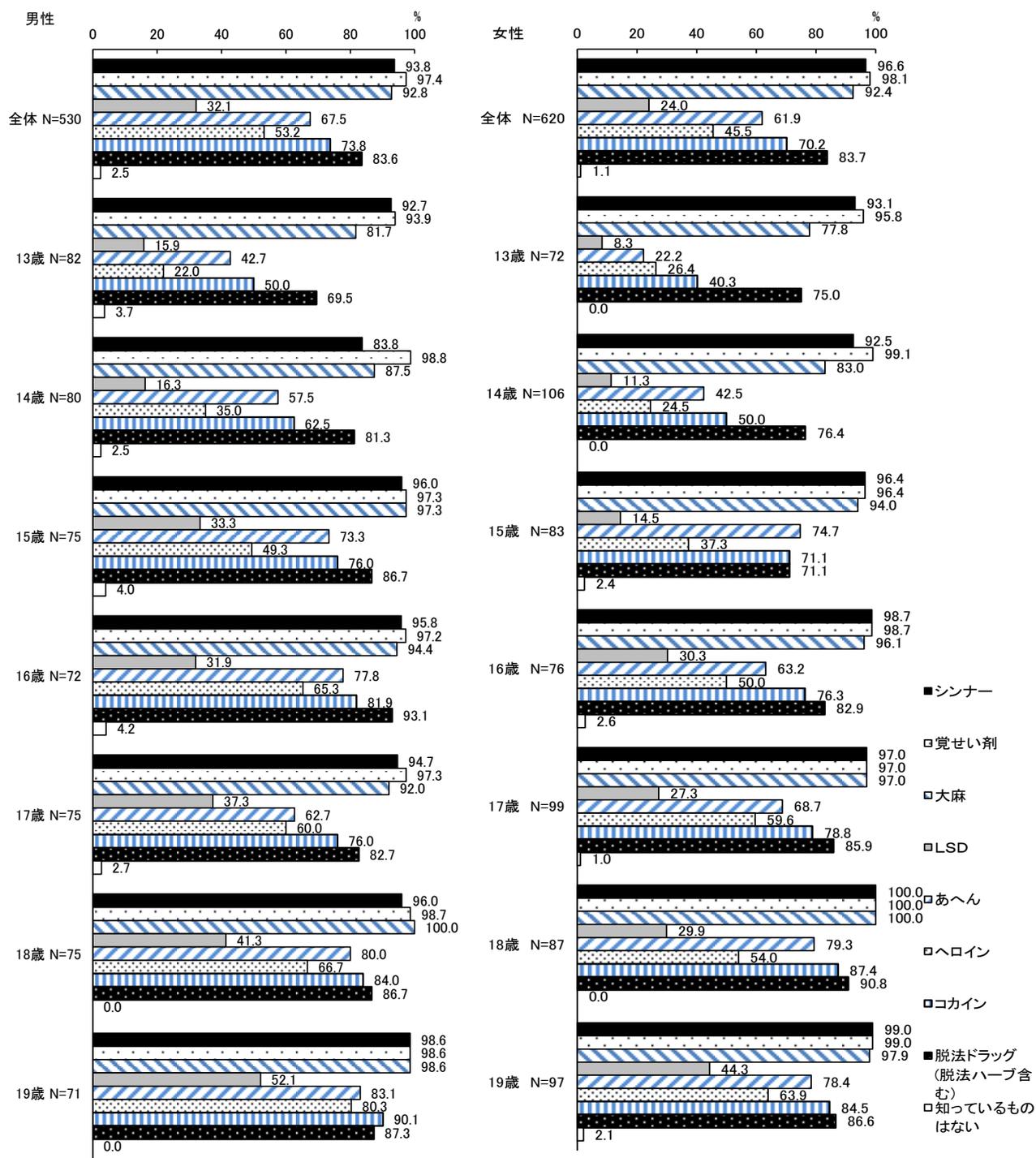
一方、飲酒経験がない者は、飲酒経験がある者と比較して、未成年者が飲酒することに対して、「健康に害があるから、絶対いけないことだと思う」の割合が高くなっています。



## 9 規制薬物について

問37 乱用される危険のある薬物について、あなたが知っている名称がありますか。  
知っている名称すべてを選んでください。

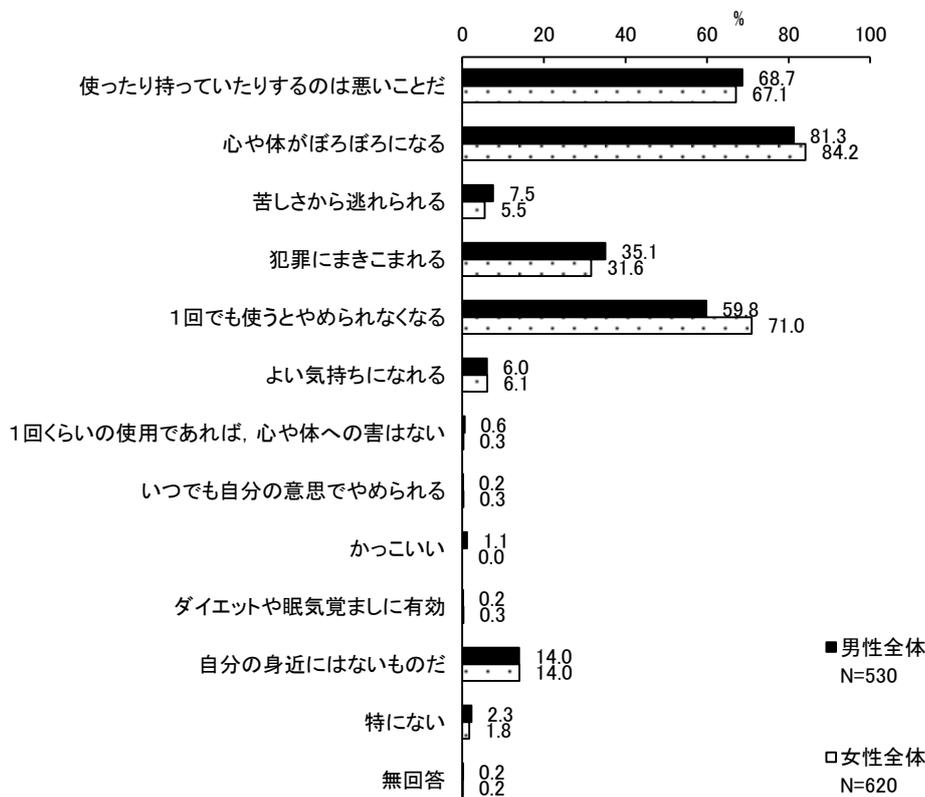
「シンナー」、「覚せい剤」、「大麻」の割合は、男女共に90%以上となっています。  
一方、「LSD」の割合は男性の32.1%、女性の24.0%であり、最も低くなっています。  
年齢別では、「あへん」、「ヘロイン」、「コカイン」の割合が、低年齢で低い傾向にあります。



問38 あなたは乱用される危険のある薬物について、どのような印象を持っていますか。  
 主なものを3つまで選んでください。

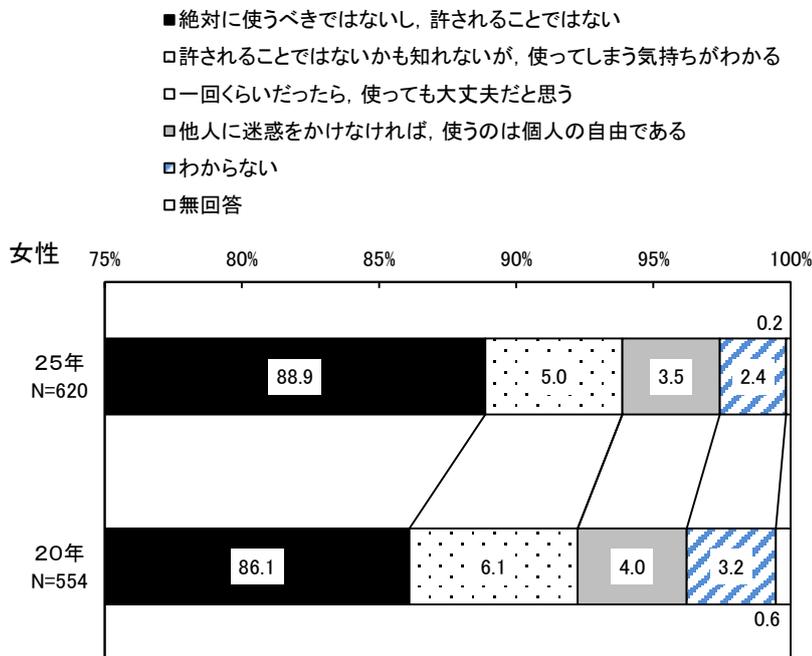
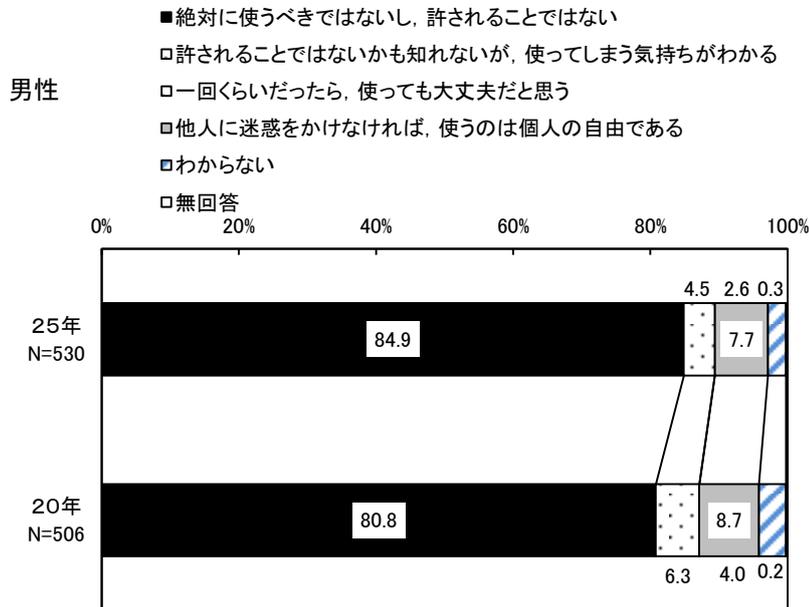
男女共に、「心や体がぼろぼろになる」の割合が最も高く、男性の81.3%、女性の84.2%となっています。

次いで、男性では、「使ったり持っていたりするの悪いことだ」、「1回でも使うとやめられなくなる」の順に高くなっており、女性では、「1回でも使うとやめられなくなる」、「使ったり持っていたりするの悪いことだ」の順に高くなっています。

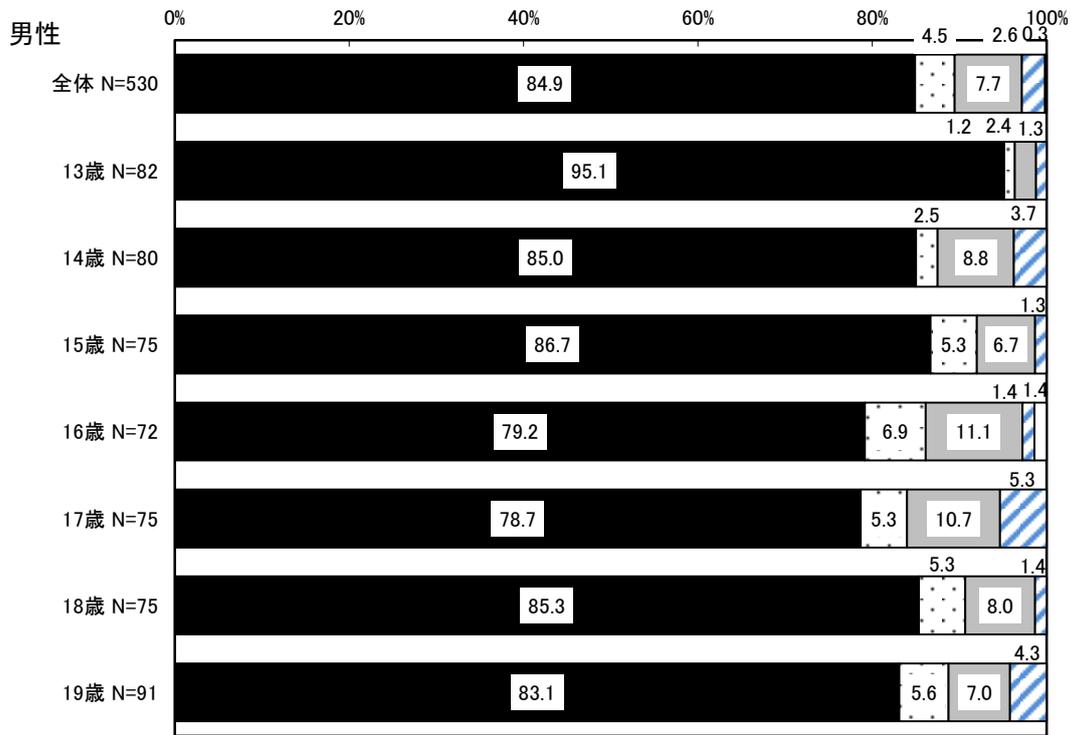


問39 あなたは乱用される危険のある薬物を使用することについてどのように考えていますか。1つ選んでください。

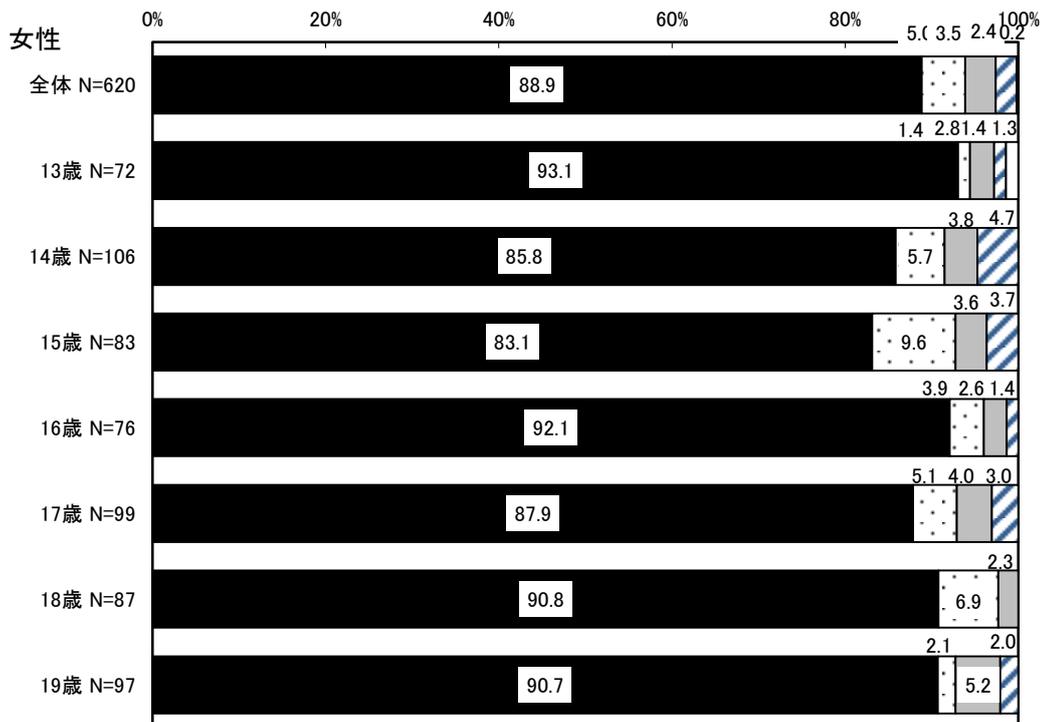
「絶対使うべきではないし、許されることではない」の割合は男性の84.9%、女性の88.9%と最も高く、平成20年調査の男性80.8%、女性86.1%と比較して増加しています。



- 絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 許されることではないかも知れないが、使ってしまう気持ちがわかる
- 一回くらいだったら、使っても大丈夫だと思う
- 他人に迷惑をかけなければ、使うのは個人の自由である
- わからない
- 無回答



- 絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 許されることではないかも知れないが、使ってしまう気持ちがわかる
- 一回くらいだったら、使っても大丈夫だと思う
- 他人に迷惑をかけなければ、使うのは個人の自由である
- わからない
- 無回答

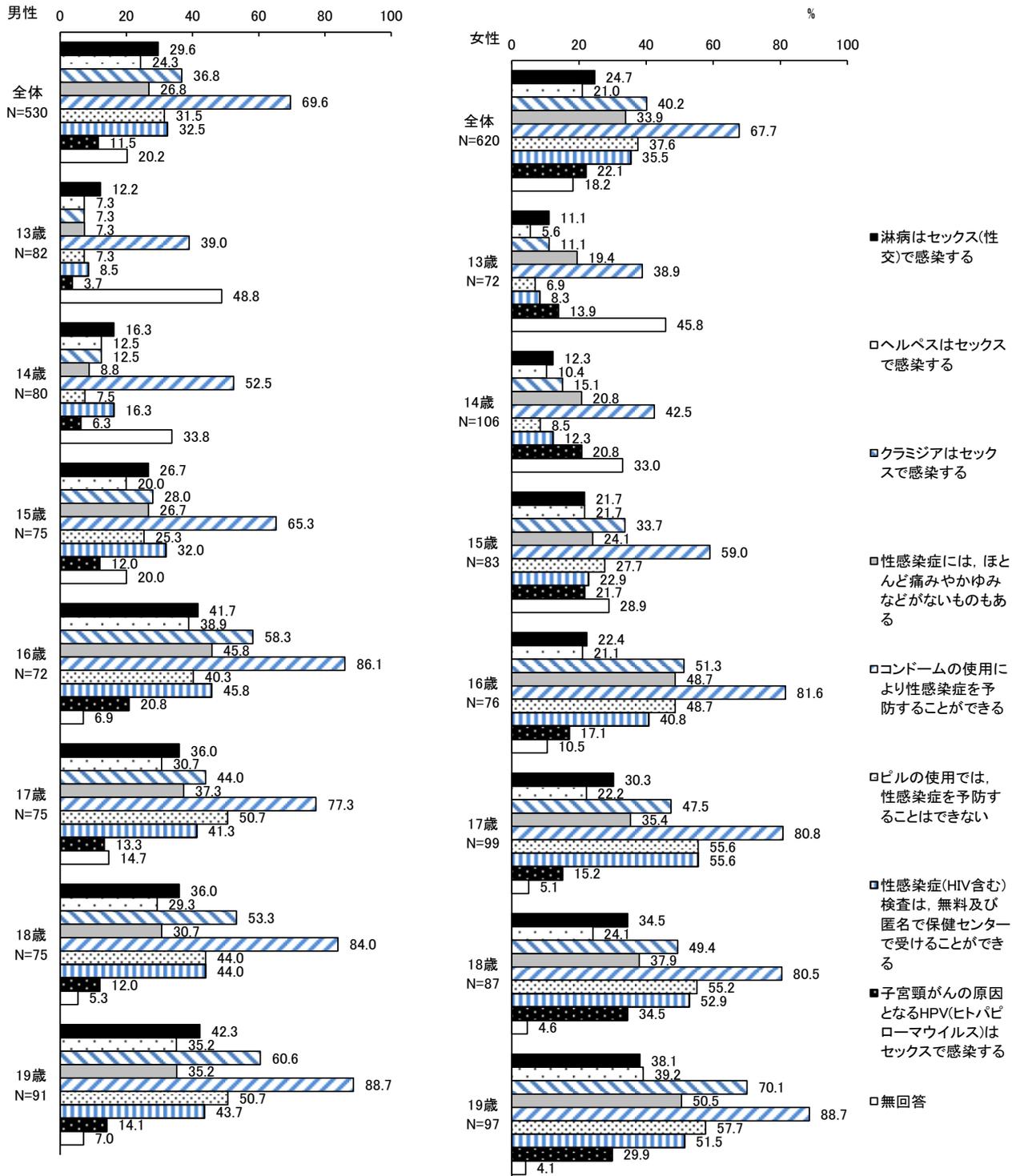


# 10 性に関わることについて

問40 性感染症(セックス(性交)により人から人にうつる病気)のうち、あなたが知っているものをすべて選んでください。

性感染症について知っている割合が高いものは、「クラミジアはセックスで感染する」、「淋病はセックスで感染する」、「ヘルペスはセックスで感染する」となっています。

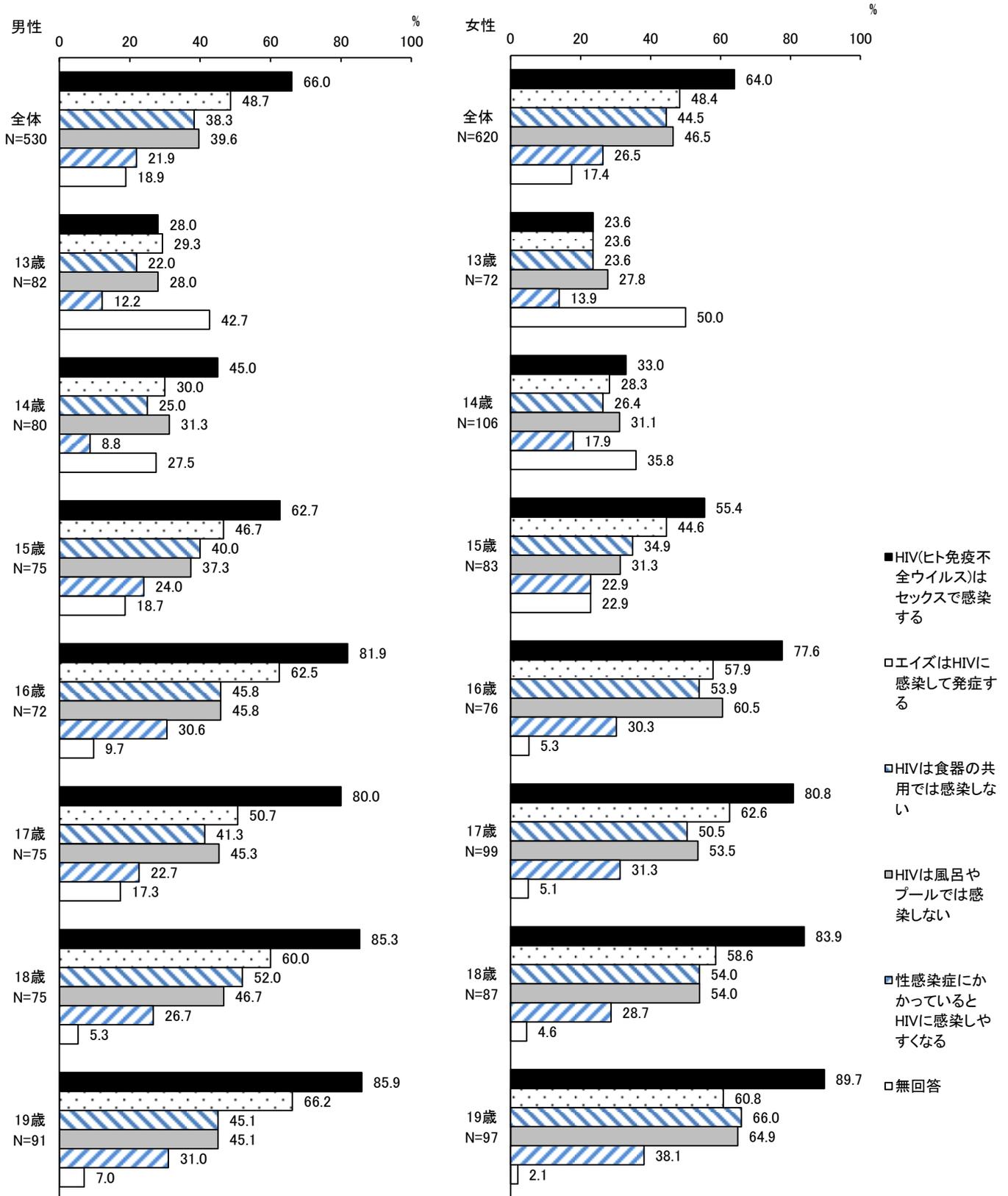
「コンドームの使用により性感染症を予防することができる」の割合は、男性の69.6%、女性の67.7%であり、平成20年調査の男性61.3%、女性64.8%と比較して増加しています。



問41 エイズやHIVについて、あなたが知っているものをすべて選んでください。

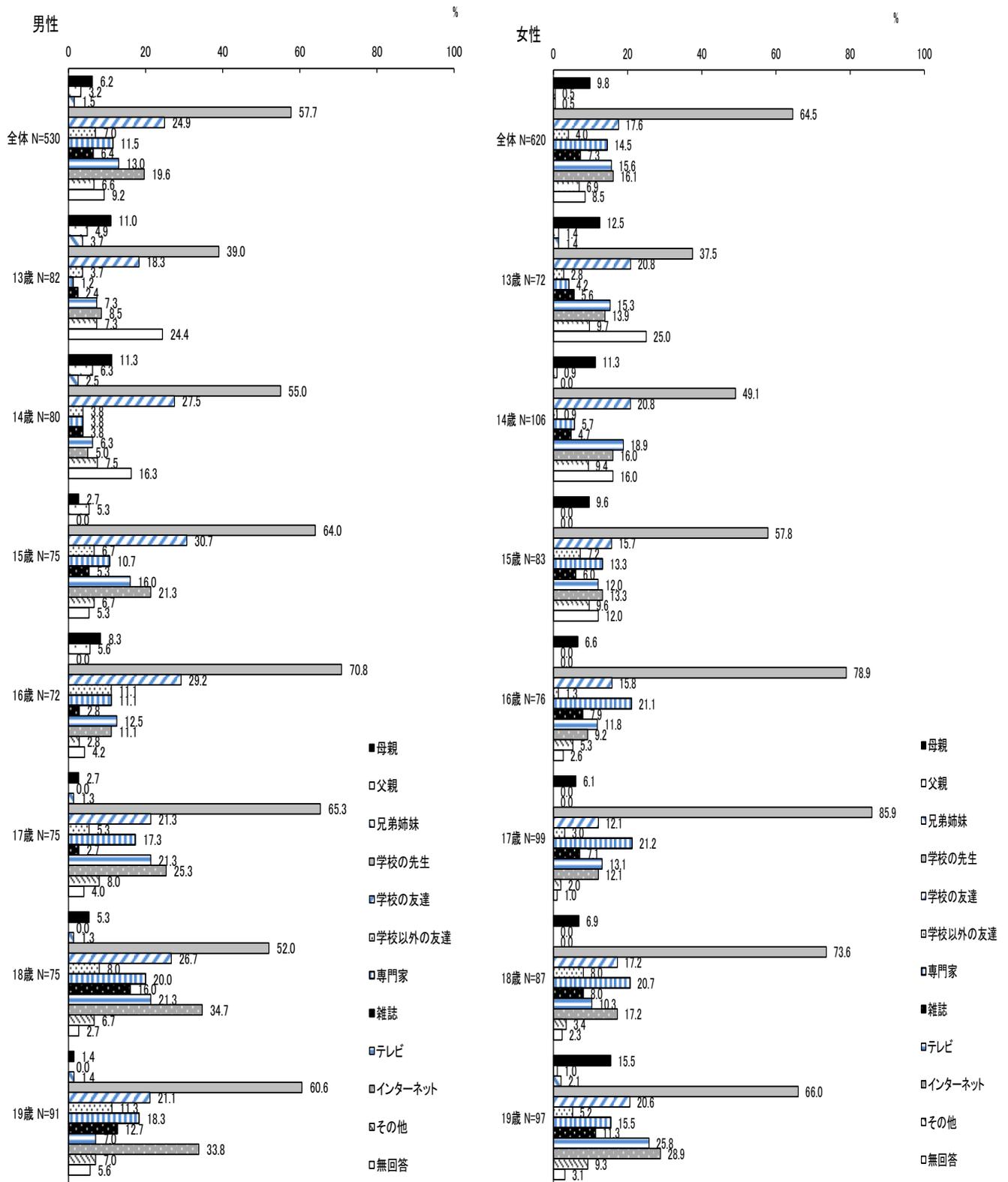
全体では、「HIV(ヒト免疫不全ウイルス)はセックスで感染する」の割合は、男性の66.0%、女性の64.0%となっており、最も高くなっています。

一方で、「性感染症にかかっているとHIVに感染しやすくなる」の割合は、男性の21.9%、女性の26.5%となっており、最も低くなっています。



問42 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ていますか。主なものを3つ選んでください。

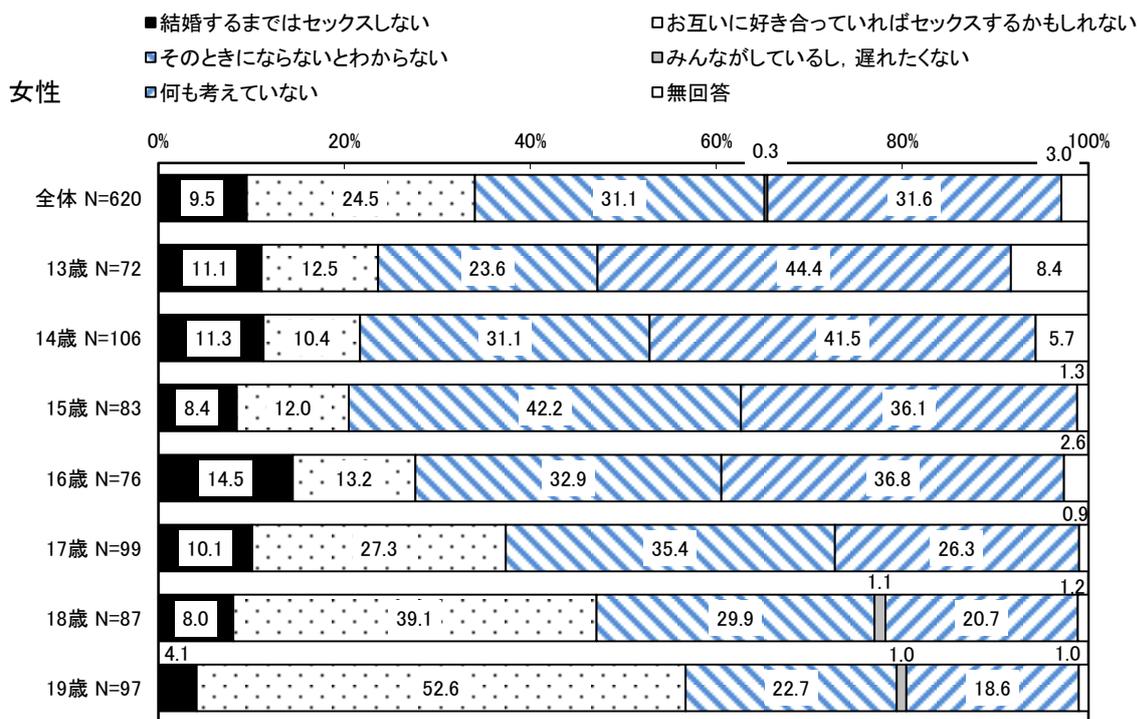
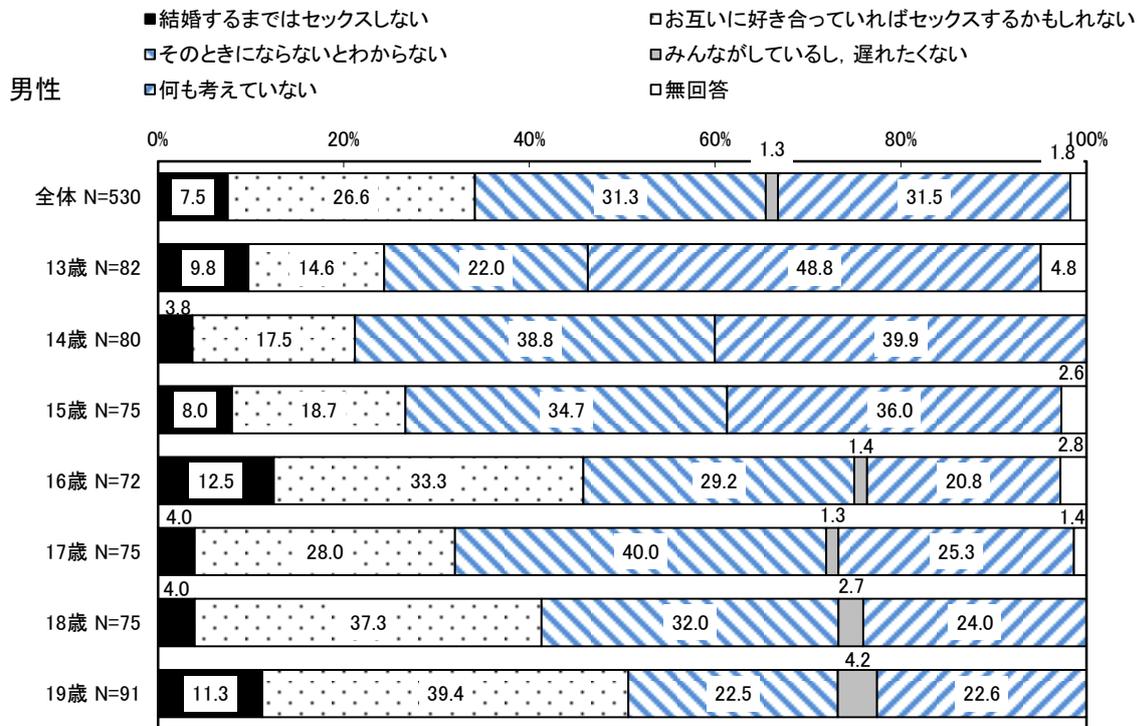
「学校の先生」の割合は男性の57.7%、女性の64.5%と最も高く、次いで「友人」,「インターネット」となっています。



問43 あなたは、あなた自身がセックスすることをどのように考えていますか。

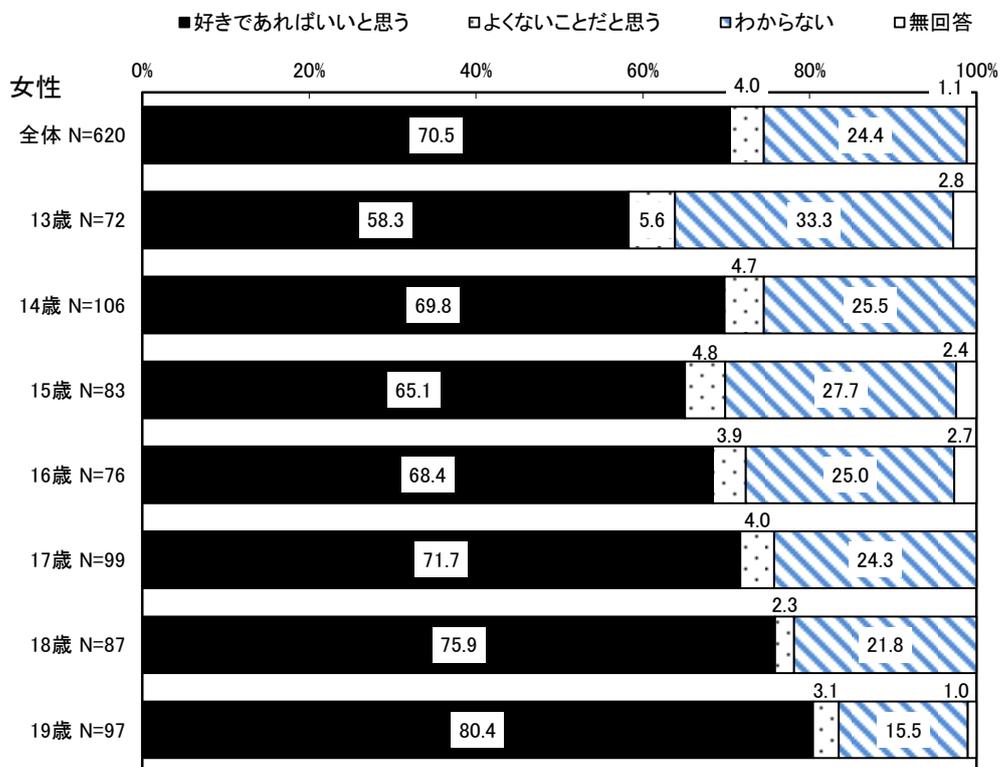
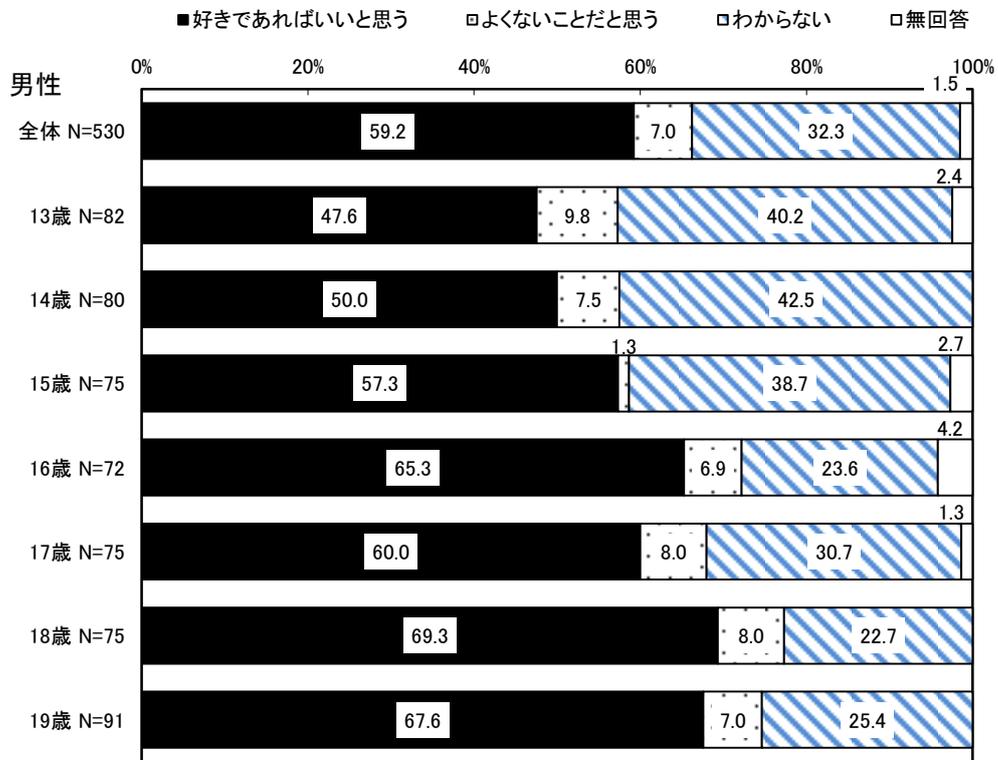
全体では、「何も考えていない」の割合が最も高く、男性の31.5%、女性の31.6%となっており、次いで、「そのときにならないとわからない」となっています。

年齢別では、「お互いに好き合っていればセックスするかもしれない」は年齢があがるにつれて増加し、男女共に18歳以降、「そのときにならないとわからない」より割合が高くなっています。



問44 同性間(男性と男性, 女性と女性)での恋愛についてどのように思いますか。

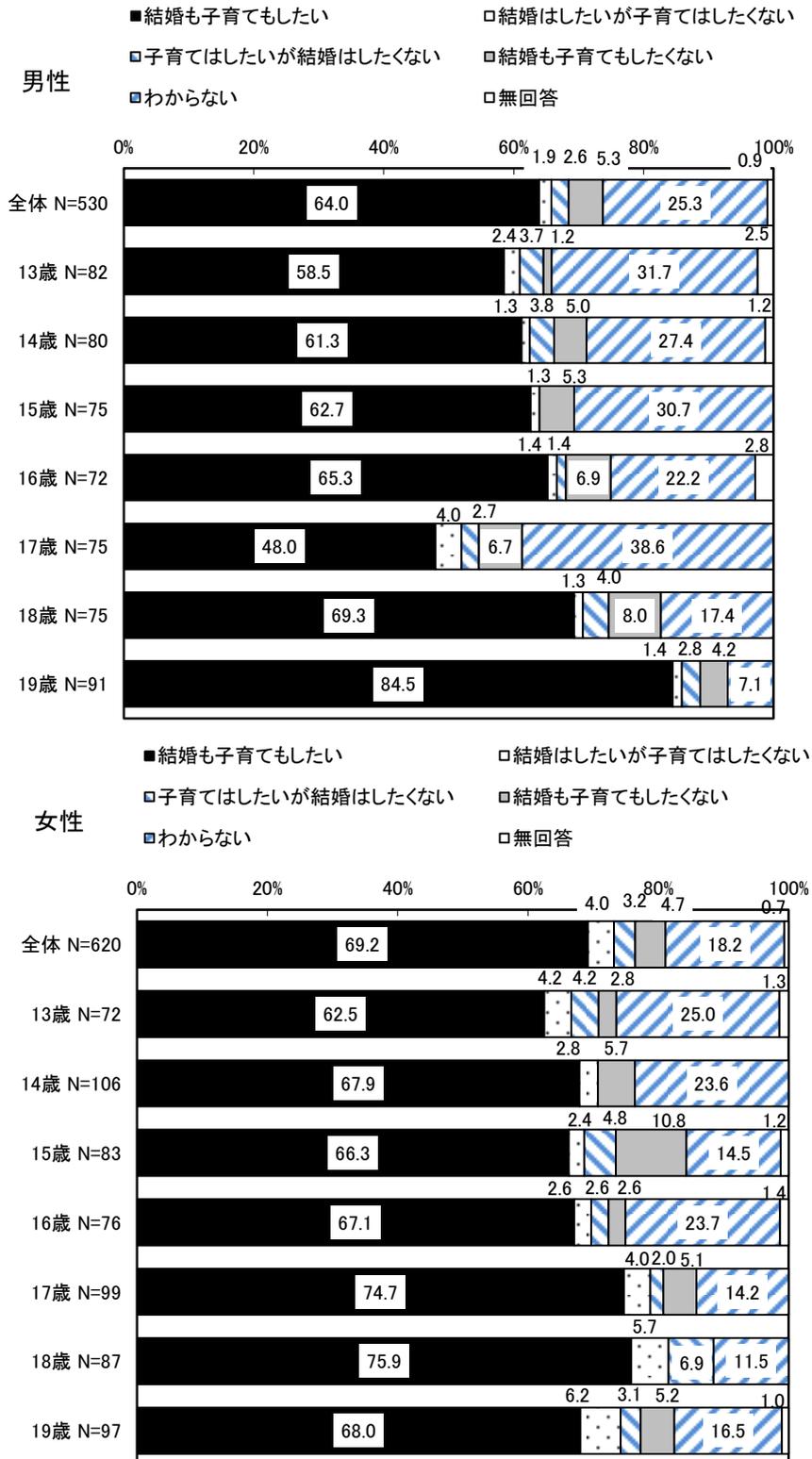
男女共に、「好きであればいいと思う」の割合が最も高く、男性の59.2%、女性の70.5%となっています。



# 1 1 将来について

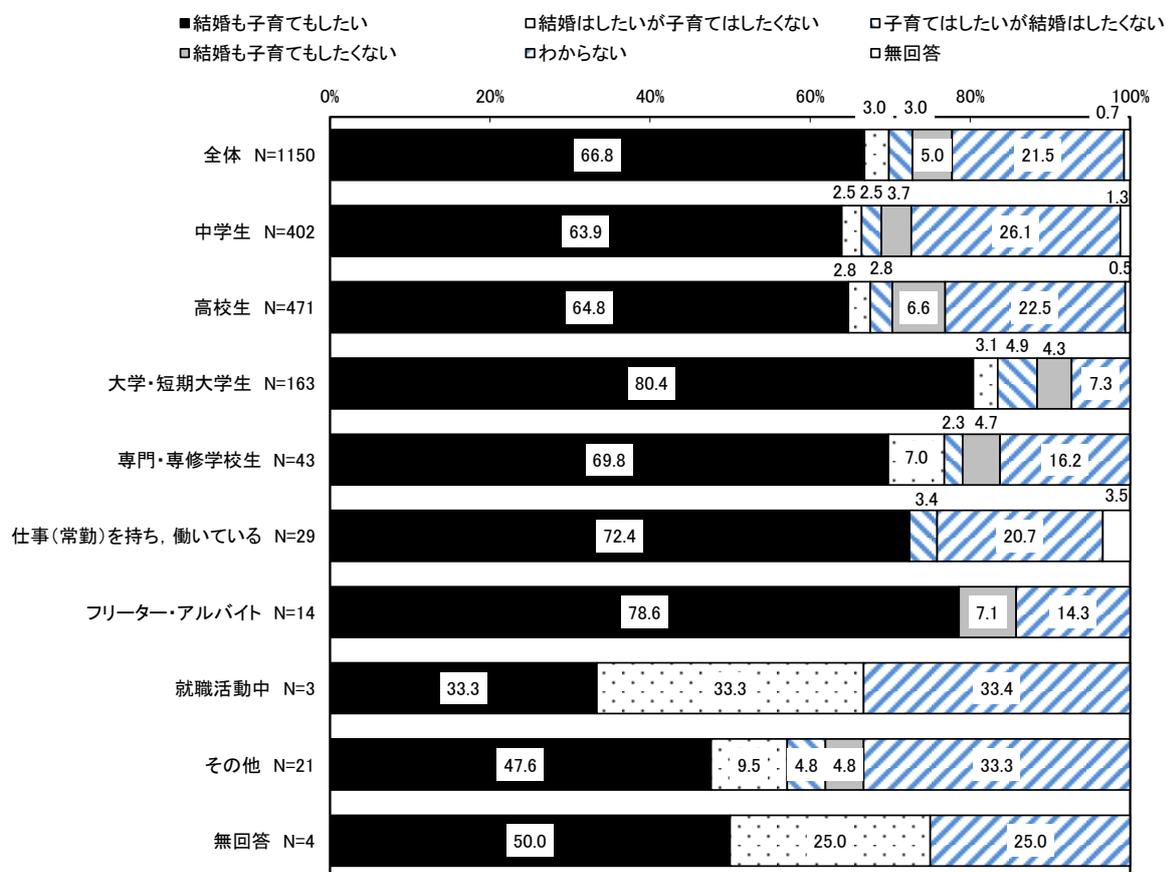
## 問45 将来の自分の結婚や子育てに関することをどう考えていますか。

「結婚も子育てもしたい」の割合は、男性の64.0%、女性の69.2%となっています。一方で、男性の5.3%、女性の4.7%が「結婚も子育てもしたくない」となっています。



## <学校・職業（問2）と将来の結婚・子育てとの関係（問45）>

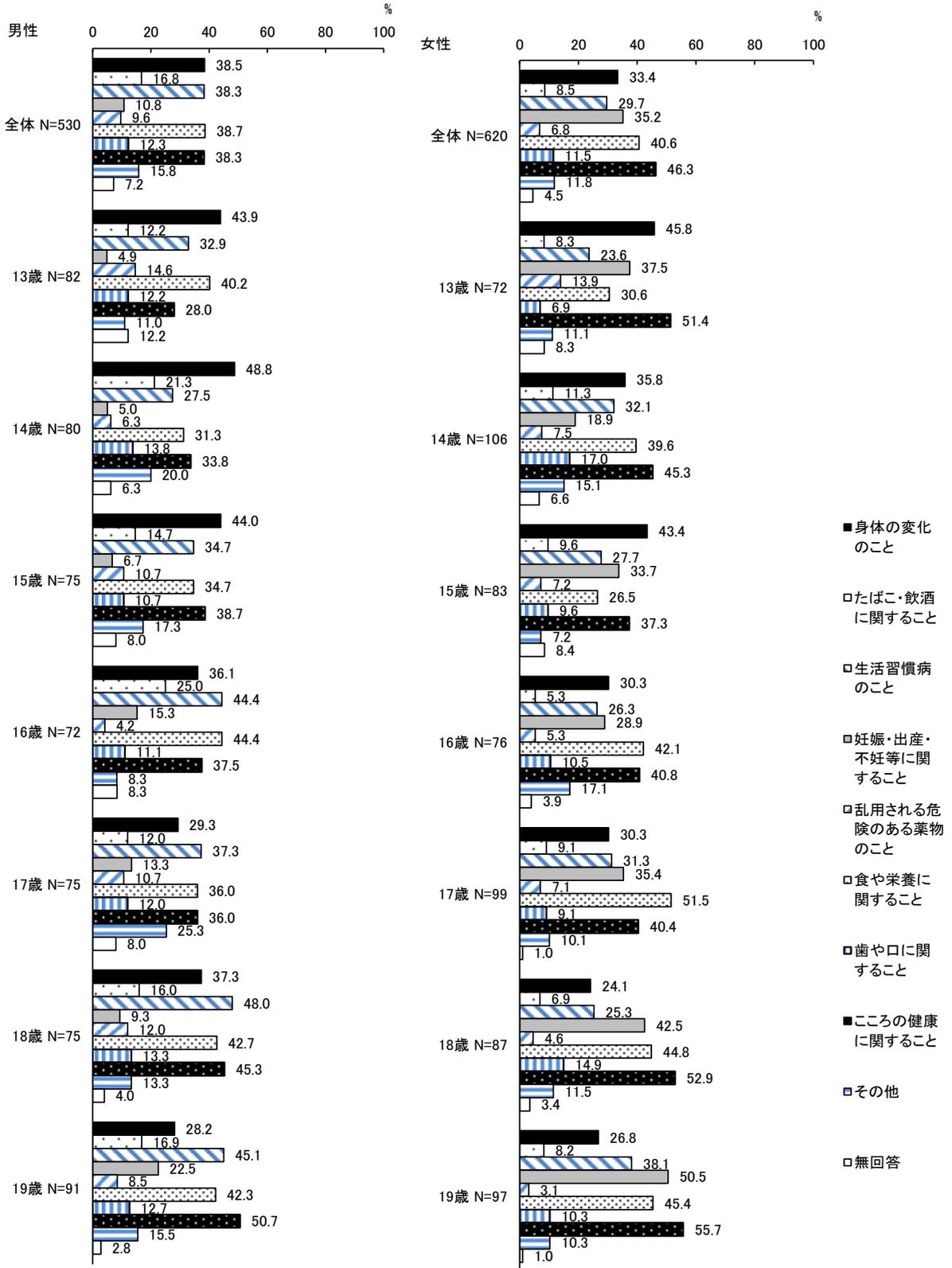
「大学・短期大学生」は、他の者と比較すると、「結婚も子育てもしたい」の割合が高くなっています。



問46 思春期はこれからの人生を健康で過ごすために大切な時期です。健康について知りたいことはなんですか。3つまでお答えください。

男女共に、「身体の変化のこと」、「生活習慣病のこと」、「食や栄養に関すること」、「こころの健康に関すること」の割合が高くなっています。

男女別では、女性は男性と比較して、「妊娠・出産・不妊等に関すること」の割合が高く、19歳の女性では、50.5%が知りたいと回答しています。



## 保護者の皆様へ

### 京都市 思春期に関する意識調査

#### 調査ご協力のお願い

皆様には口頭より京都市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本市では、市民ぐるみで子育てを支援し、子どもを遊ばせる喜びを実感できるまちづくり、子どもたちが「京都で育ってよかったね」といえるまちづくりを口指して、平成22年に策定した「京都市未来子どもプラン」に基づき、母子保健・医療、児童福祉、教育などの分野で様々な施策や事業を計画的に推進しているところです。

この度、「子どもに笑顔 みんなでほぐくみ 子育て“きょうかん”都市・京都」の更なる発展を目指し、平成26年度をもって計画期間を終了する現プランを見直し、次期計画の策定を行うことになりました。

つきましては、思春期の子どもたちの健康と生活、性や心の問題を含め、課題を認識するため、上記の調査を実施し、次期プラン策定への資料とさせていただきますとさせていただきます。

調査にご協力いただく方は、本市にお住まいの13歳から19歳の方（平成25年8月1日現在）の中から無作為に選ばせていただきます。000人の方です。

お答えいただいた内容は、統計資料を得るのみに使用し、秘密の保持には万全を期しておりますので、調査の趣意をご理解いただき、よろしくお願いたします。

平成25年8月

京都市長 門川 大作

調査の対象は、おてゑのお子様です。保護者の皆様から返信用封筒とともにご本人にお渡し願います。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
京都市保健福祉局保健衛生推進部保健医療課（母子保健担当）

Tel: (075) 222-3420 Fax: (075) 222-3416

## 13歳から19歳の皆様へ

### 京都市 思春期に関する意識調査

#### 調査ご協力のお願い

みなさん、こんにちは。

本市では、平成22年に「社会の宝」である子どもたちを大切に育てるため、様々な施策を盛り込んだ、「京都市未来子どもプラン」を策定し事業を進めています。

「京都市未来子どもプラン」の計画期間は平成26年度までのため、平成27年度以降のプランの見直しを行うことになりました。

このため、みなさんの健康の増進や悩み、また、喫煙、飲酒、薬物や性などに対する考えをお聞きし、次のプラン策定に係る資料にしたいと考えています。

このアンケートは、京都市に在住13歳から19歳の方（平成25年8月1日現在）を対象として統計的な方法により、無作為に選んだ5,000人に対してお送りしました。

名前を書く必要はありませんので、あなた自身の考えを率直にお書きください。ご協力をよろしくお願いたします。

平成25年8月

京都市長 門川 大作

#### ■ ご記入に当たって

- 1 ご本人がご記入ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方に協力していただいても結構です。
- 2 質問によって、回答が1つの場合と2つ以上の場合があります。ご注意ください。
- 3 調査票は全11ページあります。回答しにくい質問もあるかもしれませんが、回答できず質問だけ回答し、ご返送ください。また、回答漏れがないか、最後にもう一度見てください。

#### ■ 締め切り

平成25年9月4日（木）までにポストに入れてください。（切手を出る必要はありません）

#### ■ お問い合わせ先

調査内容やご不明な点は、下記までお願いたします。

京都市保健福祉局保健衛生推進部保健医療課（母子保健担当）  
Tel: (075) 222-3420 Fax: (075) 222-3416

ご記入いただく状況については、すべて平成25年8月1日現在でお答えください。  
特に指定がない場合は、それぞれの質問の後にある答え(選択肢)のうち、あてはまるものを選んでその番号を右の回答欄にご記入ください。

問1 あなたの住まいの区、性別、年齢についておたずねします。

行政区	1 北区	2 上京区	3 左京区	4 中央区	5 東山区	6 山科区	7 下京区	8 南区	9 右京区	10 西京区(洛西地区を除く)	11 西京区(洛西地区)	12 伏見区(深草・醍醐地区を除く)	13 伏見区(深草地区)	14 伏見区(醍醐地区)
性別	1 男性	2 女性												
年齢	1 13歳	2 14歳	3 15歳	4 16歳	5 17歳	6 18歳	7 19歳							

回答欄

1	
2	
3	
4	

問2 あなたは学生ですか。社会人ですか。  
(学生であって、アルバイトをしている場合は、学生としてください。)

- 1 中学生
- 2 高校生
- 3 大学・短期大学生
- 4 専門・専修学校生
- 5 仕事(勤務)を持ち、働いている
- 6 フリーター・アルバイト
- 7 就職活動中
- 8 その他

問3 あなたは誰と誰といっしょに暮らしていますか。あてはまるものをすべて記入してください。

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 祖父
- 6 おじ・おばなどの親戚
- 7 親戚以外
- 8 ひとり暮らし

3				
---	--	--	--	--

【ふだんの生活についておたずねします。】

問4 あなたの1日の平均睡眠時間はどれくらいですか。

- 1 2時間未満
- 2 2時間以上4時間未満
- 3 4時間以上6時間未満
- 4 6時間以上8時間未満
- 5 8時間以上10時間未満
- 6 10時間以上

4	
---	--

問5 あなたは、自分の生活リズム(起床時間、就業時間など)に問題があると思いますか。

- 1 あると思う
- 2 ないと思う
- 3 わからない

5	
---	--

問6 あなたは、自分の健康についてのどのようになっていますか。

- ① 身体面
  - 1 健康だと思う
  - 2 やや健康だと思う
  - 3 やや不健康だと思う
  - 4 不健康だと思う
  - 5 わからない
- ② 精神面
  - 1 健康だと思う
  - 2 やや健康だと思う
  - 3 やや不健康だと思う
  - 4 不健康だと思う
  - 5 わからない

6-①	
6-②	

問7 あなたは、ふだん運動をしていますか。

- 1 ほとんど毎日している
- 2 週に4～5回している
- 3 週に2～3回している
- 4 週に1回位している
- 5 ほとんどしていない

7	
---	--

問8 ふだん朝食を食べますか。

- 1 ほとんど毎日食べる
- 2 週に4、5回食べる
- 3 週に2、3回食べる
- 4 週に1回食べる
- 5 ほとんど食べない

8	
---	--

問9 ふだん家族そろって食事をするところのぐらいいありますか。

- 1 ほとんど毎日家族そろって食事をしている
- 2 週に4、5回は家族そろって食事をしている
- 3 週に2、3回は家族そろって食事をしている
- 4 週に1回は家族そろって食事をしている
- 5 ほとんど一緒に食事をしていない

9	
---	--

問10 自分や家族のために食事を作ったり手伝いをしますか。

- 1 ほとんど毎日する
- 2 週に4、5回する
- 3 週に2、3回する
- 4 週に1回する
- 5 ほとんどしない

10	
----	--

問11 あなたのふだんの食生活についてあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 食事は、ほぼ決まった時間に食べている
- 2 食事の量を考え食べている
- 3 健康や栄養のことを考えて食べている
- 4 食べ物の好き嫌いが多い
- 5 食べたいものを食べている
- 6 間食をすることが多い
- 7 楽しく食事をしている
- 8 食品添加物や食品の安全性が気になる
- 9 衛生面に気をつけている
- 10 ほとんど家で食べている

11					

問12 歯みがきはいつしますか。主な時間をすべて選んでください。

- 1 朝起きたとき
- 2 朝食後
- 3 昼食後
- 4 夕食後
- 5 間食後
- 6 夜寝る前
- 7 その他

12		

問13 あなたは歯と口のことなどで気になることはありますか。主なものを3つまで選んでください。

- 1 歯の痛み
- 2 歯周病
- 3 歯ならび、咬み合わせ
- 4 口臭
- 5 歯、歯ぐきの色
- 6 顎関節(口の下の関節の音や痛み)
- 7 その他
- 8 特になし

13		

問14 歯みがきで使っている道具や用品はどれですか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 手用歯ブラシ
- 2 電動歯ブラシ
- 3 歯間ブラシ
- 4 糸ようじ(デンタルフロス)
- 5 歯みがき剤
- 6 洗口液
- 7 その他

14			

問15 むし歯予防のためにフッ素を使用することについてどう思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

※フッ素とは、学校等でのフッ素洗口(うがい)、歯科医院等でのフッ素塗布、家庭でのフッ素添加歯磨き剤の使用等の方法でむし歯予防のために用いられています。

- 1 安全だと思う
- 2 むし歯予防に役立っている
- 3 ほとんどん使用していきたくない
- 4 できれば使用したくない
- 5 わからず
- 6 その他

15			

【体格についておたずねします。】

問16 身長・体重をそれぞれ数字で出来るだけ正確に記入してください。

身長   .  cm

体重    .  kg

問17 あなたは、自分の身長と体重のバランスが取れていると思いますか。

- 1 体重が多いと思う
- 2 体重が少し多いと思う
- 3 大体バランスが取れていると思う
- 4 体重が少し少ないと思う
- 5 体重が少ないと思う

17	
----	--

問18 あなたの身長で、あなたが理想と考える体重はどれくらいですか。数字を記入してください。

理想の体重    .  kgくらい

問19 あなたは、ダイエットをしたこと(している)がありますか。

- 1 現在している
- 2 過去にしたことがある
- 3 したことがない

19	
----	--

補問19-2 「1 現在している」「2 過去にしたことがある」と答えた方におたずねします。その理由として主なものを3つまで選んでください。

- 1 健康のため
- 2 体重が重い
- 3 見た目が気になる
- 4 友達にひやかされた
- 5 異性の友達に好かれない
- 6 同性の友達に好かれたい
- 7 かついい(かわる)洋服が着たい
- 8 その他

19-2			

【家族との関係についておたずねします。】

問20 あなたが家族の中でよく会話をするのは誰ですか。主な人を3人まで選んでください。

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 祖父
- 6 その他
- 7 あまり話をしない

20		

問21 あなたは、ふだん家族とどのような話をしますか。主なものを3つまで選んでください。

- 1 学校や塾、習い事での出来事
- 2 仕事のこと
- 3 地域活動での出来事
- 4 友達のこと
- 5 勉強のこと
- 6 自分が悩んでいること
- 7 自分の将来のこと
- 8 自分の趣味のこと
- 9 健康のこと
- 10 好きな異性の友達のこと
- 11 お金のこと
- 12 社会の出来事
- 13 テレビ番組の話題
- 14 その他
- 15 ほとんど会話をしない

21		

問22 親は自分のことを理解してくれていると思いますか。

- ①父親 1 そう思う 2 まあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない 6 父親はいらない
- ②母親 1 そう思う 2 まあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない 6 母親はいらない

22-①	
22-②	

【悩みや心の状態についておたずねします。】

問23 あなたは、現在悩んでいることがありますか。主なものを5つまで選んでください。

- 1 勉強のこと
- 2 学校生活のこと
- 3 仕事や職場のこと
- 4 将来(進路を含む)のこと
- 5 家族のこと
- 6 先生のこと
- 7 友達のこと
- 8 好きな異性との交際のこと
- 9 自分の健康のこと
- 10 自分の性格のこと
- 11 自分の容姿や体格のこと
- 12 お金のこと
- 13 無気力、やる気が出ないこと
- 14 その他
- 15 悩んでいることはない

23				

問24 悩んでいるときや困っているときは誰に相談しますか。主な人を5つまで選んでください。

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父母
- 5 学校の友達
- 6 学校以外の友達
- 7 担任の先生
- 8 塾や習い事の先生
- 9 職場の上司や先輩・同僚
- 10 部活やクラブ、サークルなどの先輩・指導者
- 11 医師、養護教諭、カウンセラーなどの専門職
- 12 インターネット(SNS等)や携帯電話を通じて知り合った仲間
- 13 その他
- 14 相談する人はいない

24		

問25 あなたはふだん以下のようなことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどない
1 小さなことでイライラすることが多い	1	2	3	4
2 悲しむことがある	1	2	3	4
3 友達をいじめる	1	2	3	4
4 頭が重い、ぼんやりする	1	2	3	4
5 ものことに集中できない	1	2	3	4
6 何もやる気がしない	1	2	3	4
7 友達にいじめられる	1	2	3	4
8 人はそれぞれ違うことがある	1	2	3	4
9 学校や職場に行きたくないことがある	1	2	3	4
10 過去の失敗をよく考えることがある	1	2	3	4

問26 友達との付き合いの状況はどうですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	はい	いいえ
1 ホンネで付き合い合える友達がいる	1	2
2 何でも話せる同性の友達がいる	1	2
3 親しい異性の友達がいる	1	2
4 1つも友達と一緒にいないと寂しい	1	2
5 親しい友達を作るのは苦手である	1	2

【小さな子どもとふれ合う機会についておたずねします。】

問27 あなたは小さな子どもとふれあう機会がありますか。

または過去にありましたか。主なものをご3つまで選んでください。

- 1 兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでなんとなく遊ぶ
- 2 学校の授業や児童館、保育所等で小さな子どもと遊んだりする
- 3 近所の小さな子どもと遊んだりする
- 4 親せきの小さな子どもと遊んだりする
- 5 町内会や子ども会の活動で小さな子どもと遊んだりする
- 6 その他
- 7 ふれ合う機会はない

27	
28	
29	
30	
30-2	
31	

問28 あなたは、育児体験(ミルクを飲ませる、おむつをかえる、一緒に遊ぶなど)をしたと思いますか。

- 1 したい
- 2 どちらかといえほしい
- 3 あまりしたいとは思わない
- 4 したくない
- 5 おからない

【喫煙や飲酒についておたずねします。】

問29 あなたは、未成年者がたばこを吸うことについてどう思いますか。

- 1 法律で禁止されているから、いけないことだと思う
- 2 20歳になるまで吸えなくても、仕方がないと思う
- 3 本人が吸っているから、かまわないと思う
- 4 本人の考えに任せればいいと思う

問30 あなたは、たばこを吸ったことがありますか。

- 1 吸ったことがあるし、今も吸っている
- 2 吸ったことはあるが、今は吸っていない
- 3 吸ったことがない

→ 補問30-2 「1 吸ったことがあるし、今も吸っている」、「2 吸ったことはあるが、今は吸っていない」と答えた方におたずねします。初めてたばこを吸った年齢は何歳ですか。

問31 あなたは、たばこが健康に及ぼす影響についてどう思いますか。

- 1 健康に害があるから、絶対いけないことだと思う
- 2 少しくらいであれば、それほど健康に害はなく、かまわないと思う
- 3 特に害はなく、かまわないと思う

問32 今までにたばこが健康に及ぼす影響について学校の授業などで学んだことはありますか

- 1 ある
- 2 ない
- 3 覚えていない

32	
----	--

→ 補問32-2 「1 ある」と答えた方にお聞きします。それはどんな機会でしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

- 1 学校の授業
- 2 学校以外の機会
- 3 イベント
- 4 パンフレットや冊物
- 5 その他

32-2			
33			

問33 受動喫煙(たばこの煙が周りの人に与える影響)が健康に及ぼす影響を知っていますか

- 1 知っている
- 2 知らない

33	
----	--

問34 あなたは、未成年者がお酒(日本酒、ビール、焼酎、ワインなど)を飲むことについてどう思いますか。

- 1 法律で禁止されているから、いけないことだと思う
- 2 20歳になるまで飲めなくても、仕方がないと思う
- 3 本人が飲んでいるから、かまわないと思う
- 4 本人の考えに任せればいいと思う

34	
----	--

問35 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。

- 1 飲んだことがあるし、今も飲んでる
- 2 飲んだことはあるが、今は飲んでいない
- 3 飲んだことがない

35	
----	--

→ 補問35-2 「1 飲んだことがあるし、今も飲んでる」、「2 飲んだことはあるが、今は飲んでいない」と答えた方におたずねします。初めてお酒を飲んだ年齢は何歳ですか。

35-2	
------	--

問36 あなたは、飲酒が健康に及ぼす影響についてどう思いますか。

- 1 健康に害があるから、絶対いけないことだと思う
- 2 少しくらいであれば、それほど健康に害はなく、かまわないと思う
- 3 特に害はなく、かまわないと思う

36	
----	--

【乱用される危険のある薬物についておたずねします。】

\*薬物乱用とは、遊びや快感を求めするためにシンナーや覚せい剤等の違法な薬物を使用することを言います。これらの違法な薬物は、たとえ1回使用しただけでも乱用にあたります。

問37 乱用される危険のある薬物について、あなたが知っている名称がありますか。知っている名称すべてを選んでください。

- 1 シンナー
- 2 覚せい剤
- 3 大麻
- 4 LSD
- 5 あへん
- 6 ヘロイン
- 7 コカイン
- 8 販別ドラッグ(販別タバコを含む)
- 9 知っているものはない

37			

問38 あなたは、乱用される危険のある薬物に対してどのような印象を持っていますか。主なものを3つまで選んでください。

- 1 使ったり持ったりするのには悪いけど
- 2 心や体がぼろぼろになる
- 3 古しさから避れられる
- 4 犯罪にまきこまれる
- 5 1回でも使ったらやめられなくなる
- 6 よい気持ちになられる
- 7 1回ぐらいの使用であれば、心や体への害はない
- 8 いつでも自分の意思でやめられる
- 9 かつこしい
- 10 ダイエットや眠気覚ましに有効
- 11 自分の身近にはないものだ
- 12 持たない

38		

問39 あなたは、乱用される危険のある薬物を使用することについて、どのように考えていますか。1つ選んでください。

- 1 絶対に使っちゃダメだし、罰せられることではない
- 2 許されることではないかも知れないが、使っちゃまずい気がしちゃう
- 3 1回ぐらいだったら、使っても大丈夫だと思う
- 4 他人に迷惑をかけるなければ、使うのは個人の自由である
- 5 わからない

39	
----	--

【性に関わることについておたずねします。】

問40 次の性感染症(性交により人から人うつる病気)のうち、あなたが知っているのものをすべて選んでください。

- 1 淋病はセックス(性交)で感染する
- 2 ヘルペスはセックスで感染する
- 3 クラミジアはセックスで感染する
- 4 性感染症には、ほとんど痛みやかゆみなどがないものもある
- 5 コンドームの使用により性感染症を予防することができる
- 6 ビルの使用では、性感染症を予防することはできない
- 7 性感染症(HIVを含む)検査は、無料及び匿名で保健センターで受けることができる
- 8 子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)はセックスで感染する

40			

問41 エイズやHIVについて、あなたが知っているのものをすべて選んでください。

- 1 HIV(ヒト免疫不全ウイルス)はセックスで感染する
- 2 エイズはHIVに感染して発症する
- 3 HIVは食器の使用では感染しない
- 4 HIVは風呂やプールでは感染しない
- 5 性感染症にかかっているとHIVに感染しやすくなる

41		

問42 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ていますか。主なものを3つ選んでください

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校以外の友達
- 7 親・先生以外の専門家による講義・講演
- 8 雑誌
- 9 テレビ
- 10 インターネット(ホームページ、SNSなど)
- 11 その他

42		

問43 あなたは、あなたが自身がセックスすることをどのように考えていますか。

- 1 結婚するまではセックスしない
- 2 お互いに好き合っていていけばセックスするかもしれない
- 3 そのときにならないとわからない
- 4 みんながしているし、遅れたくない
- 5 何も考えていない

43	
----	--

問44 同性間(男性と男性、女性と女性)での恋愛についてどのように思っていますか。

- 1 好きであればいいと思う
- 2 よくないことだと思う
- 3 わからない

44
----

問45 将来の自分の結婚や子育てに関することをどう考えていますか。

- 1 結婚も子育てもしたい
- 2 結婚はしたいが子育てはしたくない
- 3 子育てはしたいが結婚はしたくない
- 4 結婚も子育てもしたくない
- 5 わからない

45
----

問46 思春期はこれからの人生を健康で過ごすために大切な時期です。

健康について知りたいことはなんですか。3つまでお答えください。

- 1 身体の変化のこと
- 2 たばこ・飲酒に関すること
- 3 生活習慣病のこと
- 4 妊娠・出産・不妊等に関すること
- 5 乱用される危険のある薬物のこと
- 6 食や栄養に関すること
- 7 歯や口に関すること
- 8 ことろの健康に関すること
- 9 その他

46			
----	--	--	--



**ご協力ありがとうございました。**

調査票は、同封の返信用封筒に入れて、  
平成25年9月4日(水)までに、ポストに入れてください。  
(切手を貼る必要はありません。)





# 京都市 思春期に関する意識調査 【結果報告書】

発行年月日 平成26年10月

京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話：075-222-3420 FAX：075-222-3416

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-5-1-0-0.html>

京都市印刷物番号 第263103号



この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

コミュニティ回収や古紙回収等にお出してください。

